
つくばみらい市義務教育施設適正配置計画

義務教育施設の現況と将来人口推計

平成25年12月
つくばみらい市

1. つくばみらい市の概況

1) 人口

- 本市の人口は、昭和50年以降増加傾向にあったが、年々増加率は縮小し平成17年では微減する状況となっている。しかし、平成17年以降、つくばエクスプレスの開業に伴う新たな転入者が増えてきており、人口も増加へと転じている。
- 年齢別で見ると、特に子育て世代の転入者が多く、みらい平地区を中心に、年少人口の増加も顕著となってきている。

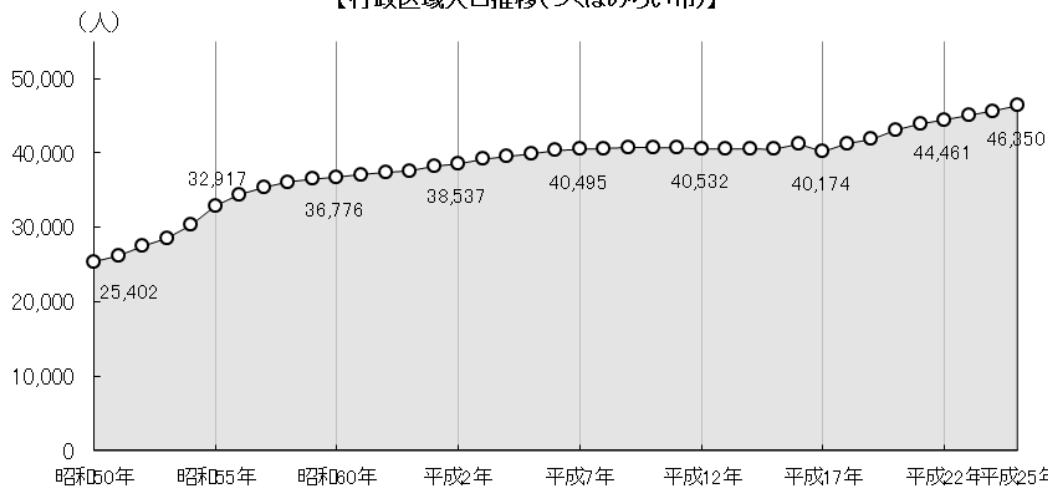
■人口・世帯数の推移

単位:人,世帯,人/世帯

	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成25年
人口	25,402	32,917	36,776	38,537	40,495	40,532	40,174	44,461	46,350
増加率	-	29.58%	11.72%	4.79%	5.08%	0.09%	-0.88%	10.67%	4.25%
世帯数(世帯)	5,718	7,770	8,974	9,794	11,195	11,979	12,563	15,273	16,649
増加率	-	35.9%	15.5%	9.1%	14.3%	7.0%	4.9%	21.6%	9.0%
世帯人員	4.44	4.24	4.10	3.93	3.62	3.38	3.20	2.91	2.78
増加率	-	-4.59%	-3.27%	-3.98%	-8.07%	-6.46%	-5.49%	-8.97%	-4.37%

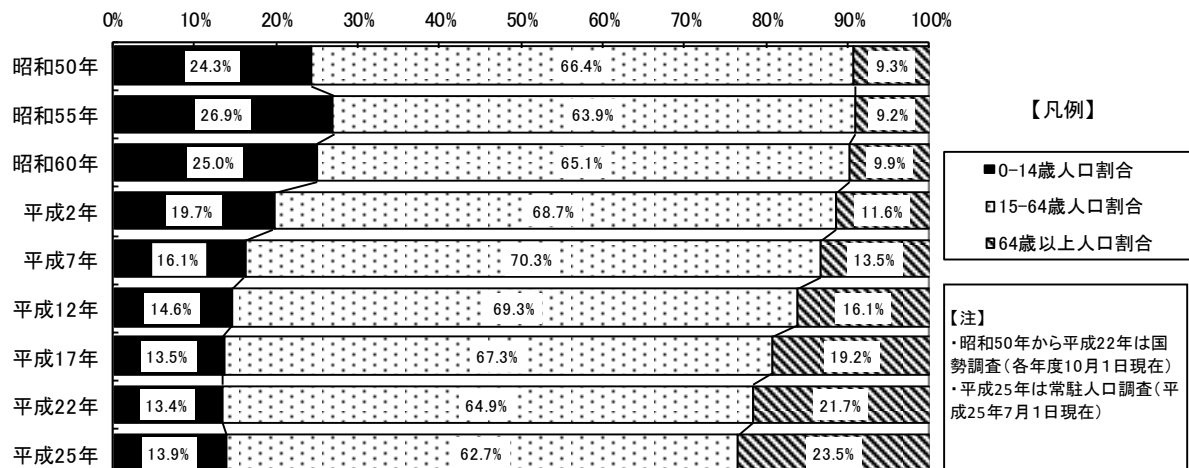
資料:国勢調査(総務省統計局) ※平成25年度は常住人口調査(8月1日現在)による。

【行政区域人口推移(つくばみらい市)】



資料:国勢調査(総務省統計局) ※平成25年度は常住人口調査(8月1日現在)による。

【年齢3区分人口の推移(つくばみらい市)】



【凡例】

- 0-14歳人口割合
- 15-64歳人口割合
- ▨ 64歳以上人口割合

【注】
 ・昭和50年から平成22年は国勢調査(各年度10月1日現在)
 ・平成25年は常駐人口調査(平成25年7月1日現在)

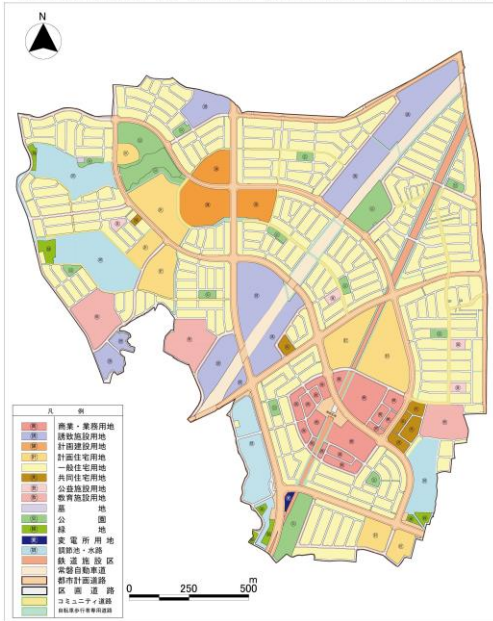
2) 開発動向

①面整備の状況

《伊奈谷和原丘陵部土地区画整理事業》

- つくばエクスプレスのみらい平駅を中心とした伊奈・谷和原丘陵部地区において整備されていた一体型特定土地区画整理事業（274.9ha）は、平成25年6月28日に換地処分を行い、整備が完了した所である。
- 戸建て及び共同住宅などの建設が進み、地区内人口も増加しているほか、みらい平駅周辺や地区を横断する県道周辺には商業施設が出店し、誘致施設用地においても企業の流通部門が進出している。

つくばみらい都市計画事業 伊奈・谷和原丘陵部一体型特定土地区画整理事業 土地利用計画図



▲つくばエクスプレス沿線まちづくり立地企業懇話会HPより

事業名称	伊奈・谷和原丘陵部一体型特定土地区画整理事業
施行面積	274.9ha
施行者	茨城県
施行期間	平成5年度～平成29年度(清算期間5年含む)
総事業費	718億円
計画人口	16,000人

《小絹土地区画整理事業》

- 常総ニュータウンの一角を成す常磐自動車道谷和原インターチェンジに隣接する絹の台地区において、住居系を中心とする土地区画整理事業（85.2ha）が住宅・都市整備公団（現 UR都市機構）により完了済みとなっている。

《開発許可等》

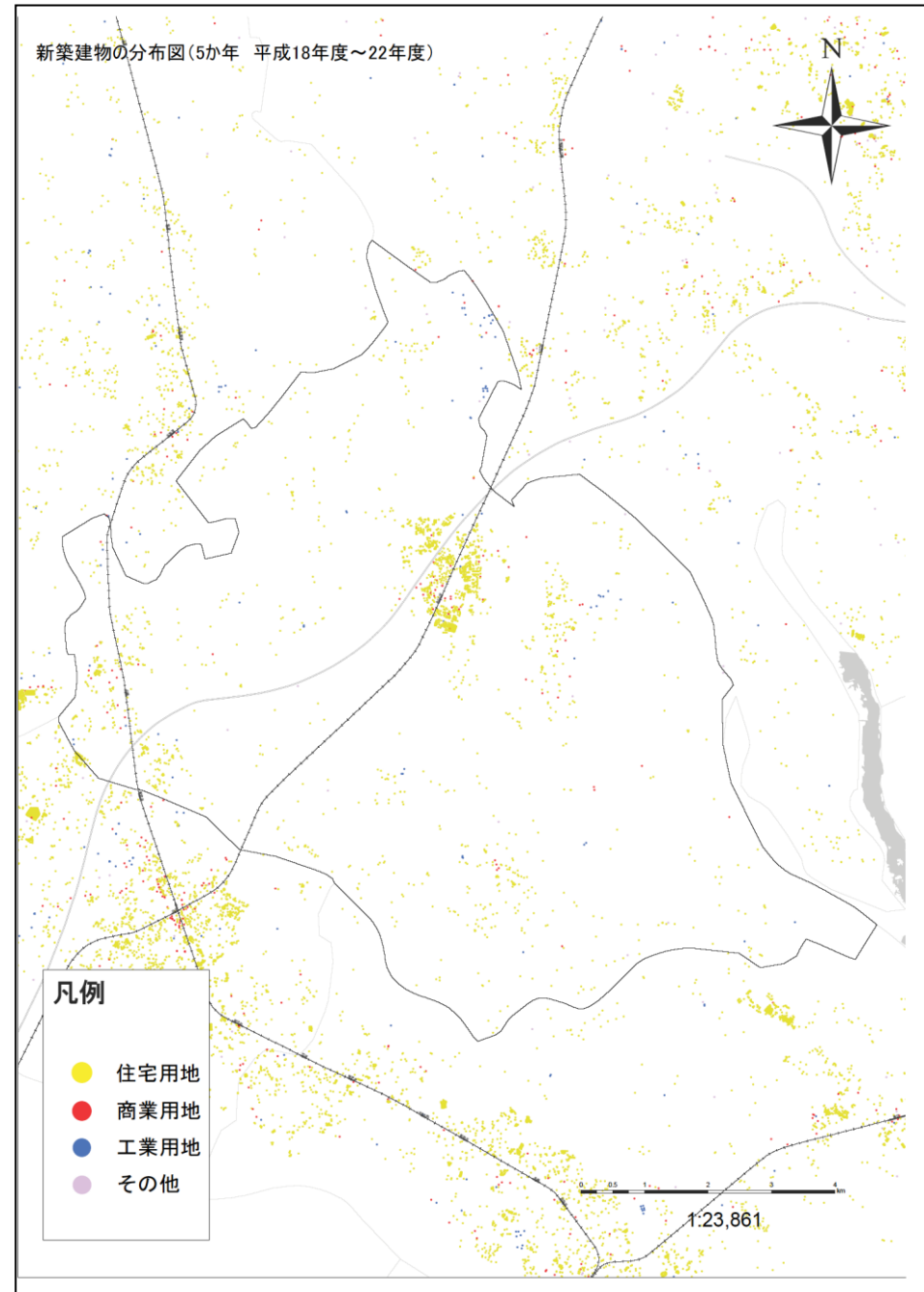
- 西ノ台地区：つくばみらい市の西部に位置する西ノ台地区では、昭和50年代前半に大和団地株式会社によって開発された住居系開発事業（12.0ha）が行われている。
- 谷井田地区：民間の宅地開発によって住宅市街地が形成されている。
- 伊奈東地区：民間の宅地開発によって住宅市街地が形成されている。

②近年の開発動向

- 近年は、小絹地区や谷井田地区、伊奈東地区の開発動向は低下し、みらい平駅周辺の住宅系開発が目立つ傾向となっている。

■新築状況総括調書（都市計画基礎調査より）（単位面積：件数：㎡）

区域区分	平成18年度									
	住居系		商業系		工業系		その他		小計	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
行政区域	439	86,171	22	8,840	21	189,545	2	76	484	284,632
都市計画区域	439	86,171	22	8,840	21	189,545	2	76	484	284,632
市街化区域	287	56,260	14	4,301	12	170,676	0	0	313	231,237
市街化調整区域	152	29,911	8	4,539	9	18,869	2	76	171	53,395
都市計画区域外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
区域区分	平成19年度									
	住居系		商業系		工業系		その他		小計	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
行政区域	385	60,903	12	1,761	9	98,885	4	459	410	162,008
都市計画区域	385	60,903	12	1,761	9	98,885	4	459	410	162,008
市街化区域	252	40,839	8	1,453	3	73,785	0	0	263	116,077
市街化調整区域	133	20,064	4	308	6	25,100	4	459	147	45,931
都市計画区域外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
区域区分	平成20年度									
	住居系		商業系		工業系		その他		小計	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
行政区域	326	67,441	17	11,437	11	16,697	3	478	357	96,053
都市計画区域	326	67,441	17	11,437	11	16,697	3	478	357	96,053
市街化区域	194	40,980	9	9,003	3	2,120	1	86	207	52,189
市街化調整区域	132	26,461	8	2,434	8	14,577	2	392	150	43,864
都市計画区域外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
区域区分	平成21年度									
	住居系		商業系		工業系		その他		小計	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
行政区域	348	60,799	13	2,667	15	339,300	2	114	378	402,880
都市計画区域	348	60,799	13	2,667	15	339,300	2	114	378	402,880
市街化区域	245	45,145	9	1,879	5	330,484	0	0	259	377,508
市街化調整区域	103	15,654	4	788	10	8,816	2	114	119	25,372
都市計画区域外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
区域区分	平成22年度									
	住居系		商業系		工業系		その他		小計	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
行政区域	442	66,539	8	1,278	12	51,932	1	45	463	119,794
都市計画区域	442	66,539	8	1,278	12	51,932	1	45	463	119,794
市街化区域	344	47,334	7	1,200	6	45,187	1	45	358	93,766
市街化調整区域	98	19,205	1	78	6	6,745	0	0	105	26,028
都市計画区域外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



③みらい平地区の開発動向

- みらい平地区は、陽光台地区の分譲をはじめりとして、隣接する紫峰ヶ丘地区の開発・分譲を進めながら、富士見ヶ丘地区の開発・分譲へと開発動向はシフトしてきている状況である。

■みらい平地区の新築確認申請届出状況

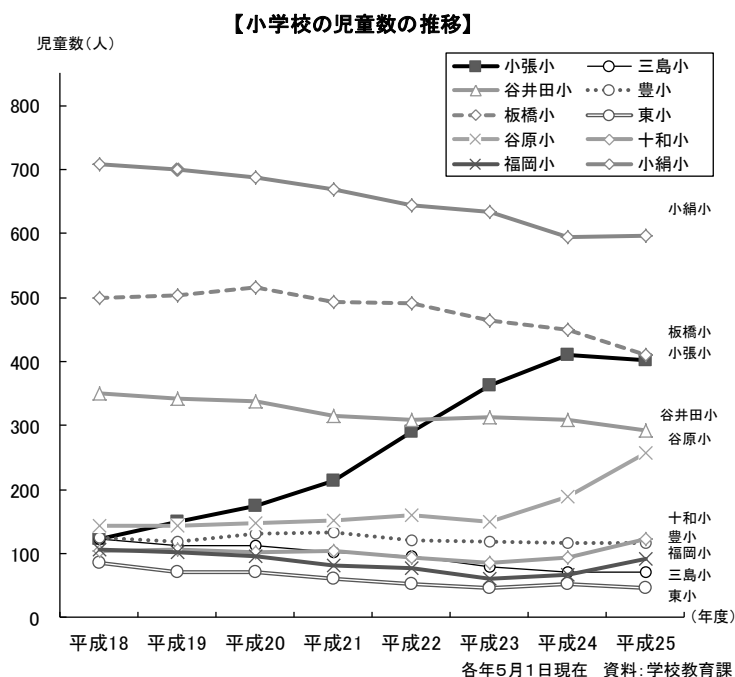
		陽光台1	陽光台2	陽光台3	陽光台4	紫峰ヶ丘1	紫峰ヶ丘2	紫峰ヶ丘3	紫峰ヶ丘4	紫峰ヶ丘5	富士見ヶ丘1	富士見ヶ丘2	富士見ヶ丘3	富士見ヶ丘4	合計
～H18.4															
届出戸数 (戸)(室)	戸建て住宅				23戸	7戸	4戸								34戸
	集合住宅(マンション)														0戸
	集合住宅(アパート)	15戸		16戸	52戸	36戸									119戸
	集合住宅(長屋)					12戸									12戸
	兼用住宅					2戸									2戸
	届出合計	15戸	0戸	39戸	59戸	54戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸
H18.4～H19.4															
届出戸数 (戸)(室)	戸建て住宅	1戸	37戸	77戸	25戸	2戸			22戸	46戸					210戸
	集合住宅(マンション)														0戸
	集合住宅(アパート)	93戸	35戸	91戸	25戸	27戸			11戸	4戸					286戸
	集合住宅(長屋)		9戸	8戸	19戸										36戸
	兼用住宅	5戸	2戸		3戸										10戸
	届出合計	99戸	83戸	176戸	72戸	29戸	0戸	0戸	33戸	50戸	0戸	0戸	0戸	0戸	542戸
H19.4～H2.4															
届出戸数 (戸)(室)	戸建て住宅	1戸	16戸	55戸	5戸	8戸				18戸					103戸
	集合住宅(マンション)	660戸	54戸												714戸
	集合住宅(アパート)	33戸	26戸	28戸	37戸	4戸									128戸
	集合住宅(長屋)				13戸	9戸	2戸								24戸
	兼用住宅		1戸												1戸
	届出合計	694戸	97戸	96戸	51戸	14戸	0戸	0戸	0戸	18戸	0戸	0戸	0戸	0戸	970戸
H2.4～H21.4															
届出戸数 (戸)(室)	戸建て住宅			25戸	21戸		19戸			1戸	6戸	1戸			73戸
	集合住宅(マンション)														0戸
	集合住宅(アパート)	2戸	65戸	66戸	8戸	51戸				18戸					210戸
	集合住宅(長屋)	6戸	28戸	26戸		49戸			6戸						115戸
	兼用住宅			1戸											1戸
	届出合計	8戸	118戸	114戸	8戸	119戸	0戸	0戸	7戸	24戸	1戸	0戸	0戸	0戸	399戸
H21.4～H22.4															
届出戸数 (戸)(室)	戸建て住宅		3戸	23戸	6戸	17戸	14戸	22戸	7戸	4戸	7戸				103戸
	集合住宅(マンション)	52戸													52戸
	集合住宅(アパート)	23戸	8戸	36戸	65戸	5戸	4戸	75戸		2戸	8戸				226戸
	集合住宅(長屋)		14戸	4戸	1戸	2戸	4戸	85戸	12戸		14戸				136戸
	兼用住宅				1戸										1戸
	届出合計	75戸	25戸	63戸	73戸	24戸	22戸	182戸	19戸	6戸	29戸	0戸	0戸	0戸	518戸
H22.4～H23.4															
届出戸数 (戸)(室)	戸建て住宅	1戸	39戸	16戸	3戸	1戸	43戸	63戸	4戸	4戸	14戸	19戸		1戸	208戸
	集合住宅(マンション)														0戸
	集合住宅(アパート)	16戸	4戸	9戸	25戸		4戸	8戸	8戸	32戸	4戸	6戸			116戸
	集合住宅(長屋)	4戸		16戸	4戸		12戸	51戸		16戸	9戸	9戸	14戸		135戸
	兼用住宅		1戸												1戸
	届出合計	21戸	44戸	41戸	32戸	1戸	59戸	122戸	12戸	52戸	27戸	34戸	14戸	1戸	460戸
H23.4～H24.4															
届出戸数 (戸)(室)	戸建て住宅		23戸	16戸	1戸	13戸	31戸	44戸	3戸	13戸	36戸	15戸	2戸	12戸	209戸
	集合住宅(マンション)		16戸												16戸
	集合住宅(アパート)		15戸							4戸	15戸	6戸	14戸		60戸
	集合住宅(長屋)				4戸		16戸		16戸		1戸	8戸	11戸	1戸	57戸
	兼用住宅					1戸									1戸
	届出合計	0戸	54戸	16戸	5戸	14戸	47戸	44戸	23戸	28戸	43戸	37戸	13戸	19戸	343戸
H24.4～H25.4															
届出戸数 (戸)(室)	戸建て住宅		15戸	11戸	2戸	5戸	15戸	4戸	16戸	9戸	32戸	11戸	29戸	38戸	187戸
	集合住宅(マンション)														0戸
	集合住宅(アパート)	4戸	18戸	12戸	4戸	12戸				12戸					62戸
	集合住宅(長屋)		6戸	8戸	4戸	8戸	6戸	6戸	45戸				18戸	1戸	102戸
	兼用住宅					1戸		2戸							3戸
	届出合計	4戸	39戸	31戸	10戸	26戸	21戸	12戸	73戸	9戸	32戸	11戸	47戸	39戸	354戸
H25.4～H25.9															
届出戸数 (戸)(室)	戸建て住宅			13戸	8戸	4戸	3戸	1戸	15戸	4戸	2戸	16戸	11戸	18戸	32戸
	集合住宅(マンション)			15戸											15戸
	集合住宅(アパート)	15戸	4戸												19戸
	集合住宅(長屋)	3戸	4戸						9戸	4戸					20戸
	兼用住宅														0戸
	届出合計	18戸	36戸	8戸	4戸	3戸	1戸	24戸	8戸	2戸	16戸	11戸	18戸	32戸	181戸

2. 小・中学校の現状

1) 小・中学校の現状（概略）

① 小学校の現状（概略）

- みらい平地区に居住する子どもを受け入れている小張小，谷原小，福岡小，十和小では，近年増加傾向をみせている。それ以外の小学校では，全体的にどの小学校も減少傾向となっている。

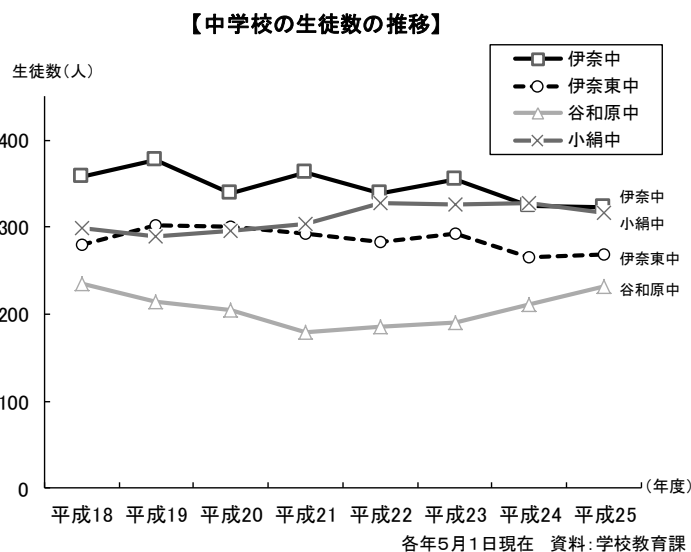


小学校の児童数の推移 単位:人

	小張小	谷井田小	豊小	三島小	板橋小
平成18	123	350	125	123	500
平成19	150	343	119	113	503
平成20	175	338	132	112	516
平成21	213	316	134	102	493
平成22	291	309	121	95	491
平成23	362	314	119	80	464
平成24	411	308	116	71	450
平成25	401	293	116	71	410
	東小	谷原小	十和小	福岡小	小絹小
平成18	85	144	104	106	708
平成19	71	143	106	103	700
平成20	71	148	102	95	687
平成21	60	152	104	81	668
平成22	53	160	94	78	644
平成23	46	149	86	61	634
平成24	52	189	93	66	595
平成25	47	257	122	91	597

② 中学校の現状（概略）

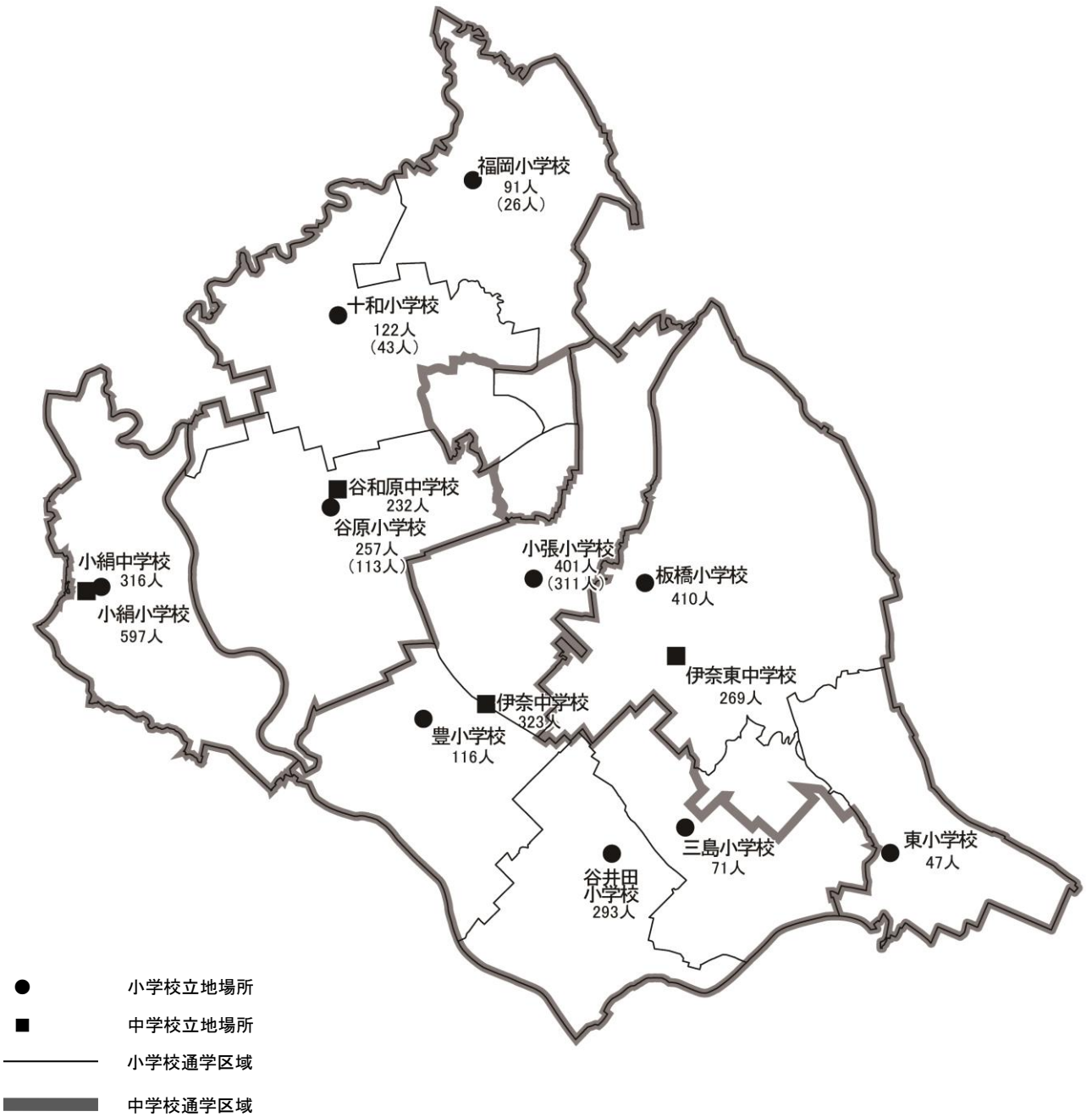
- みらい平地区に居住する子どもを受け入れている谷和原中では，近年増加傾向をみせている。小絹中では，近年では安定的に推移しているが，伊奈中，伊奈東中では減少傾向となっている。



中学校の生徒数の推移 単位:人

	伊奈中	伊奈東中	谷和原中	小絹中
平成18	358	280	235	299
平成19	377	302	214	290
平成20	339	301	205	295
平成21	363	293	179	303
平成22	338	283	186	328
平成23	355	293	191	326
平成24	325	266	211	327
平成25	323	269	232	316

【通学区域図】



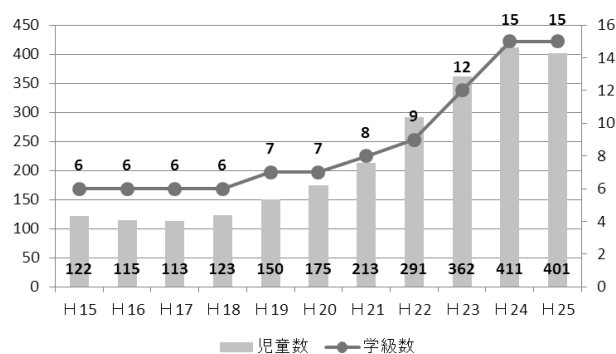
()内はみらい平地区から通学する児童数を表す。

2) 各小学校の現状

①小張小学校

- 市の中部、みらい平地区を含む地域を学区としている。
- 創立は明治 16 (1883) 年。現在の場所には明治 44 (1911) 年から立地している。
- 現在の校舎は昭和 55 (1980) 年に使用を開始し、体育館は昭和 52 (1977) 年に使用を開始して平成 16 (2004) 年に耐震化工事を行っている。
- 小張松下流綱火の綱火保存会の協力を得て、子ども綱火の体験学習を行うなど、伝統芸能に親しむ教育が特徴である。緑化にも力を入れ、平成 5 (1993) 年には全日本学校関係緑化コンクールで入選している。
- 『小張小学校創立 100 周年記念誌』(昭和 59 (1984) 年刊行)によると、同校の児童数は第 2 次ベビーブームにより昭和 50 年代後半に 300 人台後半まで増えていた。その後は減少し、平成 15 年度から平成 18 年度までは 120 人前後でほぼ横ばいだったが、新入生(1年生)が前年度比で 2.4 倍となった平成 19 年度から急速な上昇に転じた。平成 24 年度には初めて 400 人を超え、平成 25 年度には前年度比 10 人減の 401 人となっている。
- 平成 18 年度に入学した学年は、6 年生となった平成 23 年度では児童数が入学時の 2 倍を超えている。それ以後に入学した学年でも、それ以前と比較すると入学後の生徒数増加が顕著となっている。
- 児童数の増加に伴い、同校の学級数も増加した。平成 18 年度までは 6 学級の単一学級だったが、平成 19 年度からは複数学級化が始まり、平成 23 年度には 12 学級と全学年で複数学級となった。さらに平成 24 年度以降は全校の学級数が 15 クラスまで増加し、3 クラスまで組まれる学年が生まれている。

図一 小張小学校の児童数と学級数の推移




表一 小張小学校の児童数と学級数の推移

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
1年生	23	15	23	18	43	35	53	77	87	77	46
2年生	14	23	16	22	23	44	37	59	77	83	78
3年生	26	14	22	17	25	27	47	39	62	81	83
4年生	13	25	16	22	20	27	29	54	44	63	81
5年生	26	12	24	18	22	19	27	33	55	51	61
6年生	20	26	12	26	17	23	20	29	37	56	52
合計	122	115	113	123	150	175	213	291	362	411	401
学級数	6	6	6	6	7	7	8	9	12	15	15


■小張小学校の建物概要

所在地	小張 1661 番地	設置年度	明治 16 年
校地面積	26,516 (㎡)	屋内運動場	754 (㎡)
校舎延床面積 (合計)	2,702 (㎡)	プール	—
運動場	13,940 (㎡)		
教室使用状況	普通教室	その他 (特別教室等)	合計
	16	4	20

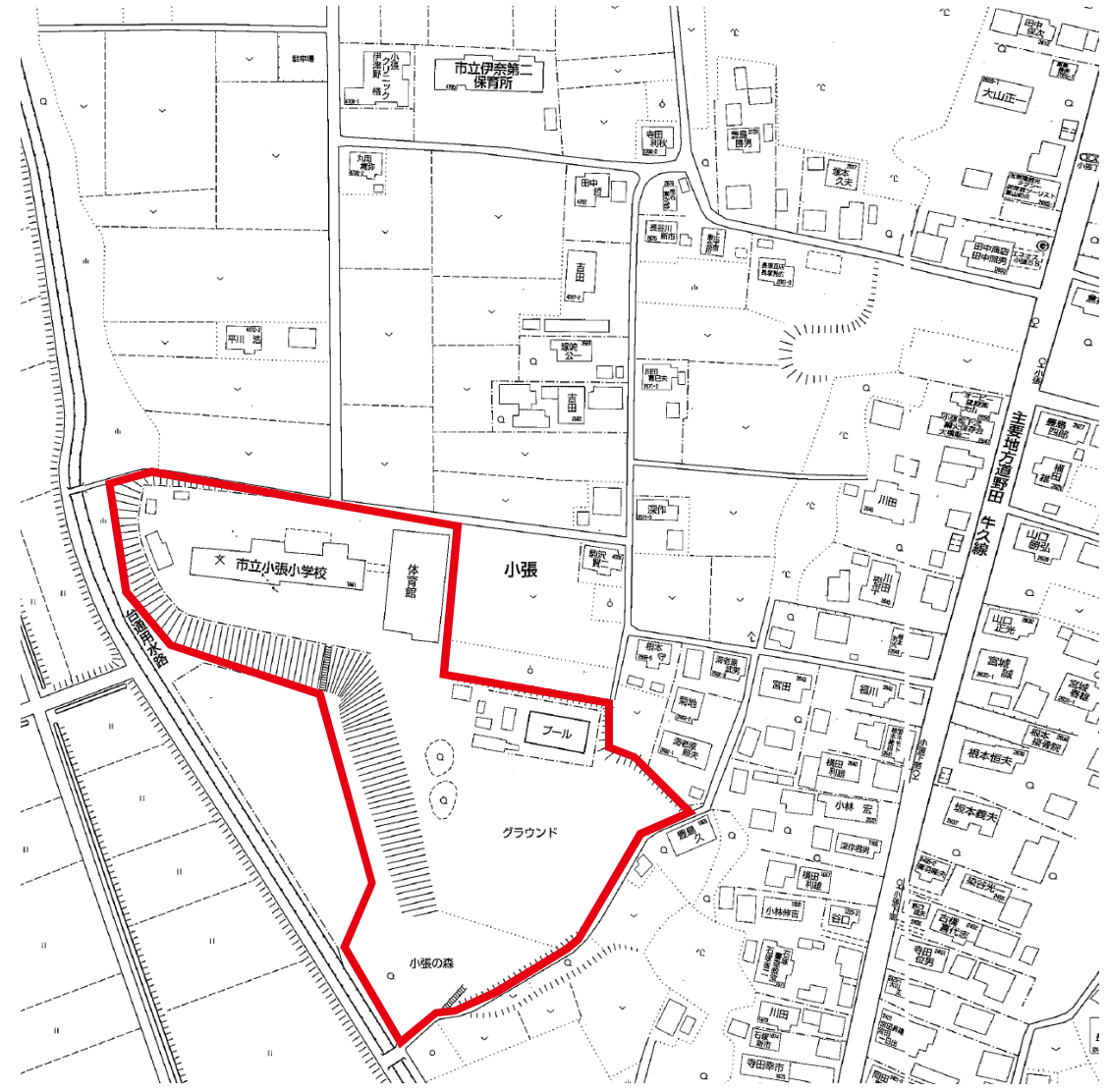
位置図



校舎外観写真

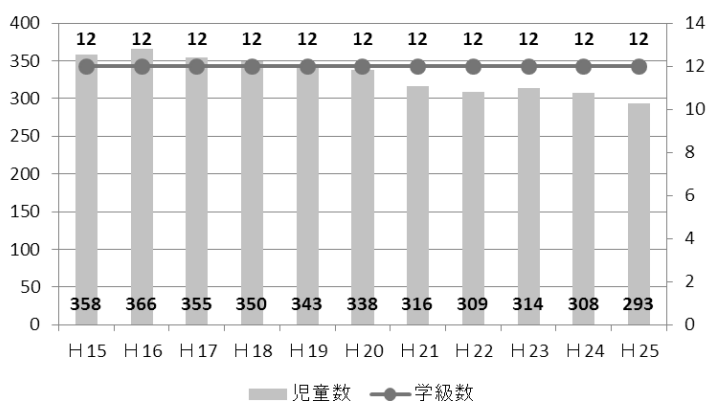
学校配置図



②谷井田小学校

- 市の南部，伊奈地区の一部を学区としている。みらい平地区は学区には含まれていない。
- 創立は明治 19（1886）年で，西校（上谷井田）と東校（外記新田）として明治 7（1874）年に設立されていた二校の合併による。明治 22（1889）年には下村分校が三島村尋常小学校（現在の三島小学校）として独立。現在の場所には昭和 9（1934）年から立地している。
- 校舎は，昭和 55（1980）年に使用を開始した 3 階建ての旧館と，昭和 57（1982）年に使用を開始した 4 階建ての新館がある。旧館の一部は平成 14（2002）年に改修を行っている。体育館は昭和 58（1983）年に使用を開始して平成 14（2002）年に耐震化工事を行っている。
- 谷井田地区は江戸時代の探検家である間宮林蔵の出生地で，現在でも地域学習では間宮を必ず取り入れる等の教育が特徴である。
- 『谷井田小学校創立 100 周年記念誌』（昭和 62（1987）年刊行）によると，同校の児童数は第 2 次ベビーブームにより昭和 50 年代後半に 900 人を超えたが，平成 15 年度以降では平成 16 年度の 366 人が最高である。平成 25 年度には前年度比 15 人減の 293 人で，300 人を下回った。
- 平成 18 年度に入学した学年は，6 年生となった平成 23 年度でも 5 年前の 1 年生と同じ 55 人が所属した。他の入学年度も同様で，在学中の急激な増加や減少は起きていない。
- 児童数は減少しているが，近年における同校の学級数は変化していない。『100 周年記念誌』によると，昭和 56（1981）年度のクラス数は 23（他に児童数 3 人のクラスが 1 つ）で，5 クラスまで組まれた学年もあったが，図表に掲げた平成 15 年度以降では全校で 12 クラス，各学年 2 クラスで固定されている。

図一谷井田小学校の児童数と学級数の推移



表一谷井田小学校の児童数と学級数の推移

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
1 年生	62	67	51	55	60	47	41	54	50	47	51
2 年生	50	62	65	51	55	61	46	42	54	52	45
3 年生	65	50	64	63	50	53	64	46	44	54	51
4 年生	62	65	48	66	63	49	53	65	49	43	53
5 年生	59	61	65	48	66	63	50	52	62	50	43
6 年生	60	61	62	67	49	65	62	50	55	62	50
合 計	358	366	355	350	343	338	316	309	314	308	293
学級数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

■谷井田小学校の建物概要

所在地	谷井田 2047 番地	設置年度	明治 19 年
校地面積	21,597 (㎡)	屋内運動場	1,440 (㎡)
校舎延床面積 (合計)	4,436 (㎡)	プール	—
運動場	12,406 (㎡)		
教室使用状況	普通教室	その他 (特別教室等)	合計
	13	11	24

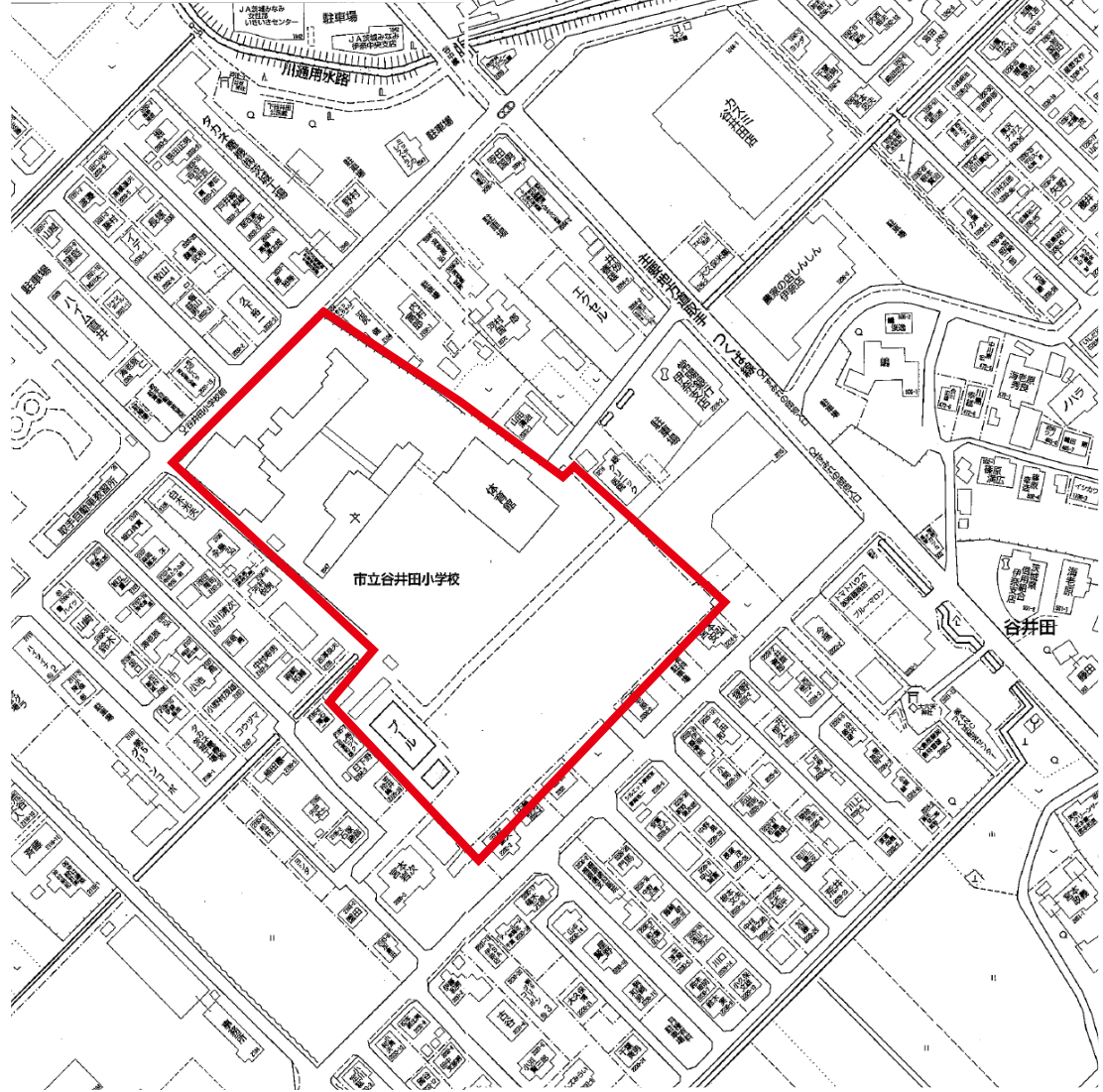
位置図



校舎外観写真



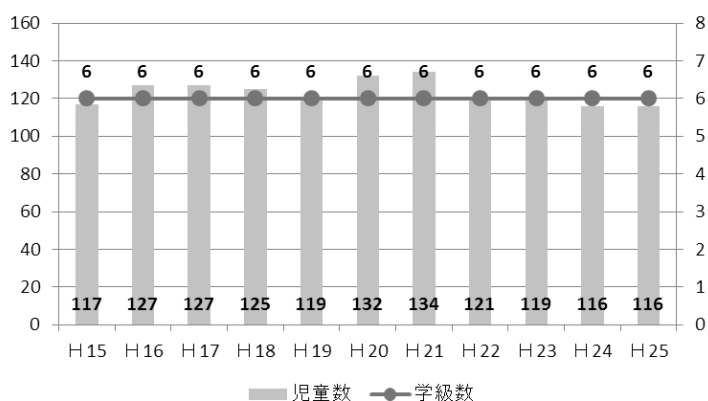

学校配置図



③豊小学校

- 市の南部，伊奈地区の一部を学区としている。みらい平地区は学区には含まれていない。
- 「間宮林蔵」に関する地域学習のほか，伊奈特別支援学校との交流や福祉体験学習，「ゆたか祭り」の開催など，地域との交流に取り組んでいる。
- 創立は明治 19（1886）年で，下小目小と弥柳小を合併した豊体尋常小学校として開校。明治 22（1889）年に学区再編を行って豊尋常小学校となり，学制改革を経ながら現在に至る。設立当初から現在の立地にある。
- 校舎は昭和 53（1978）年に使用を開始し，平成 25（2013）年に耐震化・改修工事を行っている。体育館は昭和 52（1977）年に使用を開始し，平成 20（2008）年に耐震化工事を行っている。
- 『豊小学校創立 100 周年記念誌』（昭和 61（1986）年刊行）によると，同校の児童数は昭和 50 年代後半に 380 人を超えたが，平成 15 年度以降では平成 21 年度の 134 人が最高で，ほぼ横ばい，平成 22 年度以降は若干の減少で推移している。平成 25 年度は前年度と同じ 116 人だった。
- 平成 18 年度に入学した学年は，6 年生となった平成 23 年度でも 18 人が所属した。他の入学年度でもほぼ同様で，在学中の人数は同数か若干の増加となっている。
- 児童数は減少しているが，近年における同校の学級数は変化していない。『100 周年記念誌』によると，昭和 50 年代は 1 学年 2 クラスが常態化していたが，図表に掲げた平成 15 年度以降では全校で 6 クラス，各学年では 1 クラスの単学級で固定されている。

図一 豊小学校の児童数と学級数の推移



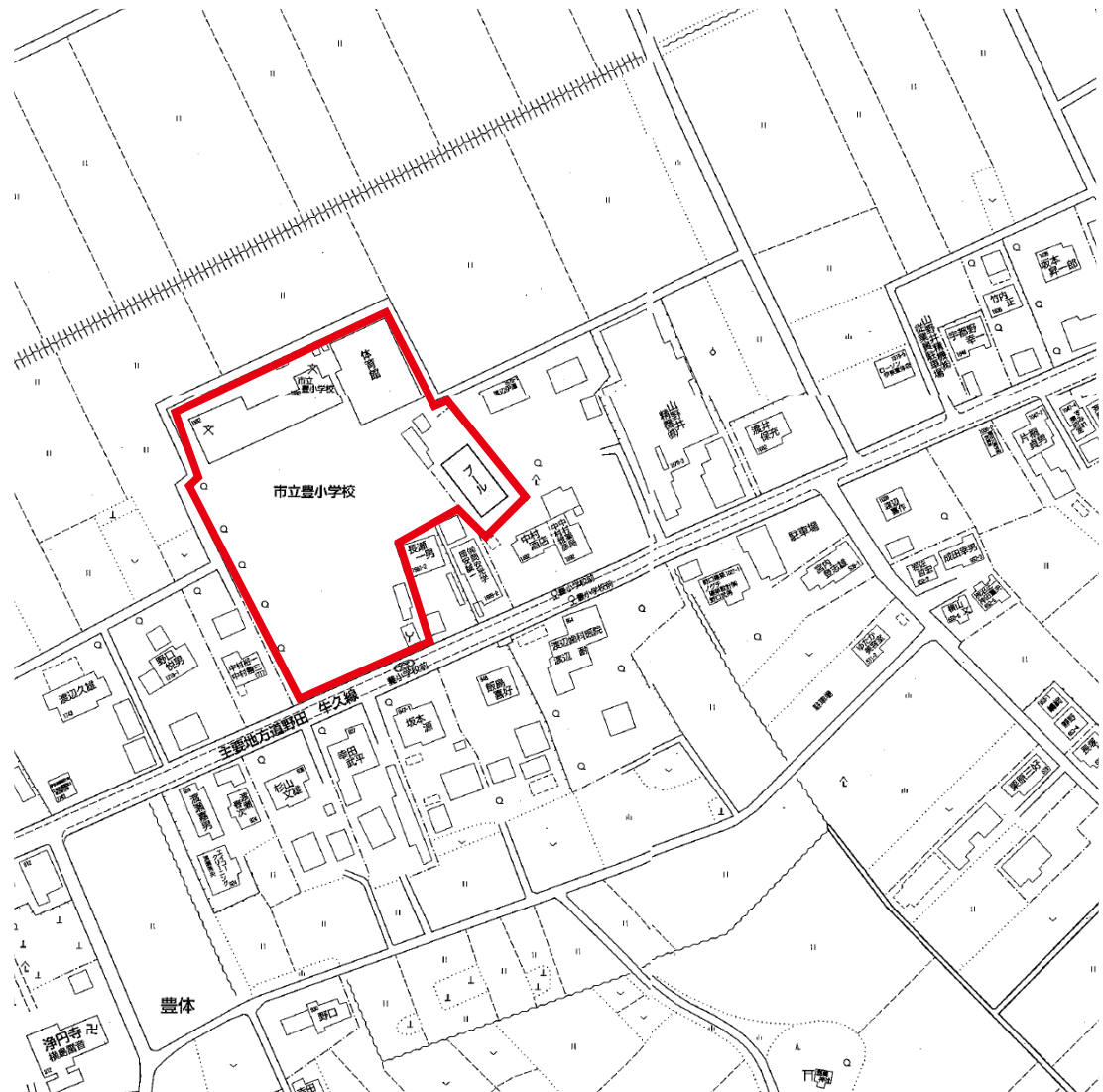
表一 豊小学校の児童数と学級数の推移

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
1 年生	23	30	18	18	16	23	22	17	19	15	19
2 年生	12	23	30	19	18	17	23	22	18	19	15
3 年生	22	12	23	30	19	18	19	23	21	18	19
4 年生	20	24	12	23	31	20	17	20	23	21	18
5 年生	18	20	24	11	24	31	21	18	20	23	22
6 年生	22	18	20	24	11	23	32	21	18	20	23
合 計	117	127	127	125	119	132	134	121	119	116	116
学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

■豊小学校の建物概要

所在地	豊体 1692 番地	設置年度	明治 8 年
校地面積	11,737(m ²)	屋内運動場	754(m ²)
校舎延床面積(合計)	2,445(m ²)	プール	—
運動場	5,898(m ²)		
教室使用状況	普通教室	その他(特別教室等)	合計
	7	9	16

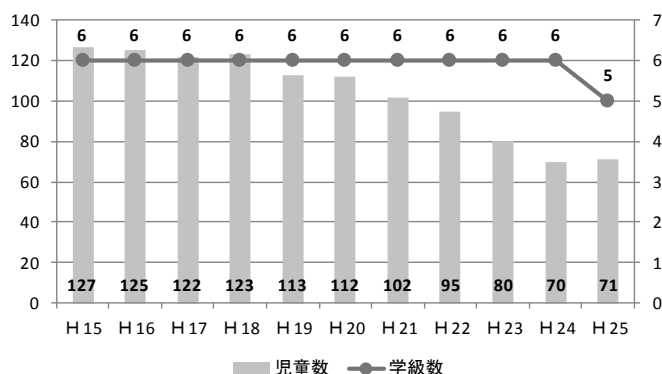
位置図		校舎外観写真		

学校配置図	
-------	---

④三島小学校

- 市の南東部，伊奈地区の一部を学区としている。みらい平地区は学区には含まれていない。
- 毎年「三島小まつり」を実施するなど，地域の人や保護者とのふれあいを深めた教育を進めている。
- 創立は明治 22（1886）年で，谷井田小学校の下島分校が三島村尋常小学校として独立して開校。設立当初から現在の立地にある。
- 校舎は昭和 54（1979）年に使用を開始している。体育館は昭和 55（1980）年に使用を開始し，平成 19（2007）年に耐震化工事を行っている。
- 『三島小学校創立 100 周年記念誌』（平成元（1989）年刊行）によると，同校の児童数は昭和 50 年代後半に 350 人を超えたが，123 人だった平成 18 年度以降は毎年 10 人前後の減少が続いた。平成 25 年度は前年度より 1 人増の 71 人で，7 年前と比較すると 6 割弱となっている。
- 平成 18 年度に入学した学年は，6 年生となった平成 23 年度でも 5 年前の 1 年生と同じ 19 人が所属した。他の入学年度でもほぼ同様で，在学中の人数はほぼ同数となっている。
- 『100 周年記念誌』によると，昭和 50 年代に 1 学年 2 クラス編成を行っていたが，近年では全校でのクラス総数が 6 クラス，各学年 1 クラスの単学級となっていた。しかし，児童数の減少に伴い，平成 25 年度の全校クラス数は 5 クラスとなりし，複式学級導入校となった。

図一三島小学校の児童数と学級数の推移



表一三島小学校の児童数と学級数の推移

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
1 年生	24	16	20	19	14	14	20	11	7	9	14
2 年生	14	24	17	20	19	14	13	20	11	7	9
3 年生	27	15	25	17	20	20	14	12	18	11	7
4 年生	17	26	15	25	18	20	19	14	12	18	11
5 年生	25	18	27	15	26	18	19	19	13	12	18
6 年生	20	26	18	27	16	26	17	19	19	13	12
合 計	127	125	122	123	113	112	102	95	80	70	71
学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5

■三島小学校の建物概要

所在地	下島 422 番地	設置年度	明治 18 年
校地面積	12,567 (㎡)	屋内運動場	754 (㎡)
校舎延床面積 (合計)	2,478 (㎡)	プール	—
運動場	1,792 (㎡)		
教室使用状況	普通教室	その他 (特別教室等)	合計
	6	7	13

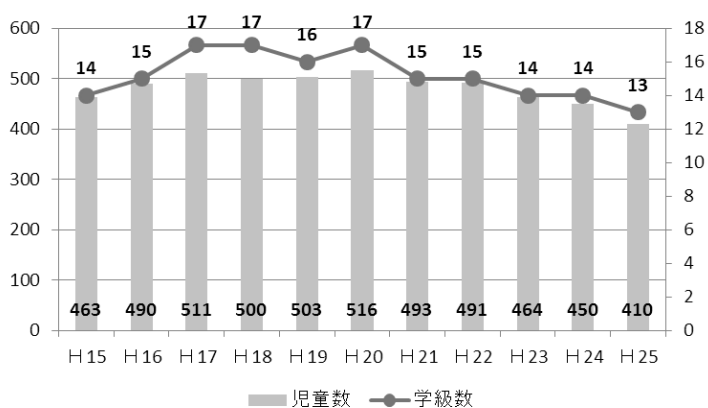
位置図		校舎外観写真		
-----	---	--------	--	---

学校配置図	
-------	---

⑤板橋小学校

- 市の中部、伊奈地区の一部を学区としている。
- 「共に、豊に、たくましく生きる力の育成」を掲げ、積極的な校外活動に取り組んでいる。平成 12 (2000) 年にはコンピュータ教室が完成し、平成 23 (2011) 年からは「いばらきサイエンスキッズ育成プラン」のモデル校に選ばれている。
- 創立は明治 22(1886)年で、小張小学校から分離した板橋尋常小学校として開校。昭和 4 (1929) 年には狸穴尋常小学校と合併して、現在に至る。設立当初から現在の立地にある。
- 校舎は昭和 39 (1964) 年に使用を開始した 2 階建ての「2 号館」、昭和 49 (1974) 年に建造した 3 階建ての「3 号館」、昭和 54 (1979) 年に建造した 3 階建ての「1 号館」がある。いずれも過去に改修が行われ、最近では平成 22 (2010) 年に耐震補強工事を行っている。体育館は昭和 54 (1979) 年に使用を開始し、平成 19 (2007) 年に耐震化工事を行っている。
- 『板橋小学校創立 100 周年記念誌』(平成元 (1989) 年刊行)によると、同校の児童数は昭和 57 (1982) 年度の 1,085 人を頂点に減少し、近年では平成 20 年度の 516 人を境に増加から減少へ転じた。平成 25 年度は前年度より 40 人減の 410 人で、5 年前と比較すると 8 割弱となっている。
- 平成 18 年度に入学した学年は、6 年生となった平成 23 年度には 5 年前の 1 年生より 4 人多い 79 人が所属した。他の入学年度では、年によって人数の増減がまちまちで、他校と比較するとその変動が激しくなっている。
- 児童数の増減が激しいため、全校クラス数の変動も大きい。平成 20 年度は 17 クラスだったが、平成 25 年度には前年度から 1 クラス減った 13 クラスとなり、昭和 57 年度の 28 クラスからは半数以下となった。

図一板橋小学校の児童数と学級数の推移



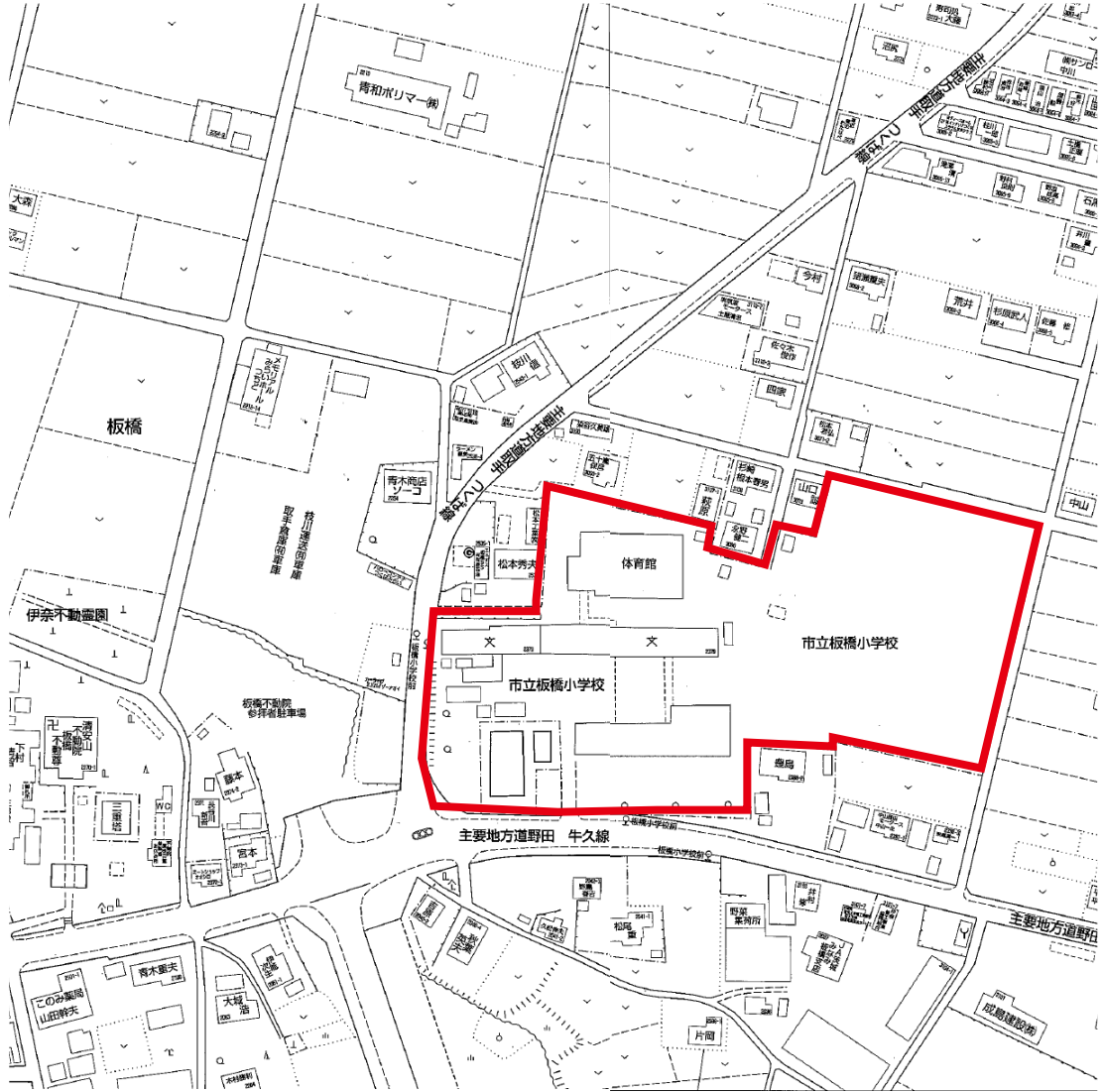
表一板橋小学校の児童数と学級数の推移

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
1 年生	81	86	95	75	88	85	66	74	66	63	54
2 年生	80	81	84	91	72	89	85	69	74	68	61
3 年生	78	82	82	83	91	78	91	86	68	73	70
4 年生	85	79	83	85	82	93	77	92	85	68	70
5 年生	74	86	80	85	86	83	92	79	92	84	69
6 年生	65	76	87	81	84	88	82	91	79	94	86
合 計	463	490	511	500	503	516	493	491	464	450	410
学級数	14	15	17	17	16	17	15	15	14	14	13

■板橋小学校の建物概要

所在地	板橋 2379 番地	設置年度	明治 22 年
校地面積	22,699 (㎡)	屋内運動場	976 (㎡)
校舎延床面積 (合計)	4,964 (㎡)	プール	—
運動場	10,618 (㎡)		
教室使用状況	普通教室	その他 (特別教室等)	合計
	15	11	26

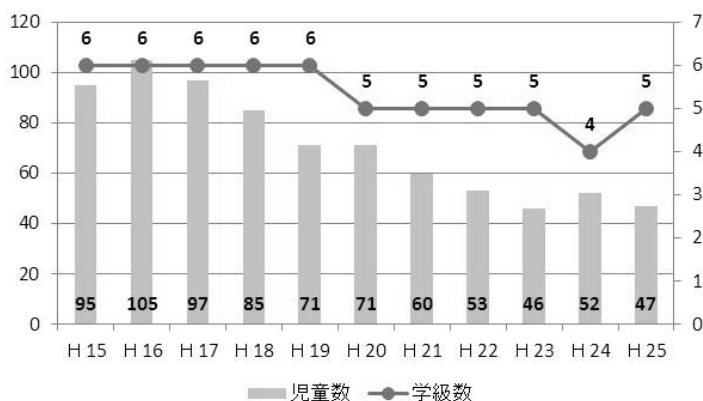
位置図		校舎外観写真	 
-----	---	--------	--

学校配置図	
-------	---

⑥東小学校

- 市の東部、伊奈地区の一部を学区としている。みらい平地区は学区には含まれていない。
- 複式学級を採用する小規模校として、異学年交流を推進した活動を数多く行う他、三世代交流会と称した地域との交流にも積極的に取り組んでいる。
- 創立は昭和 33（1958）年で、市内の小学校としては唯一、戦後に設置された学校である。昭和 30（1955）年、かつての久賀村が伊奈村と藤代町（現在は取手市）へ分村編入された際、藤代町立となった久賀小学校への越境通学となった児童たちのために開校された。設立当初から現在の立地にある。
- 校舎は昭和 56（1981）年に使用を開始した 3 階建てで、体育館は昭和 57（1982）年に使用を開始している。
- 『東小学校創立 30 周年記念誌』（平成元（1989）年刊行）によると、同校の児童数は他校と比較すると少なく、昭和 60 年代には 1 学年 30 人台の卒業生を出した年はあったものの、現在は全校で 50 人前後、各学年では 10 人を割る児童数となる例が増えている。平成 25 年度は前年度より 5 人減の 47 人で、この 10 年間で最多だった平成 16 年度の半分以上となっている。平成 24 年度には 14 人が 1 年生となり、この 8 年間で最多となったが、平成 25 年度の 1 年生は 2 人まで落ち込んだ。
- 平成 18 年度に入学した児童は、6 年生となった平成 23 年度には 5 年前の 1 年生より 2 人少ない 8 人が所属した。他の入学年度でも、概ね入学時より児童数は減少する傾向にある。
- 全校クラス数は平成 20 年度に 6 クラスから 5 クラスへ減少し、複式学級導入校となった。平成 24 年度には 4 クラスとなったが、平成 25 年度には 5 クラスに戻った。

図一 東小学校の児童数と学級数の推移



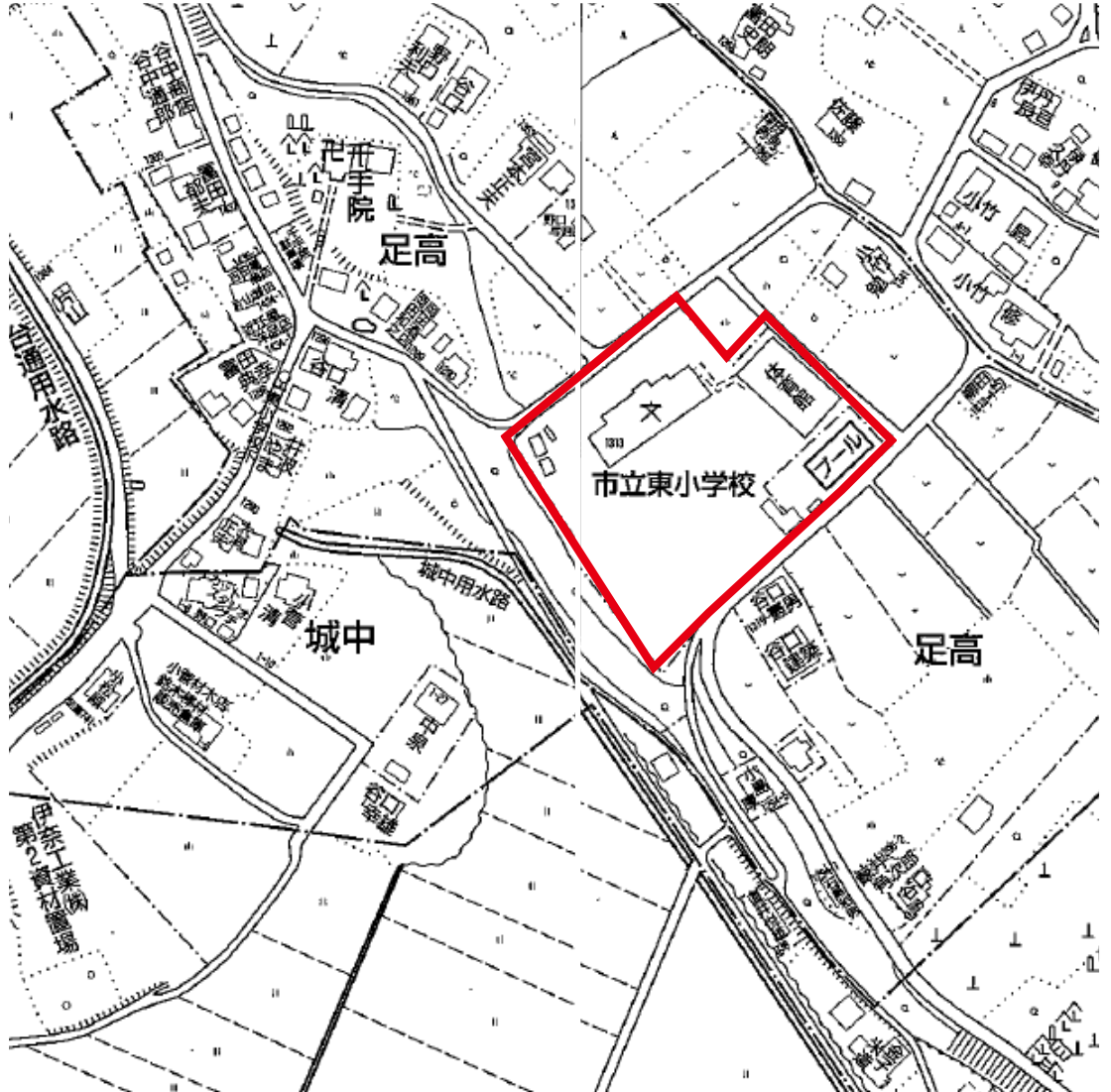
表一 東小学校の児童数と学級数の推移

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
1 年生	16	18	12	10	7	11	9	9	5	14	2
2 年生	11	16	17	12	9	6	10	9	9	5	14
3 年生	18	12	16	17	12	8	6	10	9	9	4
4 年生	20	18	13	16	17	12	8	6	9	9	9
5 年生	20	21	18	12	16	17	11	8	6	9	9
6 年生	10	20	21	18	10	17	16	11	8	6	9
合 計	95	105	97	85	71	71	60	53	46	52	47
学級数	6	6	6	6	6	5	5	5	5	4	5

■東小学校の建物概要

所在地	足高 1313 番地	設置年度	昭和 33 年
校地面積	13,993 (㎡)	屋内運動場	715 (㎡)
校舎延床面積 (合計)	1,948 (㎡)	プール	—
運動場	5,997 (㎡)		
教室使用状況	普通教室	その他 (特別教室等)	合計
	5	5	10

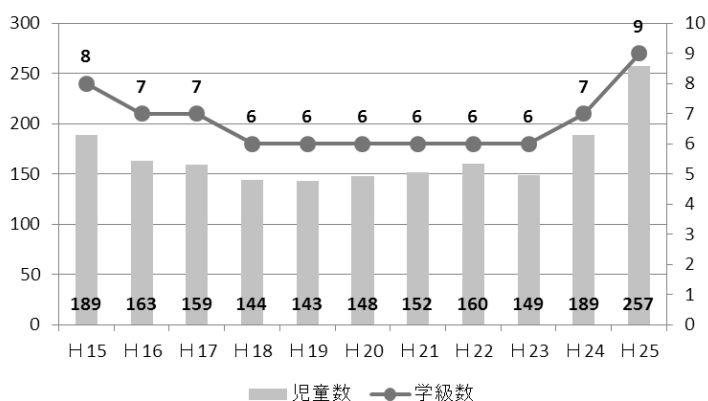
位置図		校舎外観写真		

学校配置図		
	<p>市立東小学校</p>	

⑦谷原小学校

- 市の西部，みらい平地区を含む谷和原地区の南部を学区としている。
- 「進んで学び 心豊かで たくましい児童の育成」を掲げ，伊奈特別支援学校との交流にも取り組んでいる。「やわらっ子祭り」への参加，春の全校田植えや秋の稲刈りも行っている。
- 大正4（1915）年に「鹿島村西檜戸尋常小学校」とその「下小目分校場」として設立されたのが最初で，昭和13（1938）年に長崎村の「谷原尋常小学校」となり，現在に至る。設立当初から現在の立地にある。
- 校舎は昭和59（1984）年，平成3（1991）年に建造した各校舎を使用している。平成12（2000）年と平成13（2001）年には改修が行われている。体育館は昭和53（1978）年に使用を開始し，平成18（2006）年に耐震化工事を行っている。
- 近年の児童数は全校150人前後で推移していたが，この2年は急増し，平成24年度には前年度比で40人増となった。平成25年度は前年度比で68人多い257人となり，2年間で100人以上増加している。特に1年生の数は2年間でほぼ4倍となった。
- 平成18年度に入学した学年は，6年生となった平成23年度には5年前の1年生より1人多い25人が所属した。他の入学年度では，年によって人数の増減がまちまちで，他校と比較するとその変動が激しくなっている。
- 全校クラス数は徐々に減り，平成18（2006）年度には6クラスとなって，全学年での単学級制に移行していたが，平成24（2012）年度は7クラスとなり部分的に複数学級が戻った後，平成25（2013）年度には9クラスにまで増加した。

図一谷原小学校の児童数と学級数の推移



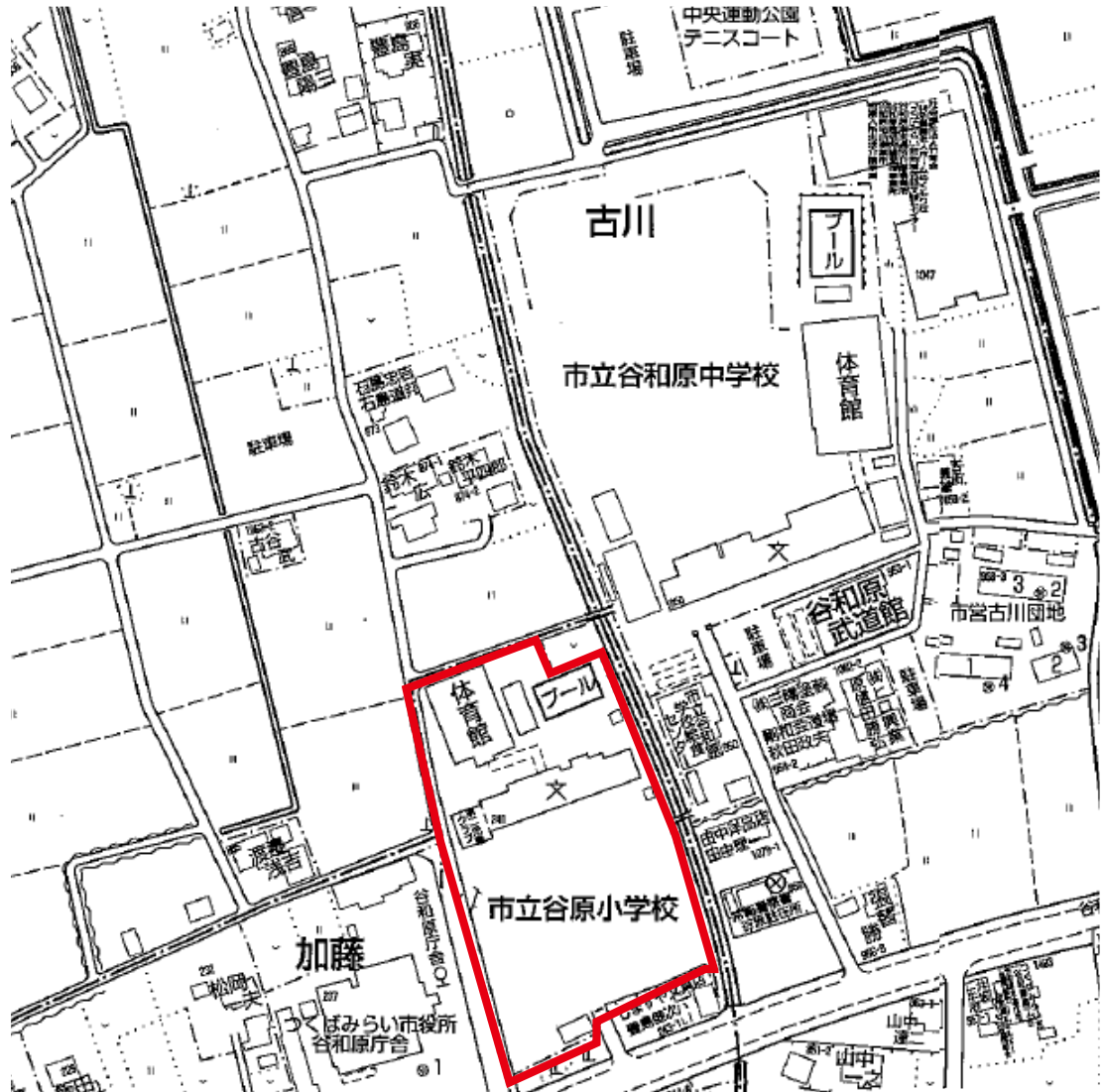
表一谷原小学校の児童数と学級数の推移

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
1年生	24	17	30	24	20	31	26	26	21	58	81
2年生	26	24	16	31	24	21	30	26	25	22	59
3年生	19	26	24	18	30	24	21	31	27	27	24
4年生	43	19	26	25	18	30	26	23	30	28	29
5年生	36	43	20	26	24	18	30	24	21	33	30
6年生	41	34	43	20	27	24	19	30	25	21	34
合計	189	163	159	144	143	148	152	160	149	189	257
学級数	8	7	7	6	6	6	6	6	6	7	9

■谷原小学校の建物概要

所在地	加藤 241 番地	設置年度	昭和 12 年
校地面積	12,066 (㎡)	屋内運動場	773 (㎡)
校舎延床面積 (合計)	2,449 (㎡)	プール	—
運動場	5,796 (㎡)		
教室使用状況	普通教室	その他 (特別教室等)	合計
	10	8	18

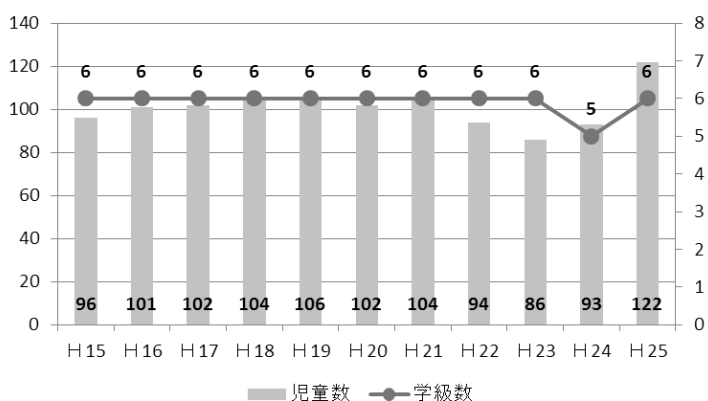
位置図		校舎外観写真	 
-----	---	--------	--

学校配置図	
-------	---

⑧十和小学校

- 市の北西部，みらい平地区を含む谷和原地区の一部を学区としている。
- 高齢者とのふれあい給食やまごころふれあいフェスティバルなど，人とのふれあいを通じた教育に取り組む。
- 創立は明治 19（1886）年，上長沼小学校として発足し，明治 23（1890）年に十和尋常小学校となった。大正 13（1924）年に現在の立地に移った。
- 校舎は昭和 57（1982）年に使用を開始した 3 階建てである。体育館は昭和 51（1976）年に使用を開始している。
- 『谷和原村立十和小学校創立百周年記念誌』（昭和 61（1986）年刊行）によると，当時の同校の児童数は各学年で 30 人台となっていたが，近年の児童数は全校 100 人前後で推移していた。平成 23 年度には 86 人まで減少したが，この 2 年は急増し，平成 25 年度は前年度比で 29 人増の 122 人となり，1 年生の人数の 31 人と合わせ，この 10 年間で最多となっている。
- 平成 18 年度に入学した学年は，6 年生となった平成 23 年度には 5 年前の 1 年生と同数の 22 人が所属した。他の入学年度でもほぼ横ばいだったが，平成 23 年度の 1 年生が 3 人だったのが平成 25 年度の 3 年生は 9 人になるなど，この 1～2 年は，進級に伴う人数の増加傾向が見られる。
- 全校クラス数はずっと 6 クラスで，全学年での単学級を維持してきたが，平成 24 年度は 1 つ減った 5 クラスとなり，複式学級導入校となった。しかし，平成 25 年度には 6 クラスに戻り，1 年で複式学級は解消された。

図一十和小学校の児童数と学級数の推移



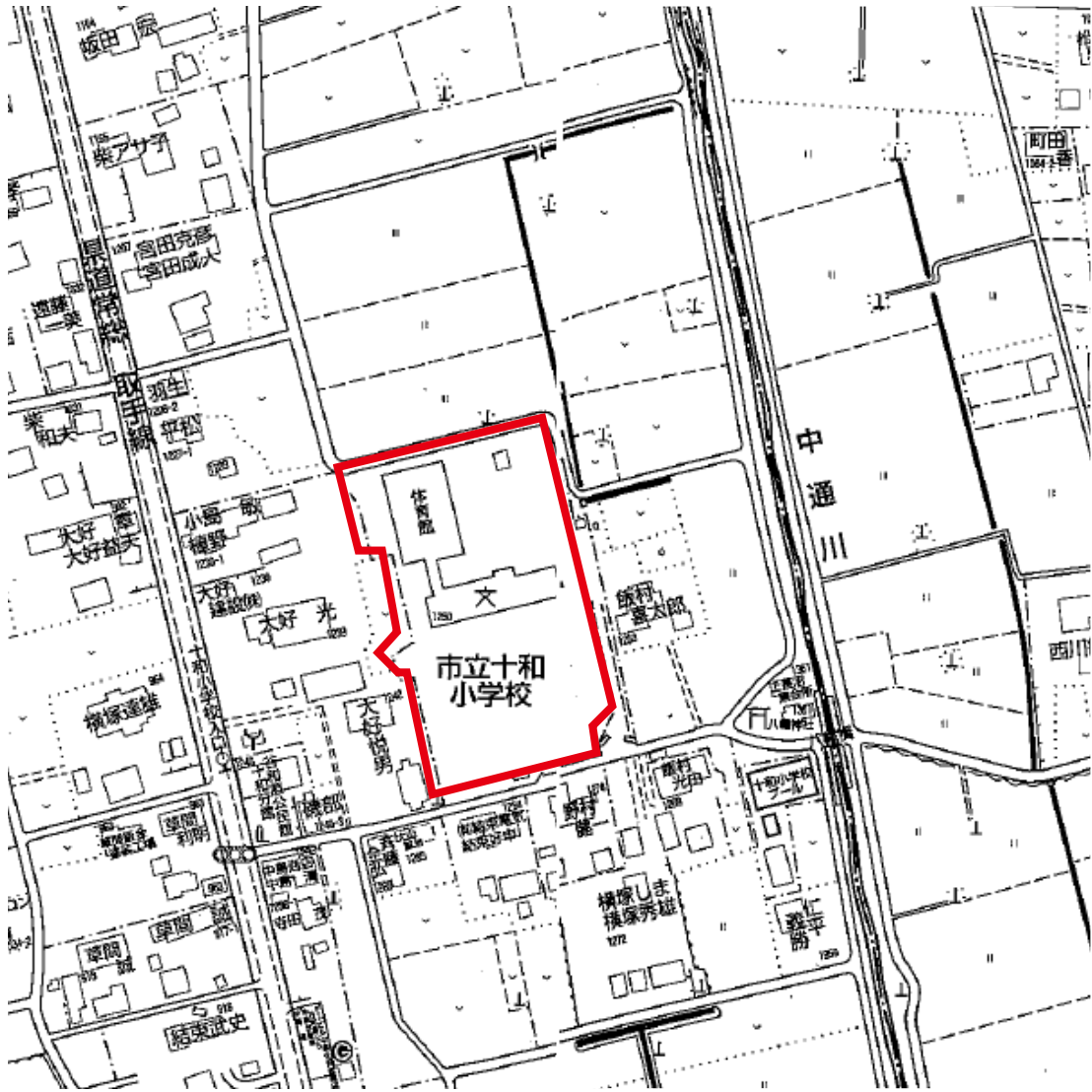
表一十和小学校の児童数と学級数の推移

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
1 年生	17	18	13	22	17	14	20	9	3	24	31
2 年生	20	17	18	12	21	17	14	20	9	3	27
3 年生	14	19	18	18	12	21	17	13	21	12	9
4 年生	20	14	19	19	18	13	22	17	14	22	13
5 年生	12	20	14	19	19	18	13	22	17	15	23
6 年生	13	13	20	14	19	19	18	13	22	17	19
合 計	96	101	102	104	106	102	104	94	86	93	122
学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	6

■十和小学校の建物概要

所在地	上長沼 1250 番地	設置年度	明治 19 年
校地面積	11,870 (㎡)	屋内運動場	773 (㎡)
校舎延床面積 (合計)	2,027 (㎡)	プール	—
運動場	4,243 (㎡)		
教室使用状況	普通教室	その他 (特別教室等)	合計
	7	6	13

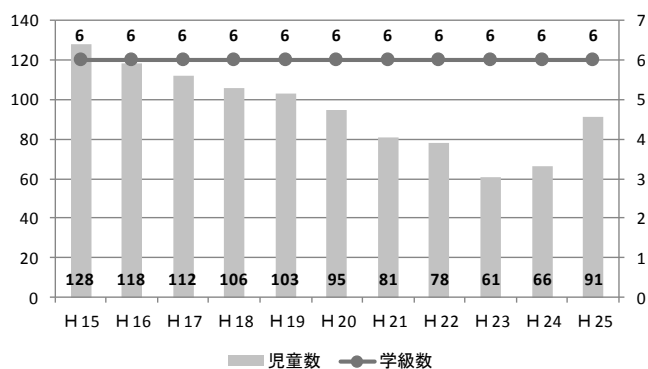
位置図		校舎外観写真		

学校配置図	
-------	---

⑨福岡小学校

- 市の北部、みらい平地区を含む谷和原地区の一部を学区としている。
- 小規模校の利点を生かしながら「自ら進んで学び心豊かにたくましく生きる児童を育成する」の教育方針のもとに、「全職員で全児童を担当する」を合言葉とし、日々の教育活動を展開している。秋まつりなどでの地域交流を行う一方、公式ブログも毎日更新を続けて情報発信力も強化している。
- 明治 10（1877）年に設立された台小学校を起源とし、火災による休校を経て明治 19（1886）年に福岡尋常小学校として再興される。この時から現在の立地にある。
- 校舎は昭和 57（1982）年に使用を開始した 3 階建てである。体育館は昭和 53（1978）年に使用を開始し、平成 16（2004）年に耐震化工事を行っている。
- 『福岡小学校創立 100 周年記念誌』（昭和 53（1978）年刊行）によると、第二次ベビーブーム前の昭和 52（1977）年度の全校児童数は 155 人だった。この 10 年間では児童数の減少が続き、1 年生が前年度の半分を下回る 6 人だった平成 23 年度は全校でも 61 人にまで落ち込み、平成 15 年度の半分以下となった。しかし平成 24 年度からは上昇に転じ、平成 25 年度は前年度比で 25 人多い 91 人となり、4 年前の数を上回った。1 年生の 32 人はこの 10 年間で最多である。
- 児童数の激しい増減にも関わらず、全校クラス数はこの 10 年間で 6 クラスが維持され、全学年で単学級となっている。
- 平成 18 年度に入学した学年は、6 年生となった平成 23 年度には 5 年前の 1 年生より 2 人少ない 14 人が所属した。他の入学年度でも横ばいまたは微減となっている。

図一福岡小学校の児童数と学級数の推移



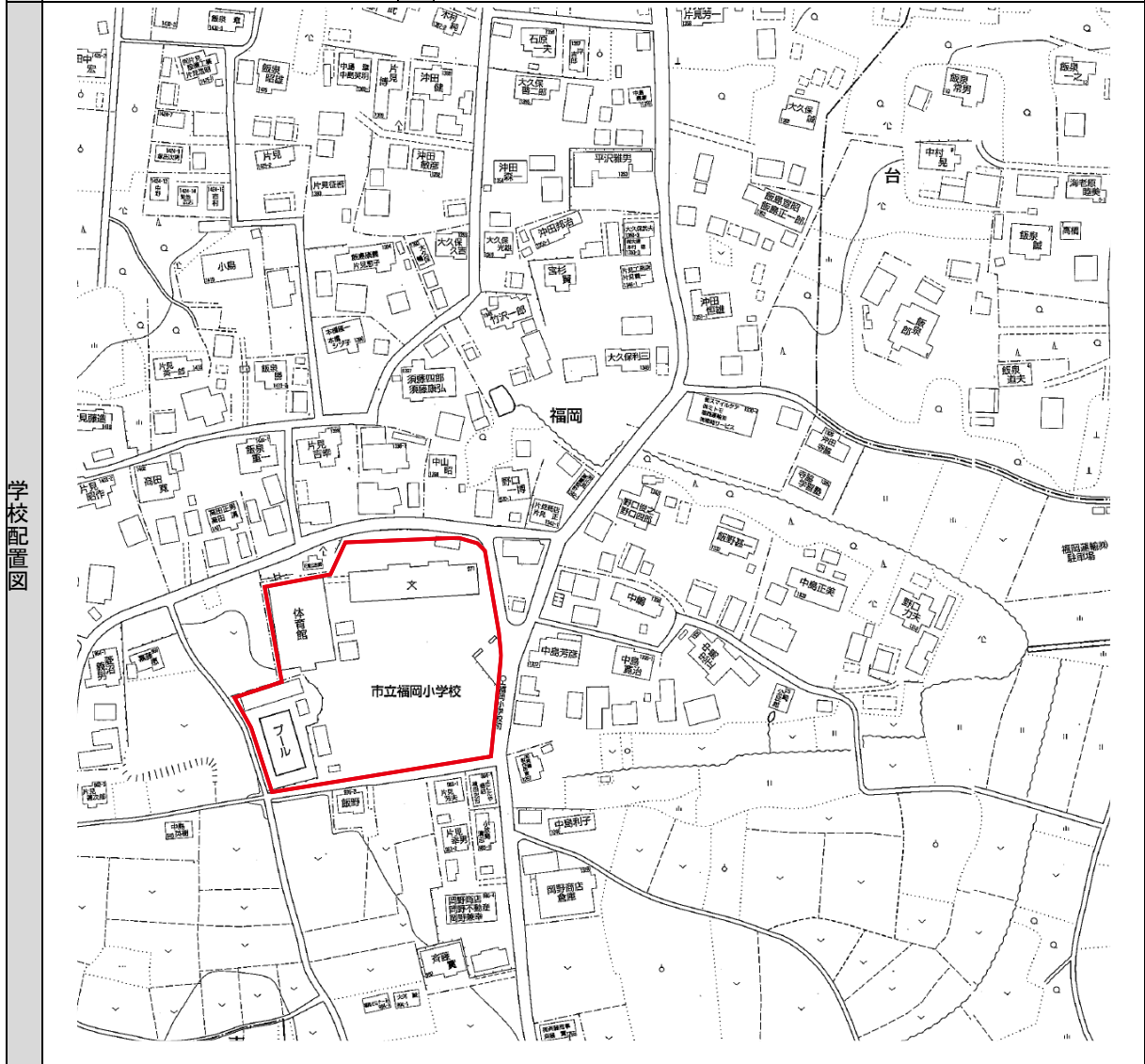
表一福岡小学校の児童数と学級数の推移

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
1 年生	19	14	19	16	12	10	9	13	6	17	32
2 年生	16	19	14	20	16	12	10	8	13	6	20
3 年生	18	16	19	16	22	15	11	9	8	14	6
4 年生	27	18	16	20	16	22	14	11	9	9	14
5 年生	25	26	18	16	21	15	22	14	11	9	10
6 年生	23	25	26	18	16	21	15	23	14	11	9
合 計	128	118	112	106	103	95	81	78	61	66	91
学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

■福岡小学校の建物概要

所在地	福岡 971 番地	設置年度	明治 10 年
校地面積	9,553 (㎡)	屋内運動場	773 (㎡)
校舎延床面積 (合計)	2,005 (㎡)	プール	—
運動場	4,293 (㎡)		
教室使用状況	普通教室	その他 (特別教室等)	合計
	6	7	13

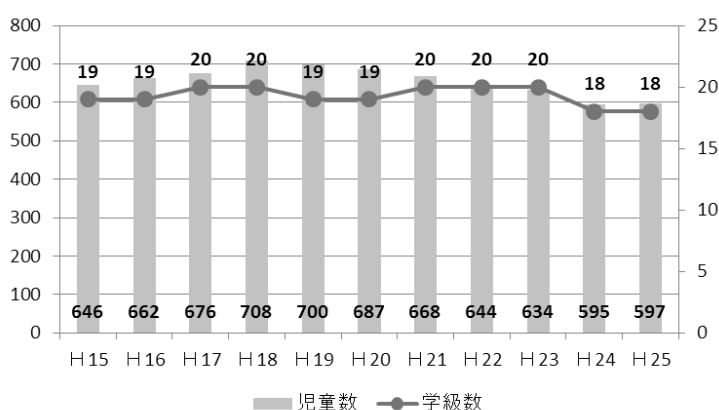
位置図		校舎外観写真	 
-----	---	--------	--



⑩小絹小学校

- 市の西部，谷和原地区の西部を学区としている。谷原小学校区との境界は小貝川である。小絹中学校区と一致し，小中学校の学区範囲が同じ市内唯一の例となっている。
- 学区が同じという特性を活かし，小絹中学校との小中一貫教育にも取り組んでいる。
- 明治 12（1879）年に小絹尋常小学校として開校。明治時代の合併を経て，現在に至る。
- 校舎は昭和 48（1973）年に使用を開始した 2 階建て，昭和 61（1986）年に建造した 3 階建て，平成 5（1993）年に建造した 3 階建ての 3 つを使用している。体育館は昭和 53（1978）年に使用を開始し，平成 15（2003）年に改修を行っている。プールは昭和 46（1971）年に使用を開始し，平成 14 年（2002）年に改修を行っている。
- この 10 年間の生徒数は平成 18（2006）年度の 708 人が最多で，以後は減少傾向にある。平成 24（2012）年度は前年度比で 39 人減と特に大きく落ち込み，600 人を割った。平成 25（2013）年度は前年度より 2 人多い 597 人となっている。
- 全校クラス数は年によって 19 クラスか 20 クラスかが目まぐるしく変化していたが，生徒数が減った平成 24（2012）年度は初めて 18 クラスとなった。平成 25（2013）年度は前年度と同じ 18 クラスである。
- 平成 18 年度に入学した学年は，6 年生となった平成 23 年度には 5 年前の 1 年生より 2 人少ない 123 人が所属した。他の入学年度でも，1～2 人程度の増減は発生している。

図一 小絹小学校の児童数と学級数の推移




表一 小絹小学校の児童数と学級数の推移

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
1 年生	122	114	121	125	105	102	99	91	106	86	99
2 年生	108	118	120	124	122	102	102	98	92	105	90
3 年生	100	112	120	121	120	121	102	101	104	91	105
4 年生	98	100	113	120	119	124	122	104	107	104	93
5 年生	115	101	100	114	119	117	125	122	102	104	105
6 年生	103	117	102	104	115	121	118	128	123	105	105
合 計	646	662	676	708	700	687	668	644	634	595	597
学級数	19	19	20	20	19	19	20	20	20	18	18



■小絹小学校の建物概要

所在地	小絹 858 番地	設置年度	明治 22 年
校地面積	29,822 (㎡)	屋内運動場	784 (㎡)
校舎延床面積 (合計)	4,804 (㎡)	プール	—
運動場	12,770 (㎡)		
教室使用状況	普通教室	その他 (特別教室等)	合計
	21	9	30

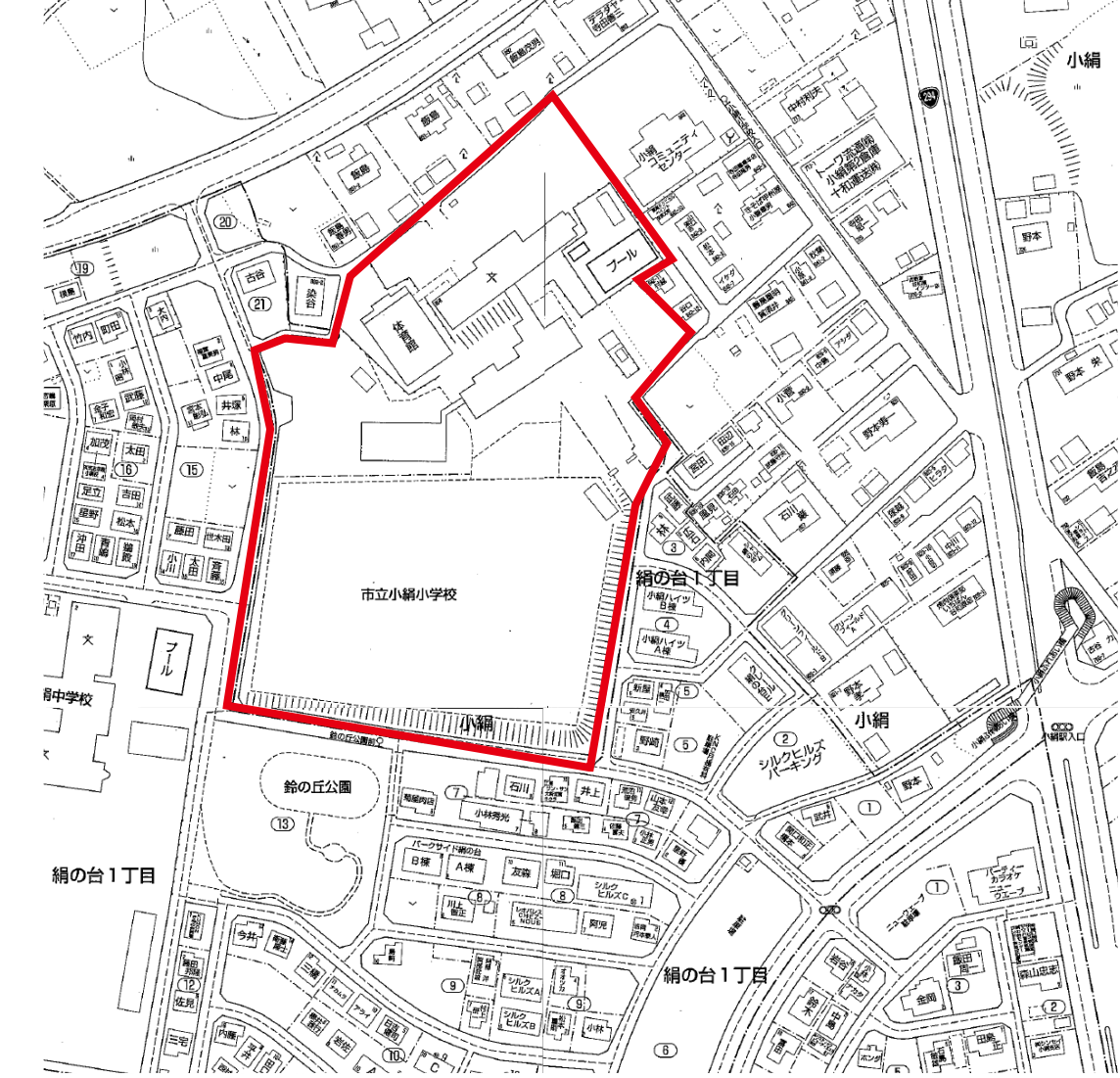
位置図



校舎外観写真

学校配置図

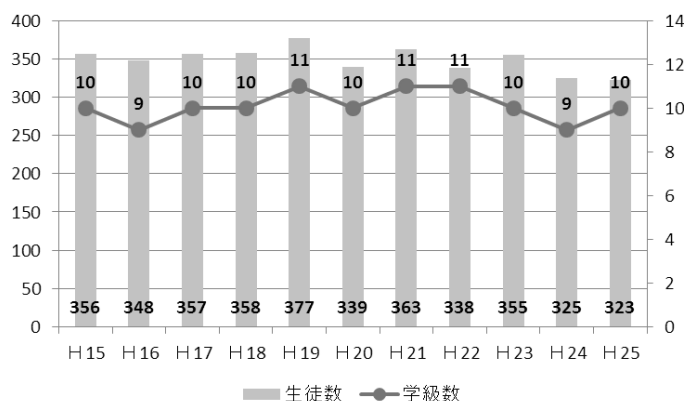


3) 各中学校の現状

①伊奈中学校

- 市の中部，伊奈地区の主に西部を学区としている。谷井田・小張・豊の各小学校区と三島小学校区の大半を含む。みらい平地区の生徒は谷和原中学校との選択可能。
- 「人間性豊でたくましく生きる生徒を育てる」の教育目標のもとに，意欲・学力・判断力のある生徒を育成する事を目指している。「稲穂祭」「合唱コンクール」等の行事も盛んで，水泳部からはアジア大会でともにメダルを獲得した山野井兄妹を輩出した。
- 昭和 26（1951）年に当時の 5 村により小張村外四ヶ村組合立谷原中学校として設立され，昭和 45（1970）年に伊奈村立板橋中学校を統合して伊奈村立伊奈中学校に改称。当時は谷原中学校の校舎を使用し，現在地には昭和 48（1973）年の専用校舎完成とともに全面移転。昭和 60（1985）年に伊奈東中学校を分離し，現在に至る。
- 校舎は 3 階建てが 2 棟ある。体育館は校舎に先立って昭和 46（1971）年に使用を開始し，平成 23（2011）年の東日本大震災による破損を平成 24（2012）年に修復した。プールは昭和 45（1970）年に完成している。
- 『伊奈中学校創立 25 周年記念誌』（平成 7（1995）年刊行）によると，伊奈東中学校分離の直前には生徒数が 1,500 人を超えていた。分離後も生徒数が 1,000 人を超える年もあったが，この 10 年ほどは生徒数が 350 人前後で推移した後，平成 24 年度には 325 人まで減少した。平成 25 年度は前年比で 2 人減の 323 人となっている。
- 上記の伊奈東中学校分離時には全校で 36 クラスとなり，プレハブ校舎の建設でしのいだが，最近では 10 クラス前後で推移している。

図一 伊奈中学校の生徒数と学級数の推移



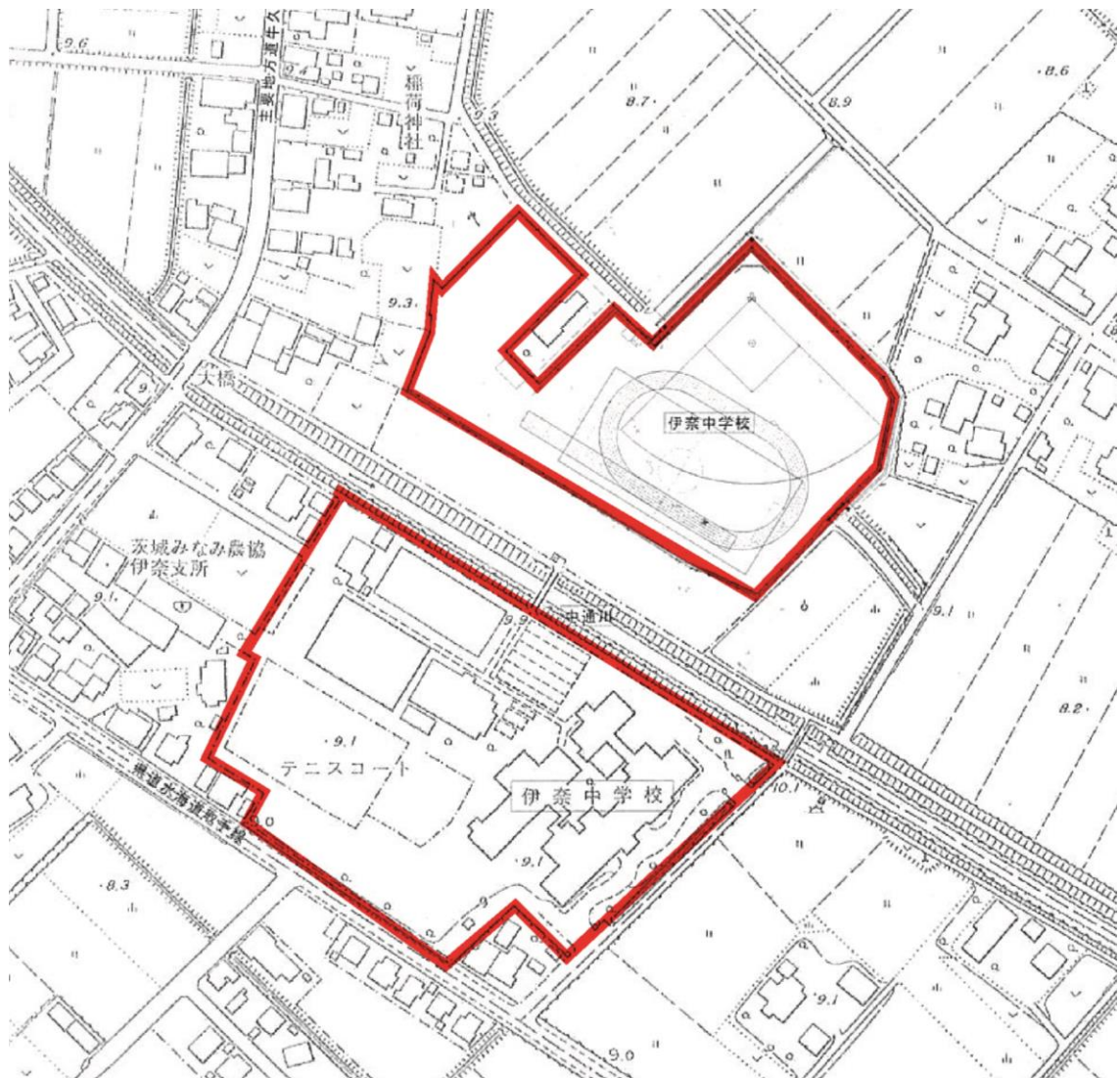
表一 伊奈中学校の生徒数と学級数の推移

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
1 年生	114	115	127	113	138	88	134	116	107	103	109
2 年生	120	115	115	128	111	139	90	134	115	107	104
3 年生	122	118	115	117	128	112	139	88	133	115	110
合 計	356	348	357	358	377	339	363	338	355	325	323
学級数	10	9	10	10	11	10	11	11	10	9	10

■伊奈中学校の建物概要

所在地	市野深 600 番地	設置年度	昭和 45 年
校地面積	39,226 (㎡)	屋内運動場	1,222 (㎡)
校舎延床面積 (合計)	6,043 (㎡)	プール	—
運動場	23,778 (㎡)		
教室使用状況	普通教室	その他 (特別教室等)	合計
	12	17	29

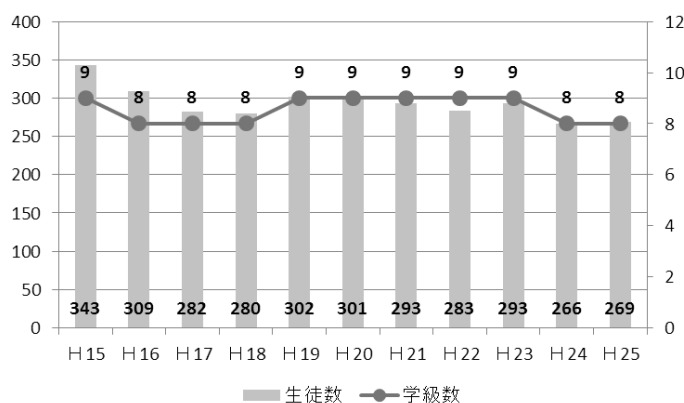
位置図		校舎外観写真		

学校配置図				

②伊奈東中学校

- 市の東部，伊奈地区の主に東部を学区としている。板橋・東の各小学校区と三島小学校区の一部を含む。
- 「きまりよく望み高くたくましく」の校訓を持ち，学力や判断力，思いやりのある生徒を育成する事を目指している。「合唱祭」「体育祭」「秋陽祭」などの行事も盛んで，かつては男女のバスケットボール部が全国ベスト16に入った。これらを紹介する公式ブログは平成16（2004）年から毎日更新を続け，情報発信力も高めている。
- 昭和60（1985）年，伊奈中学校から分離した伊奈町立伊奈東中学校として設立され，開校と同時に校舎の使用を開始し現在に至る。なお，昭和22（1947）年の学制改革から昭和45（1970）年までは近隣地に伊奈村立板橋中学校が存在していた。
- 校舎は3階建てで，昭和60（1985）年の開校と同時に使用を開始した。体育館とプールも同年に完成している。
- 『伊奈東中学校創立10周年記念誌』（平成6（1994）年刊行）によると，開校直後は生徒数が700人近くいたが，現在は280人前後で推移している。平成25年度は前年比で3人増の269人となった。
- 全校でのクラス数は新設時には16～17クラスだったが，最近では8～9クラスで推移している。平成25年度は前年と同じクラス数で269人となっている。

図一 伊奈東中学校の生徒数と学級数の推移



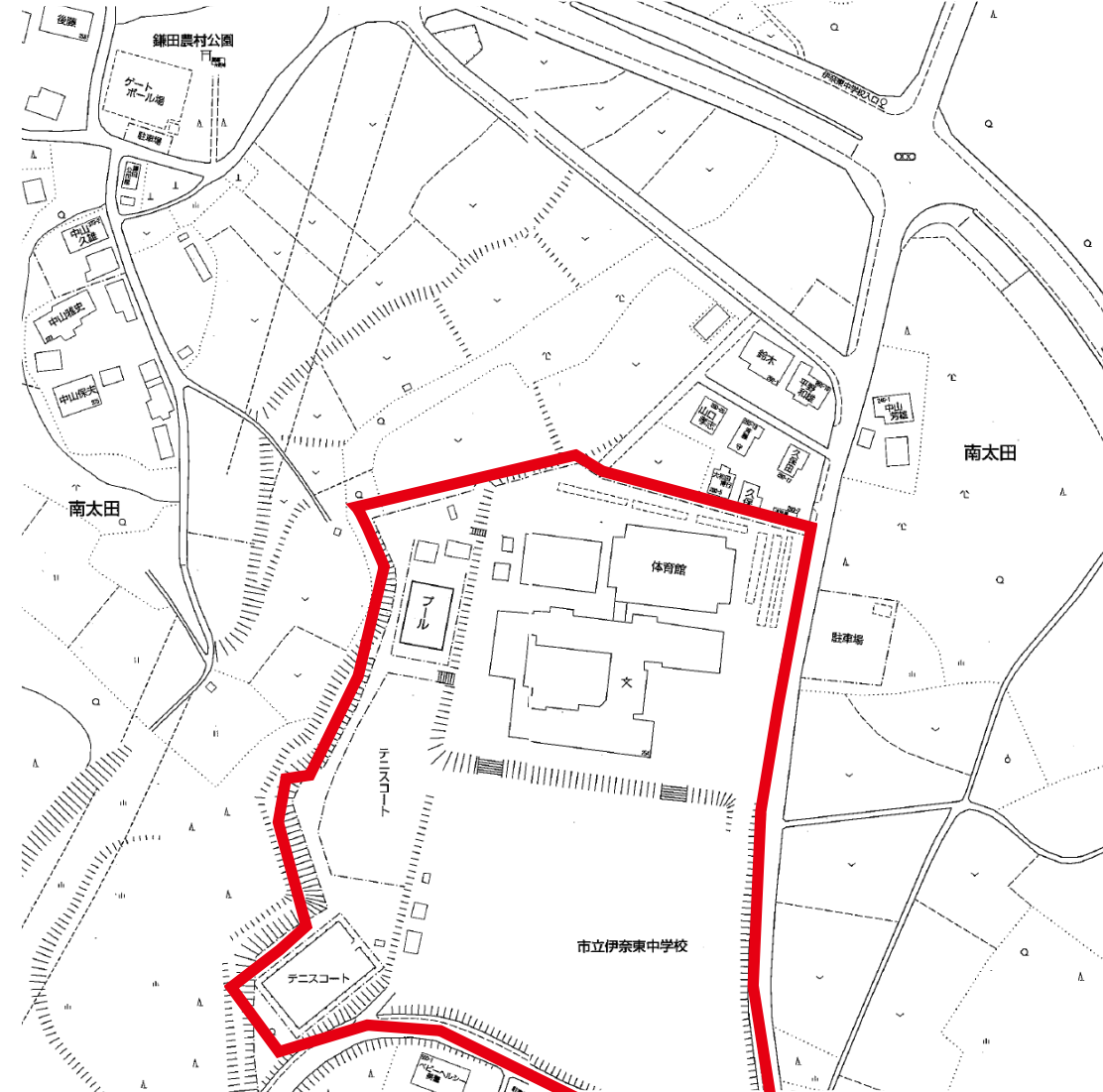
表一 伊奈東中学校の生徒数と学級数の推移

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
1年生	111	78	91	109	100	91	100	93	101	74	97
2年生	116	113	78	92	109	101	92	99	93	99	73
3年生	116	118	113	79	93	109	101	91	99	93	99
合計	343	309	282	280	302	301	293	283	293	266	269
学級数	9	8	8	8	9	9	9	9	9	8	8

■伊奈東中学校の建物概要

所在地	南太田 254 番地	設置年度	昭和 60 年
校地面積	41,664 (㎡)	屋内運動場	1,171 (㎡)
校舎延床面積 (合計)	5,310 (㎡)	プール	—
運動場	21,244 (㎡)		
教室使用状況	普通教室	その他 (特別教室等)	合計
	10	17	27

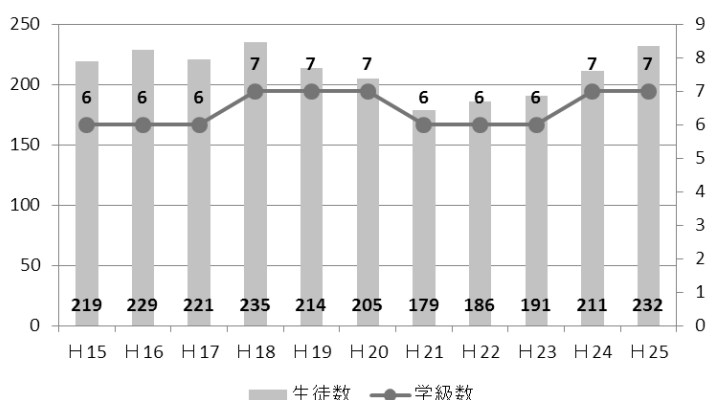
位置図		校舎外観写真	 
-----	---	--------	--

学校配置図	
-------	---

③谷和原中学校

- 旧谷和原村の地域，市の西部から北部を学区としている。谷原・十和・福岡の各小学校区が対象。みらい平地区の生徒は伊奈中学校との選択可能。
- 「高めあい 助けあい 鍛えあい」の標語の下，日々の教育活動を展開している。
- 『谷和原中学校のあゆみ』（昭和 55（1980）年刊）によると，昭和 43（1968）年に「谷和原中学校城山教場」と「谷和原中学校小絹教場」の統合により「谷和原村立谷和原中学校」として形式的に設立され，昭和 45（1970）年の校舎完成により実質的に統合。この時から現在の立地にある。その後，平成 6（1994）年に小絹小学校区が分離して「谷和原村立小絹中学校」が作られ，現在に至る。
- 校舎は 3 階建てで，昭和 45（1970）年に完成している。体育館とプールは昭和 46（1971）年に完成している。平成 25 年度予算案には谷和原中学校の耐震化補強工事費用が計上されている。
- 全校生徒数は数年単位での変動を見せている。平成 18（2006）年度の 235 人が 3 年後に 179 人まで減ったが，ここから再び増加基調に戻った。平成 25（2013）年度では前年より 21 人多い 232 人となっている。これはみらい平地区の生徒が入学したためとも解釈される。
- 全校クラス数は 6 クラスになっていたが，平成 24（2012）年度には 4 年ぶりに 7 クラスに戻り，平成 25 年度も変わっていない。

図一 谷和原中学校の生徒数と学級数の推移



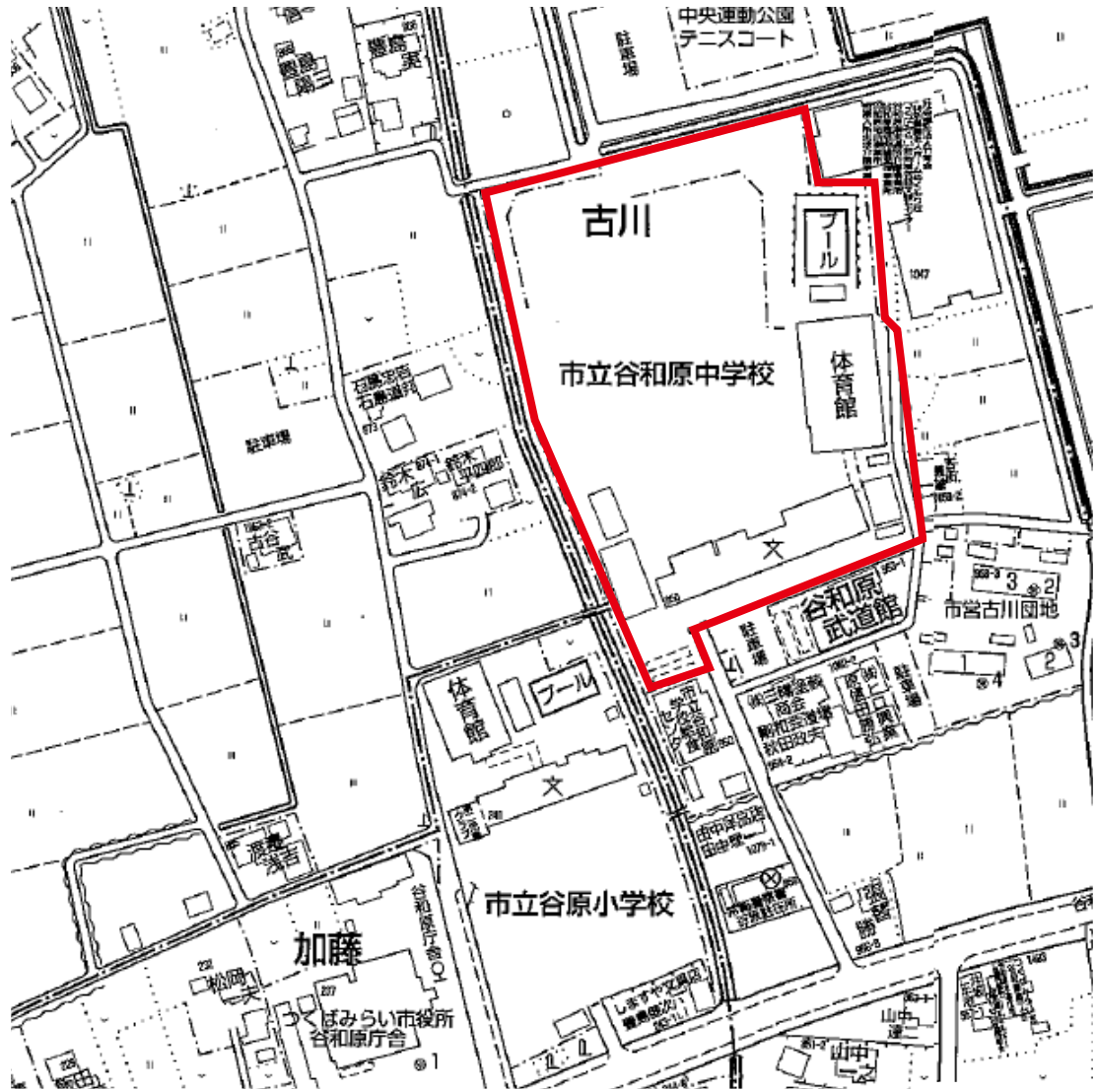
表一 谷和原中学校の生徒数と学級数の推移

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
1 年生	76	75	71	89	55	61	62	58	72	82	78
2 年生	78	76	75	71	88	56	62	62	56	72	82
3 年生	65	78	75	75	71	88	55	66	63	57	72
合 計	219	229	221	235	214	205	179	186	191	211	232
学級数	6	6	6	7	7	7	6	6	6	7	7

■谷和原中学校の建物概要

所在地	古川 950 番地	設置年度	昭和 43 年
校地面積	24,709 (㎡)	屋内運動場	1,455 (㎡)
校舎延床面積 (合計)	3,185 (㎡)	プール	—
運動場	15,040 (㎡)		
教室使用状況	普通教室	その他 (特別教室等)	合計
	9	12	21

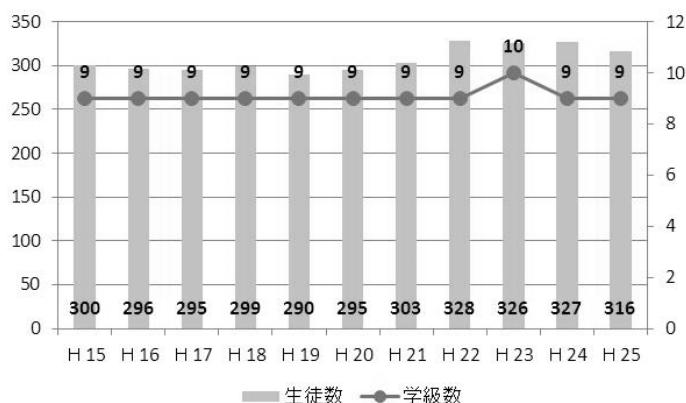
位置図		校舎外観写真	
-----	---	--------	--

学校配置図	
-------	---

④小絹中学校

- 市の西部，谷和原地区の西部を学区としている。谷和原中学校との境界は小貝川である。小絹小学校校区と一致し，小中学校の学区範囲が同じ市内唯一の例となっている。
- 学校外行事にも力を入れ，ボランティア活動や土手・国道のクリーン作戦も行っている。また，同一学区という特性を活かし，小絹小学校との小中一貫教育にも取り組んでいる。
- 平成6（1994）年に谷和原村立谷和原中学校から小絹小学校校区が分離して「谷和原村立小絹中学校」が作られ，現在に至る。昭和22（1947）年から昭和45年まで，谷和原中学校に統合される前の「谷和原村立小絹中学校」が存在し，この中学校は二代目となる。
- 校舎は3階建てで，平成6（1994）年の開校と同時に使用を開始した。体育館とプールも同年に完成している。
- 生徒数は概ね300人前後で推移していたが，最近は増加傾向にある。ただし，平成25年度は前年比で11人減の316人となった。
- 全校でのクラス数は基本的には9クラスで，平成23（2011）年度のみは10クラスだったが，翌年度からは9クラスに戻っている。『小絹中学校創立10周年記念誌』（平成15（2003）年刊行）によると，創立以来，各年度卒業生のクラス数は常に3クラスで，平成14（2002）年度のみが4クラスとなっている。

図一 小絹中学校の生徒数と学級数の推移



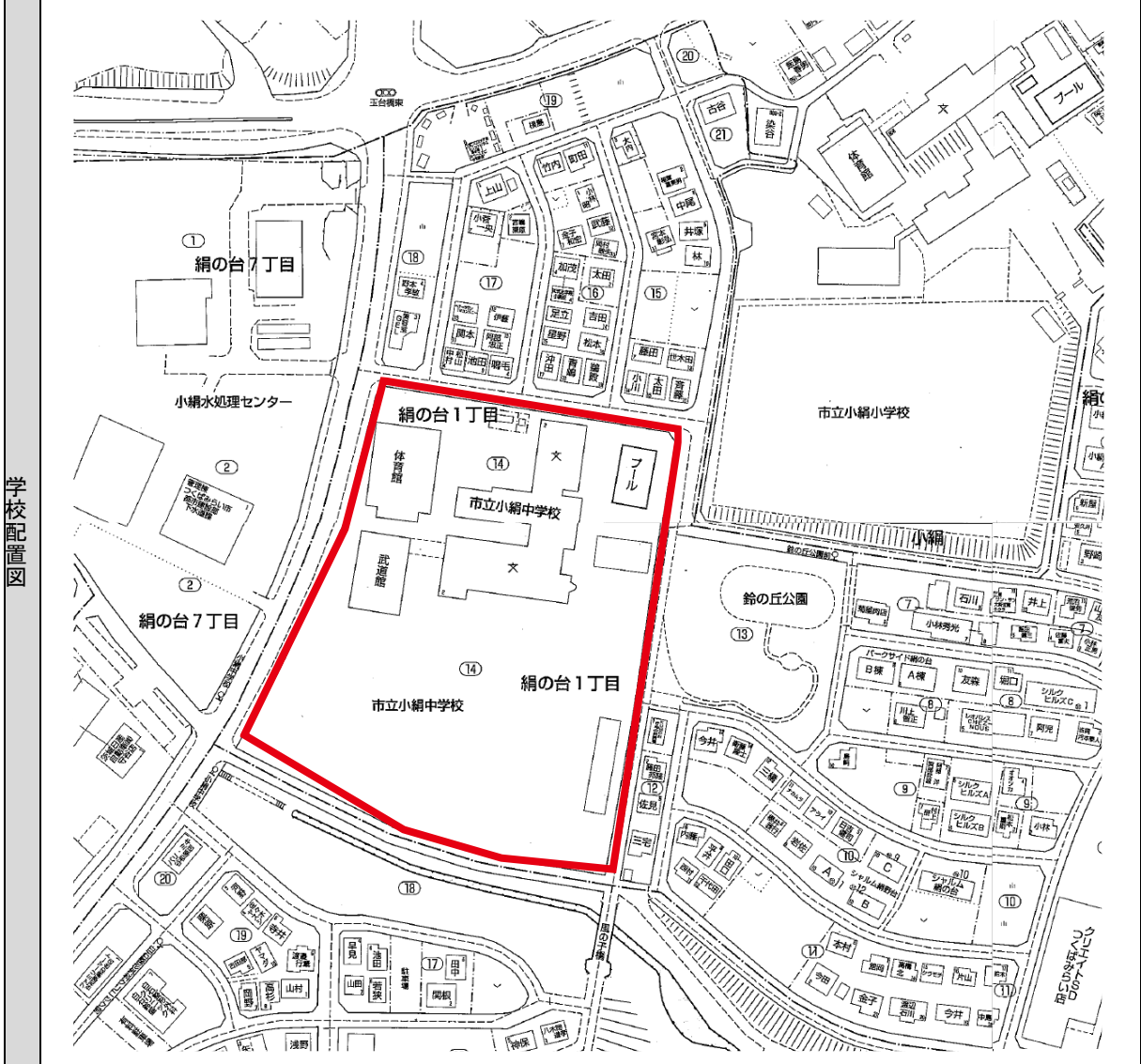
表一 小絹中学校の生徒数と学級数の推移

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
1年生	92	95	106	96	88	110	103	108	111	105	97
2年生	106	94	96	106	96	89	111	106	112	112	106
3年生	102	107	93	97	106	96	89	114	103	110	113
合計	300	296	295	299	290	295	303	328	326	327	316
学級数	9	9	9	9	9	9	9	9	10	9	9

■小絹中学校の建物概要

所在地	絹の台1丁目14番地2	設置年度	平成6年
校地面積	24,152(m ²)	屋内運動場	1,206(m ²)
校舎延床面積(合計)	4,556(m ²)	プール	—
運動場	11,483(m ²)		
教室使用状況	普通教室	その他(特別教室等)	合計
	12	13	25

位置図		校舎外観写真		



3. 将来人口・児童数の推計

みらい平地区と周辺の既存地区とでは、人口動態が異なっている状況を踏まえ、「みらい平地区を除いた既存地区の将来人口・児童数の推計」と「みらい平地区の将来人口・児童数の推計」の2つの方法で、将来人口・児童数を推計した。

1) みらい平地区を除いた既存地区の将来人口・児童数の推計

【推計に使用したデータ】

- ・男女別1歳階級別人口(平成18年4月1日～平成25年4月1日現在の住民基本台帳人口)
- ・平成25年6月1日現在のみらい平地区人口(みらい平地区人口除外作業用データ)

【推計の方法】

小学校区別の1歳階級別男女年齢別人口の推計

①既存地区全体のコーホート変化率の設定

●平成18年～平成25年までの住民基本台帳のデータをもとに、各年齢層に将来のコーホート変化率(各年齢層に社会増減と自然増減の要因を反映)を設定した。(既存地区全体のコーホート変化率を設定)

●90歳以上のコーホート変化率については、変動率が大きいため下記の回帰式を採用。

$$y = -4.4806466905E-05x^2 + 2.9376783459E-03x + 9.6736853838E-01$$

$$y = -3.7497064715E-05x^2 + 2.8551157955E-03x + 9.5842710549E-01$$

y=コーホート変化率 x=年齢

②町丁目別人口の推計

●上記のコーホート変化率を用い、1歳階級別に将来の町丁目別人口を求めた。

小学校・中学校区別の生徒数の推計

- 小・中学校区別に町丁目別人口を合計し、1年毎に将来の児童・生徒数を求めた。

コーホート法とは

人口変動に影響を及ぼす直接的な原因を自然増加(出生と死亡の差)と社会増加(転入と転出の差)として、この人口変化分を、各年齢集団ごとに積み上げて推計を行う方法。

← コーホート変化率 →

$$\text{ある年齢集団の人口増加分} = \text{自然増加} + \text{社会増加} = (\text{出生} - \text{死亡}) + (\text{転入} - \text{転出})$$

(参考) コーホート変化率法における計算例

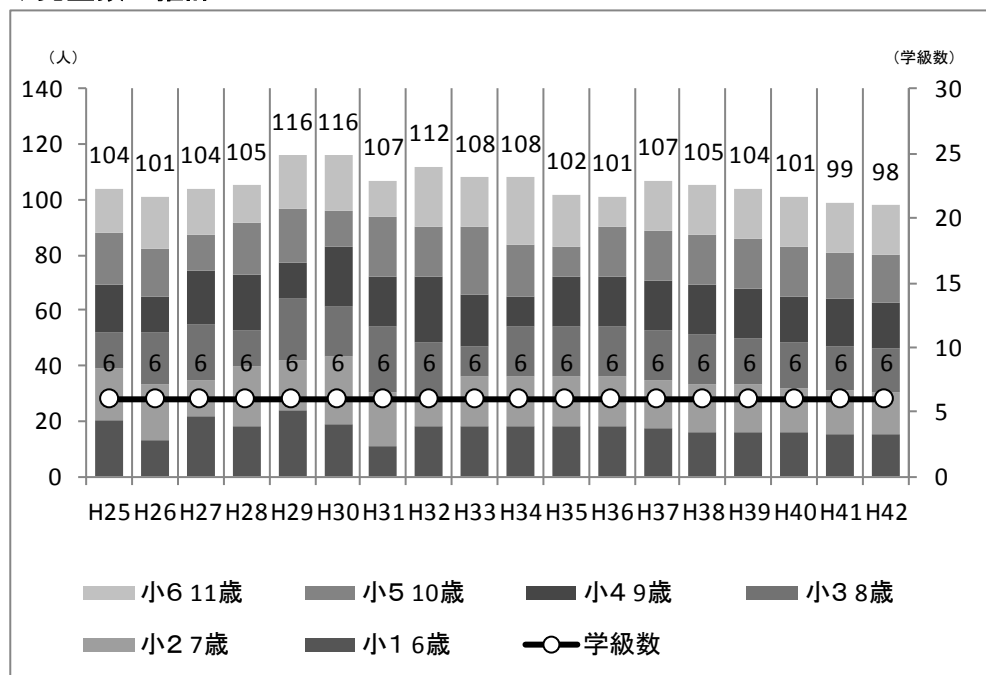
年齢	実績人口 2015年	2015→2016年 コーホート変化率	2016年	2016→2017年 コーホート変化率	2017年
1	6,277	0.9982	6,277×0.9982	6,266×0.99425	
2			6,266	0.99425	
2					6,230

①各小学校区の児童数の推計

ア 小張小学校区

児童数は増減をしながらも全体的に微減傾向となっており、平成42年では98人（6学級）と推測される。

◆児童数の推計



■小張小学校区(小張・谷口・奉社・市野深・新戸・小島新田)の推計

	小1 6歳	小2 7歳	小3 8歳	小4 9歳	小5 10歳	小6 11歳	合計	学級数	複式学級数
2013.4.1(実績)	20	19	13	17	19	16	104	6	0
2014.4.1(H26)	13	20	19	13	17	19	101	6	0
2015.4.1(H27)	22	13	20	19	13	17	104	6	0
2016.4.1(H28)	18	22	13	20	19	13	105	6	0
2017.4.1(H29)	24	18	22	13	20	19	116	6	0
2018.4.1(H30)	19	24	18	22	13	20	116	6	0
2019.4.1(H31)	11	19	24	18	22	13	107	6	0
2020.4.1(H32)	18	11	19	24	18	22	112	6	0
2021.4.1(H33)	18	18	11	19	24	18	108	6	0
2022.4.1(H34)	18	18	18	11	19	24	108	6	0
2023.4.1(H35)	18	18	18	18	11	19	102	6	0
2024.4.1(H36)	18	18	18	18	18	11	101	6	0
2025.4.1(H37)	17	18	18	18	18	18	107	6	0
2026.4.1(H38)	16	17	18	18	18	18	105	6	0
2027.4.1(H39)	16	17	17	18	18	18	104	6	0
2028.4.1(H40)	16	16	16	17	18	18	101	6	0
2029.4.1(H41)	15	16	16	17	17	18	99	6	0
2030.4.1(H42)	15	15	16	17	17	18	98	6	0

注)2013.4.1(実績)は、該当小学校区の6歳～11歳の人口となるため、小学校通学児童数とは一致しない。また、学級数、複式学級数についても、人口に基づいて算出している。

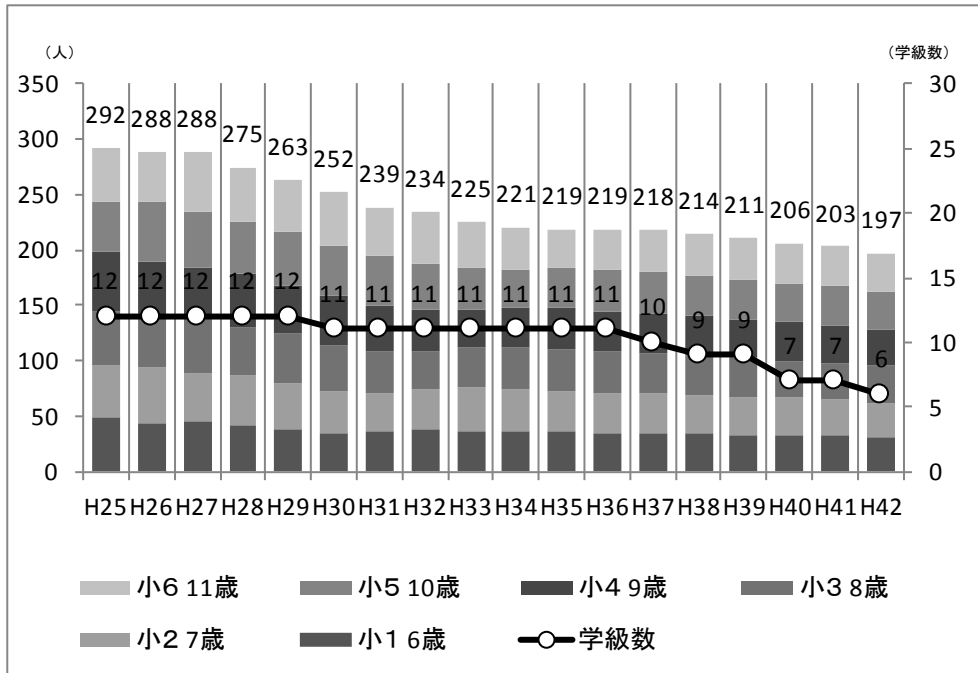
注)みらい平地区の暫定学区は考慮していない。

注)学級数は、1学級35人で計算している。

イ 谷井田小学校区

児童数は全体的に減少傾向となっており、平成42年では197人（7学級）と推測される。

◆児童数の推計



■谷井田小学校区(谷井田・山谷・上平柳・中平柳・下平柳)

	小1 6歳	小2 7歳	小3 8歳	小4 9歳	小5 10歳	小6 11歳	合計	学級数	複式学級数
2013.4.1(実績)	49	46	50	54	45	48	292	12	0
2014.4.1(H26)	44	49	46	50	54	45	288	12	0
2015.4.1(H27)	45	44	49	46	50	54	288	12	0
2016.4.1(H28)	41	45	44	49	46	50	275	12	0
2017.4.1(H29)	38	41	45	44	49	46	263	12	0
2018.4.1(H30)	35	38	41	45	44	49	252	11	0
2019.4.1(H31)	36	35	38	41	45	44	239	11	0
2020.4.1(H32)	38	36	35	38	41	46	234	11	0
2021.4.1(H33)	37	38	36	35	38	41	225	11	0
2022.4.1(H34)	37	37	38	36	35	38	221	11	0
2023.4.1(H35)	36	37	37	38	36	35	219	11	0
2024.4.1(H36)	35	36	37	37	38	36	219	11	0
2025.4.1(H37)	35	35	36	37	37	38	218	10	0
2026.4.1(H38)	34	35	35	36	37	37	214	9	0
2027.4.1(H39)	33	34	35	36	36	37	211	9	0
2028.4.1(H40)	33	33	34	35	35	36	206	7	0
2029.4.1(H41)	32	33	33	34	35	36	203	7	0
2030.4.1(H42)	30	32	33	33	34	35	197	6	0

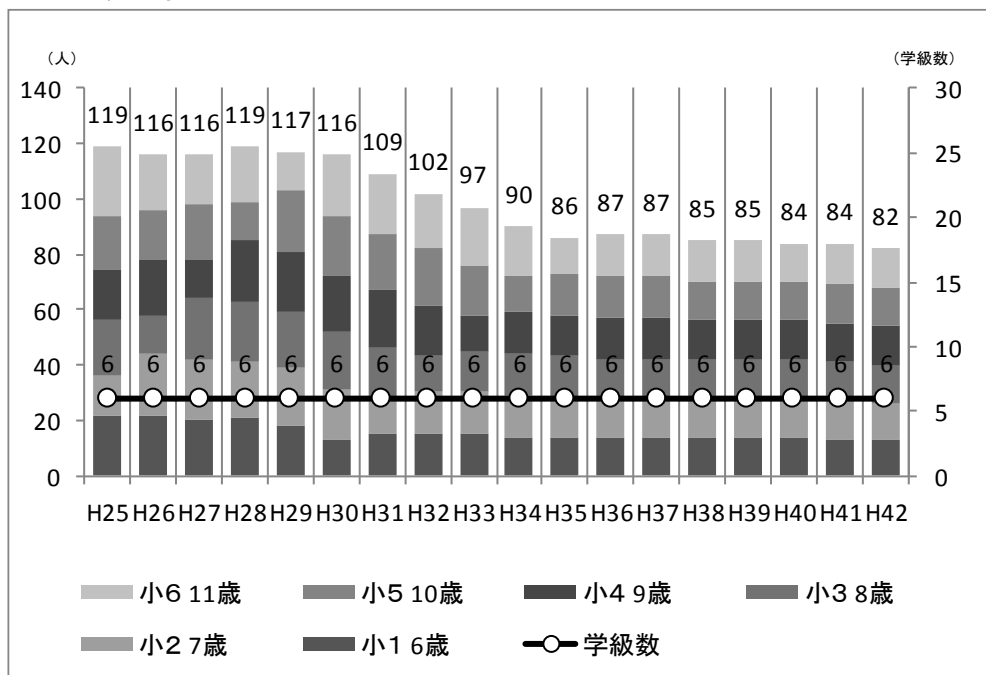
注)2013.4.1(実績)は、該当小学校区の6歳～11歳の人口となるため、小学校通学児童数とは一致しない。また、学級数、複式学級数についても、人口に基づいて算出している。

注)学級数は、1学級35人で計算している。

ウ 豊小学校区

児童数はほぼ横ばいで、平成42年では82人（6学級）と推測される。

◆児童数の推計



■豊小学校区(豊体・青古新田・青木・長渡呂・長渡呂新田・狸淵・弥柳・福田)の推計

	小1 6歳	小2 7歳	小3 8歳	小4 9歳	小5 10歳	小6 11歳	合計	学級数	複式学級数
2013.4.1(実績)	22	14	20	18	20	25	119	6	0
2014.4.1(H26)	22	22	14	20	18	20	116	6	0
2015.4.1(H27)	20	22	22	14	20	18	116	6	0
2016.4.1(H28)	21	20	22	22	14	20	119	6	0
2017.4.1(H29)	18	21	20	22	22	14	117	6	0
2018.4.1(H30)	13	18	21	20	22	22	116	6	0
2019.4.1(H31)	15	13	18	21	20	22	109	6	0
2020.4.1(H32)	15	15	13	18	21	20	102	6	0
2021.4.1(H33)	15	15	15	13	18	21	97	6	0
2022.4.1(H34)	14	15	15	15	13	18	90	6	0
2023.4.1(H35)	14	14	15	15	15	13	86	6	0
2024.4.1(H36)	14	14	14	15	15	15	87	6	0
2025.4.1(H37)	14	14	14	15	15	15	87	6	0
2026.4.1(H38)	14	14	14	14	14	15	85	6	0
2027.4.1(H39)	14	14	14	14	14	15	85	6	0
2028.4.1(H40)	14	14	14	14	14	14	84	6	0
2029.4.1(H41)	13	14	14	14	14	15	84	6	0
2030.4.1(H42)	13	13	14	14	14	14	82	6	0

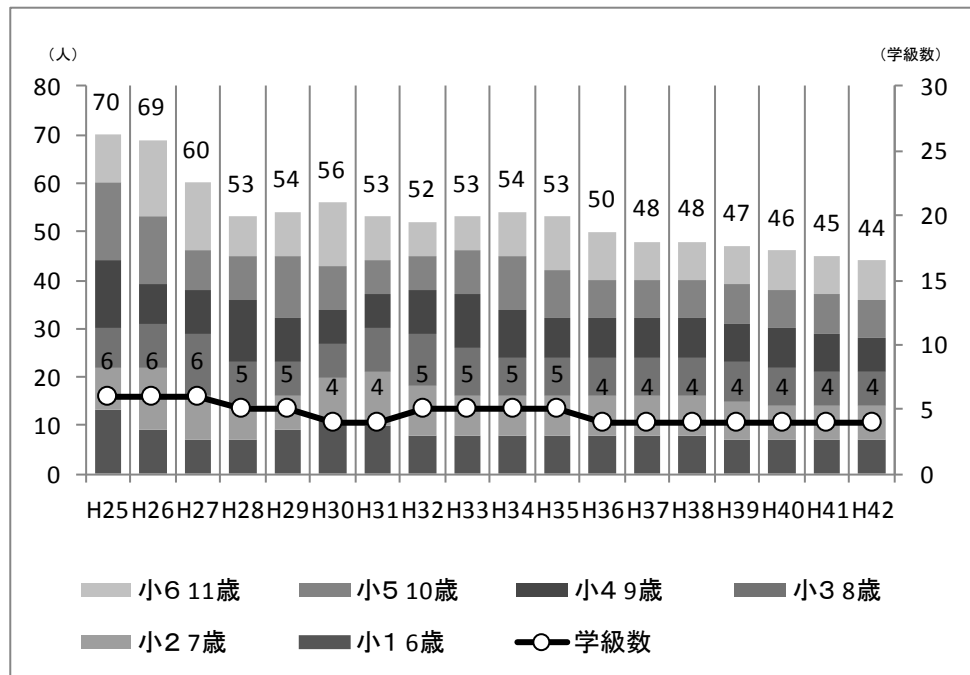
注)2013.4.1(実績)は、該当小学校区の6歳～11歳の人口となるため、小学校通学児童数とは一致しない。また、学級数、複式学級数についても、人口に基づいて算出している。

注)学級数は、1学級35人で計算している。

エ 三島小学校区

児童数は全体的に減少傾向となっており，平成 42 年では 44 人（4 学級）と推測される。

◆児童数の推計



■三島小学校区(下島・伊丹・神住新田・山王新田・中島・上島・福原・戸崎・戸茂)

	小1 6歳	小2 7歳	小3 8歳	小4 9歳	小5 10歳	小6 11歳	合計	学級数	複式学級数
2013.4.1(実績)	13	9	8	14	16	10	70	6	0
2014.4.1(H26)	9	13	9	8	14	16	69	6	0
2015.4.1(H27)	7	9	13	9	8	14	60	6	0
2016.4.1(H28)	7	7	9	13	9	8	53	5	1
2017.4.1(H29)	9	7	7	9	13	9	54	5	1
2018.4.1(H30)	11	9	7	7	9	13	56	4	2
2019.4.1(H31)	10	11	9	7	7	9	53	4	2
2020.4.1(H32)	8	10	11	9	7	7	52	5	1
2021.4.1(H33)	8	8	10	11	9	7	53	5	1
2022.4.1(H34)	8	8	8	10	11	9	54	5	1
2023.4.1(H35)	8	8	8	8	10	11	53	5	1
2024.4.1(H36)	8	8	8	8	8	10	50	4	2
2025.4.1(H37)	8	8	8	8	8	8	48	4	2
2026.4.1(H38)	8	8	8	8	8	8	48	4	2
2027.4.1(H39)	7	8	8	8	8	8	47	4	2
2028.4.1(H40)	7	7	8	8	8	8	46	4	2
2029.4.1(H41)	7	7	7	8	8	8	45	4	2
2030.4.1(H42)	7	7	7	7	8	8	44	4	2

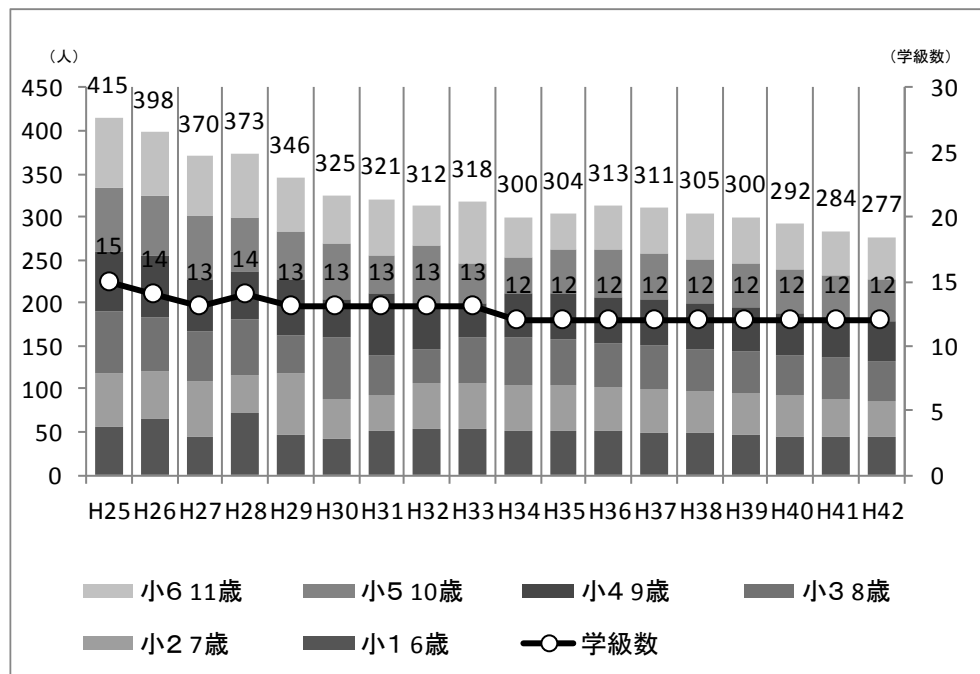
注)2013.4.1(実績)は，該当小学校区の6歳～11歳の人口となるため，小学校通学児童数とは一致しない。また，学級数，複式学級数についても，人口に基づいて算出している。

注)学級数は，1学級35人で計算している。

オ 板橋小学校区

児童数は全体的に減少傾向となっており、平成42年では277人（12学級）と推測される。

◆児童数の推計



■板橋小学校区(板橋・南太田・伊奈東・高岡・狸穴・大和田・野堀・武兵衛新田)

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	学級数	複式学級数
	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳			
2013.4.1(実績)	56	62	73	69	73	82	415	15	0
2014.4.1(H26)	65	56	62	73	69	73	398	14	0
2015.4.1(H27)	45	65	56	62	73	69	370	13	0
2016.4.1(H28)	71	45	65	56	62	74	373	14	0
2017.4.1(H29)	47	71	45	65	56	62	346	13	0
2018.4.1(H30)	41	47	71	45	65	56	325	13	0
2019.4.1(H31)	52	41	47	71	45	65	321	13	0
2020.4.1(H32)	54	52	41	48	71	46	312	13	0
2021.4.1(H33)	53	54	52	41	47	71	318	13	0
2022.4.1(H34)	52	53	54	52	41	48	300	12	0
2023.4.1(H35)	52	52	53	54	52	41	304	12	0
2024.4.1(H36)	50	52	52	53	54	52	313	12	0
2025.4.1(H37)	49	50	52	53	53	54	311	12	0
2026.4.1(H38)	48	49	50	52	52	54	305	12	0
2027.4.1(H39)	47	48	49	51	52	53	300	12	0
2028.4.1(H40)	45	47	48	49	51	52	292	12	0
2029.4.1(H41)	44	45	47	48	49	51	284	12	0
2030.4.1(H42)	43	44	45	47	48	50	277	12	0

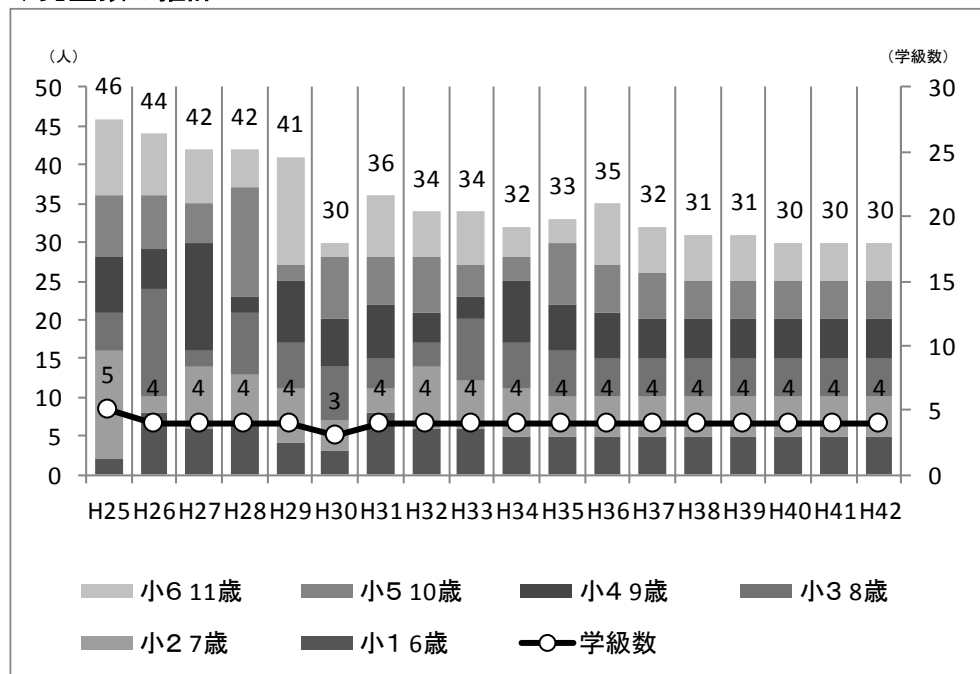
注)2013.4.1(実績)は、該当小学校区の6歳～11歳の人口となるため、小学校通学児童数とは一致しない。また、学級数、複式学級数についても、人口に基づいて算出している。

注)学級数は、1学級35人で計算している。

カ 東小学校区

児童数は全体的に減少傾向となっており、平成42年では30人（4学級）と推測される。

◆児童数の推計



■東小学校区(足高・東栗山・城中・神生)

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	学級数	複式学級数
	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳			
2013.4.1(実績)	2	14	5	7	8	10	46	5	1
2014.4.1(H26)	8	2	14	5	7	8	44	4	2
2015.4.1(H27)	6	8	2	14	5	7	42	4	2
2016.4.1(H28)	7	6	8	2	14	5	42	4	2
2017.4.1(H29)	4	7	6	8	2	14	41	4	2
2018.4.1(H30)	3	4	7	6	8	2	30	3	3
2019.4.1(H31)	8	3	4	7	6	8	36	4	2
2020.4.1(H32)	6	8	3	4	7	6	34	4	2
2021.4.1(H33)	6	6	8	3	4	7	34	4	2
2022.4.1(H34)	5	6	6	8	3	4	32	4	2
2023.4.1(H35)	5	5	6	6	8	3	33	4	2
2024.4.1(H36)	5	5	5	6	6	8	35	4	2
2025.4.1(H37)	5	5	5	5	6	6	32	4	2
2026.4.1(H38)	5	5	5	5	5	6	31	4	2
2027.4.1(H39)	5	5	5	5	5	6	31	4	2
2028.4.1(H40)	5	5	5	5	5	5	30	4	2
2029.4.1(H41)	5	5	5	5	5	5	30	4	2
2030.4.1(H42)	5	5	5	5	5	5	30	4	2

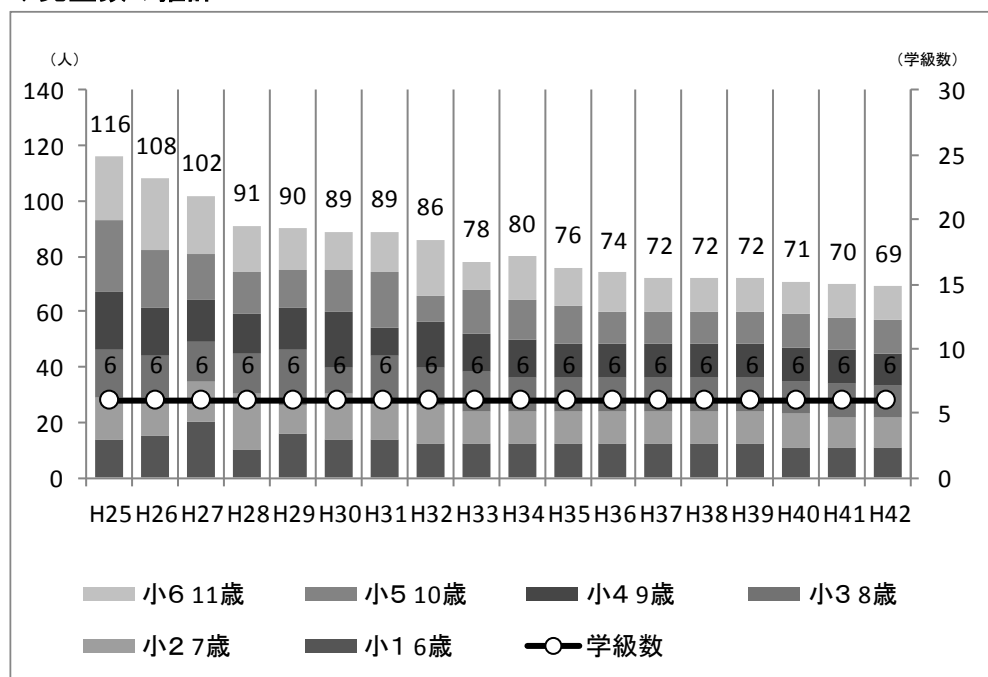
注)2013.4.1(実績)は、該当小学校区の6歳～11歳の人口となるため、小学校通学児童数とは一致しない。また、学級数、複式学級数についても、人口に基づいて算出している。

注)学級数は、1学級35人で計算している。

キ 谷原小学校区

児童数は全体的に減少傾向となっており、平成42年では69人（6学級）と推測される。

◆児童数の推計



■谷原小学校区(東櫛戸・西櫛戸・西丸山・古川・加藤・成瀬・宮戸・上小目・川崎・鬼長・下小目)

	小1 6歳	小2 7歳	小3 8歳	小4 9歳	小5 10歳	小6 11歳	合計	学級数	複式学級数
2013.4.1(実績)	14	15	17	21	26	23	116	6	0
2014.4.1(H26)	15	14	15	17	21	26	108	6	0
2015.4.1(H27)	20	15	14	15	17	21	102	6	0
2016.4.1(H28)	10	20	15	14	15	17	91	6	0
2017.4.1(H29)	16	10	20	15	14	15	90	6	0
2018.4.1(H30)	14	16	10	20	15	14	89	6	0
2019.4.1(H31)	14	14	16	10	20	15	89	6	0
2020.4.1(H32)	12	14	14	16	10	20	86	6	0
2021.4.1(H33)	12	12	14	14	16	10	78	6	0
2022.4.1(H34)	12	12	12	14	14	16	80	6	0
2023.4.1(H35)	12	12	12	12	14	14	76	6	0
2024.4.1(H36)	12	12	12	12	12	14	74	6	0
2025.4.1(H37)	12	12	12	12	12	12	72	6	0
2026.4.1(H38)	12	12	12	12	12	12	72	6	0
2027.4.1(H39)	12	12	12	12	12	12	72	6	0
2028.4.1(H40)	11	12	12	12	12	12	71	6	0
2029.4.1(H41)	11	11	12	12	12	12	70	6	0
2030.4.1(H42)	11	11	11	12	12	12	69	6	0

注)2013.4.1(実績)は、該当小学校区の6歳～11歳の人口となるため、小学校通学児童数とは一致しない。また、学級数、複式学級数についても、人口に基づいて算出している。

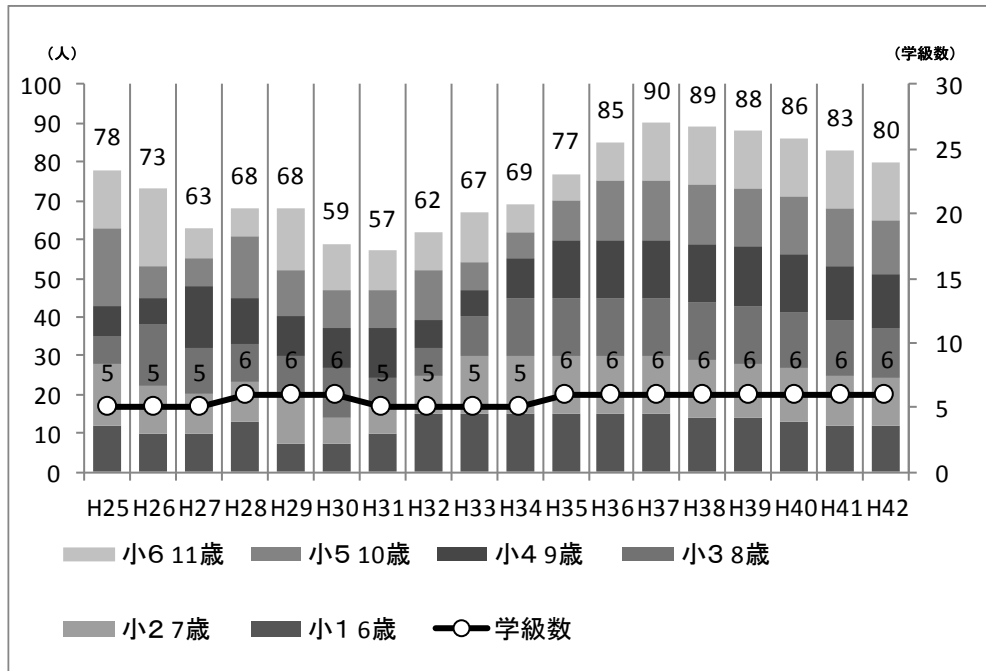
注)みらい平地区の暫定学区は考慮していない。

注)学級数は、1学級35人で計算している。

ク 十和小学校区

平成 31 年に 57 人（5 学級）に落ち込むものの、その後一旦増加し、平成 42 年では 80 人（6 学級）となると推測される。

◆児童数の推計



■十和小学校区(上長沼・下長沼・田村・日川・押砂・真木・十和・北袋・樫木・箕輪)

	小1 6歳	小2 7歳	小3 8歳	小4 9歳	小5 10歳	小6 11歳	合計	学級数	複式学級数
2013.4.1(実績)	12	16	7	8	20	15	78	5	1
2014.4.1(H26)	10	12	16	7	8	20	73	5	1
2015.4.1(H27)	10	10	12	16	7	8	63	5	1
2016.4.1(H28)	13	10	10	12	16	7	68	6	0
2017.4.1(H29)	7	13	10	10	12	16	68	6	0
2018.4.1(H30)	7	7	13	10	10	12	59	6	0
2019.4.1(H31)	10	7	7	13	10	10	57	5	1
2020.4.1(H32)	15	10	7	7	13	10	62	5	1
2021.4.1(H33)	15	15	10	7	7	13	67	5	1
2022.4.1(H34)	15	15	15	10	7	7	69	5	1
2023.4.1(H35)	15	15	15	15	10	7	77	6	0
2024.4.1(H36)	15	15	15	15	15	10	85	6	0
2025.4.1(H37)	15	15	15	15	15	15	90	6	0
2026.4.1(H38)	14	15	15	15	15	15	89	6	0
2027.4.1(H39)	14	14	15	15	15	15	88	6	0
2028.4.1(H40)	13	14	14	15	15	15	86	6	0
2029.4.1(H41)	12	13	14	14	15	15	83	6	0
2030.4.1(H42)	12	12	13	14	14	15	80	6	0

注)2013.4.1(実績)は、該当小学校区の6歳～11歳の人口となるため、小学校通学児童数とは一致しない。また、学級数、複式学級数についても、人口に基づいて算出している。

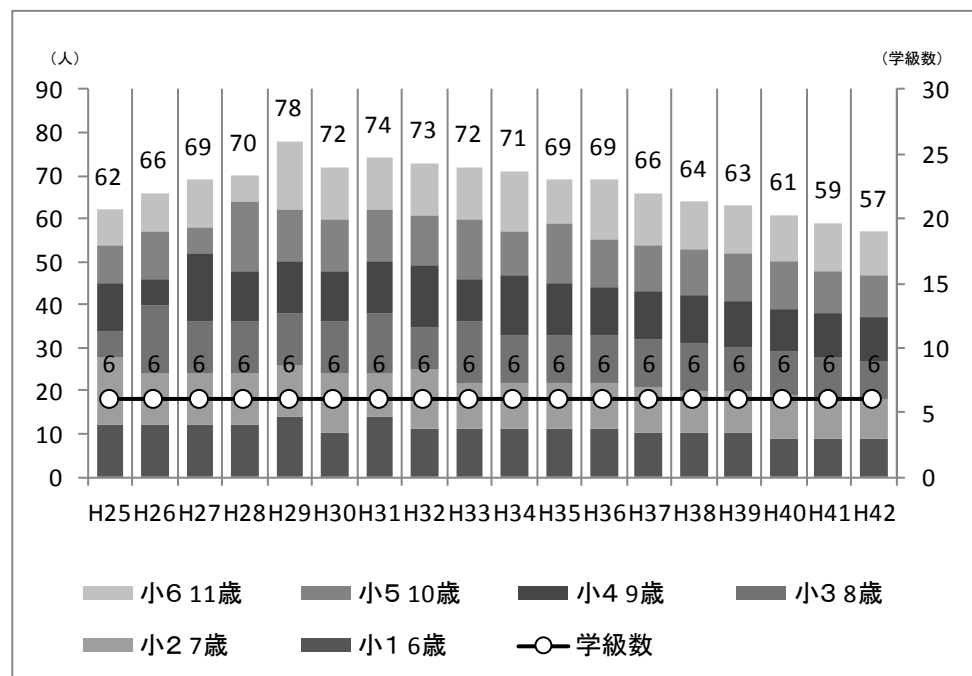
注)みらい平地区の暫定学区は考慮していない。

注)学級数は、1学級35人で計算している。

ケ 福岡小学校区

平成 29 年では 78 人（6 学級）でピークとなるものの、その後は減少し、平成 42 年では 57 人（6 学級）と推測される。なお、現在みらい平に通う子どもの数は含んでいない。

◆児童数の推計



■福岡小学校区(福岡台入会地・福岡・台・南・中原・仁左衛門新田・坂野新田・北山)

	小1 6歳	小2 7歳	小3 8歳	小4 9歳	小5 10歳	小6 11歳	合計	学級数	複式学級数
2013.4.1(実績)	12	16	6	11	9	8	62	6	0
2014.4.1(H26)	12	12	16	6	11	9	66	6	0
2015.4.1(H27)	12	12	12	16	6	11	69	6	0
2016.4.1(H28)	12	12	12	12	16	6	70	6	0
2017.4.1(H29)	14	12	12	12	12	16	78	6	0
2018.4.1(H30)	10	14	12	12	12	12	72	6	0
2019.4.1(H31)	14	10	14	12	12	12	74	6	0
2020.4.1(H32)	11	14	10	14	12	12	73	6	0
2021.4.1(H33)	11	11	14	10	14	12	72	6	0
2022.4.1(H34)	11	11	11	14	10	14	71	6	0
2023.4.1(H35)	11	11	11	12	14	10	69	6	0
2024.4.1(H36)	11	11	11	11	11	14	69	6	0
2025.4.1(H37)	10	11	11	11	11	12	66	6	0
2026.4.1(H38)	10	10	11	11	11	11	64	6	0
2027.4.1(H39)	10	10	10	11	11	11	63	6	0
2028.4.1(H40)	9	10	10	10	11	11	61	6	0
2029.4.1(H41)	9	9	10	10	10	11	59	6	0
2030.4.1(H42)	9	9	9	10	10	10	57	6	0

注)2013.4.1(実績)は、該当小学校区の6歳～11歳の人口となるため、小学校通学児童数とは一致しない。また、学級数、複式学級数についても、人口に基づいて算出している。

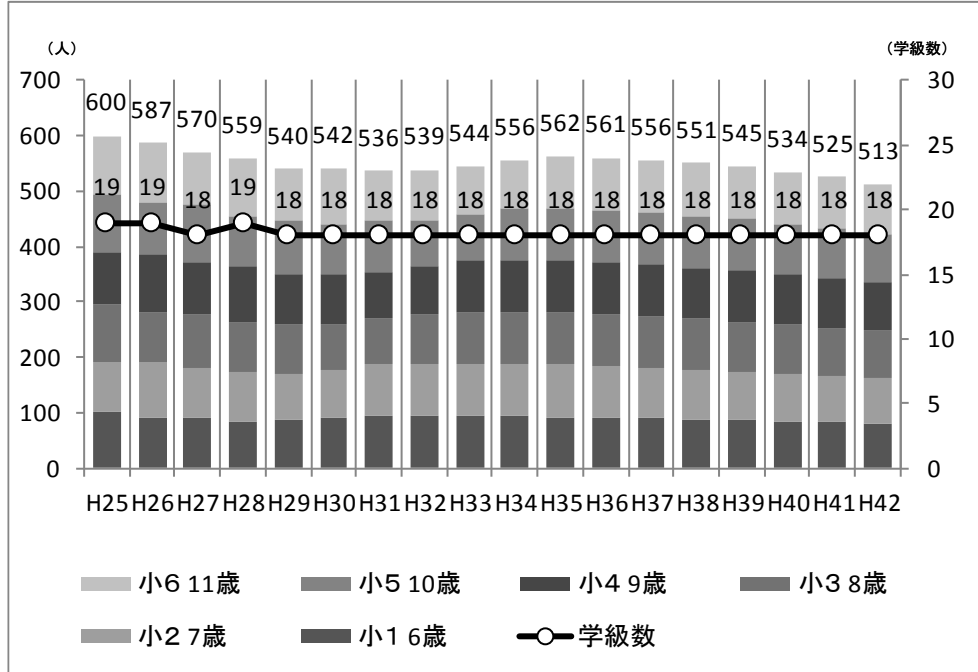
注)みらい平地区の暫定学区は考慮していない。

注)学級数は、1学級35人で計算している。

コ 小絹小学校区

児童数は全体的に減少傾向となっており、平成42年では513人（18学級）と推測される。

◆児童数の推計



■小絹小学校区(細代・杉下・寺畑・小絹・西ノ台・筒戸・平沼・西ノ台南・絹の台1丁目～6丁目)

	小1 6歳	小2 7歳	小3 8歳	小4 9歳	小5 10歳	小6 11歳	合計	学級数	複式学級数
2013.4.1(実績)	100	90	105	95	106	104	600	19	0
2014.4.1(H26)	90	100	90	105	95	107	587	19	0
2015.4.1(H27)	90	89	100	91	105	95	570	18	0
2016.4.1(H28)	83	90	90	100	90	106	559	19	0
2017.4.1(H29)	86	83	90	90	100	91	540	18	0
2018.4.1(H30)	91	86	83	91	90	101	542	18	0
2019.4.1(H31)	94	92	86	83	91	90	536	18	0
2020.4.1(H32)	94	94	91	86	83	91	539	18	0
2021.4.1(H33)	94	94	94	92	86	84	544	18	0
2022.4.1(H34)	94	94	94	95	92	87	556	18	0
2023.4.1(H35)	92	94	94	95	95	92	562	18	0
2024.4.1(H36)	92	92	94	94	94	95	561	18	0
2025.4.1(H37)	89	92	92	94	94	95	556	18	0
2026.4.1(H38)	88	89	92	93	94	95	551	18	0
2027.4.1(H39)	87	88	89	93	93	95	545	18	0
2028.4.1(H40)	84	87	88	90	92	93	534	18	0
2029.4.1(H41)	83	84	87	88	90	93	525	18	0
2030.4.1(H42)	81	83	84	87	88	90	513	18	0

注)2013.4.1(実績)は、該当小学校区の6歳～11歳の人口となるため、小学校通学児童数とは一致しない。また、学級数、複式学級数についても、人口に基づいて算出している。

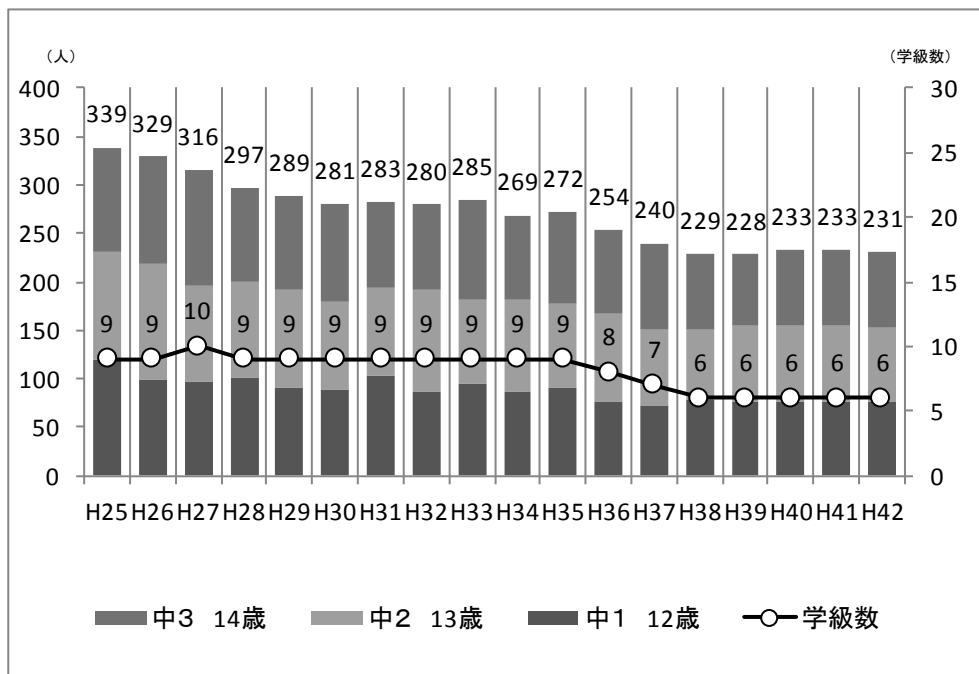
注)学級数は、1学級35人で計算している。

②各中学校区の生徒数の推計

ア 伊奈中学校区

生徒数は全体的に減少傾向となっており，平成42年では231人（6学級）と推測される。

◆生徒数の推計



■伊奈中学校区

	中1	中2	中3	合計	学級数
	12歳	13歳	14歳		
2013.4.1(実績)	120	110	109	339	9
2014.4.1(H26)	98	120	111	329	9
2015.4.1(H27)	97	98	121	316	10
2016.4.1(H28)	101	98	98	297	9
2017.4.1(H29)	90	101	98	289	9
2018.4.1(H30)	89	90	102	281	9
2019.4.1(H31)	104	89	90	283	9
2020.4.1(H32)	87	104	89	280	9
2021.4.1(H33)	94	87	104	285	9
2022.4.1(H34)	87	94	88	269	9
2023.4.1(H35)	90	87	95	272	9
2024.4.1(H36)	77	90	87	254	8
2025.4.1(H37)	73	77	90	240	7
2026.4.1(H38)	78	73	78	229	6
2027.4.1(H39)	77	78	73	228	6
2028.4.1(H40)	77	77	79	233	6
2029.4.1(H41)	77	77	79	233	6
2030.4.1(H42)	76	77	78	231	6

注)2013.4.1(実績)は，該当中学校区の12歳～14歳の人口となるため，中学校通学生徒数とは一致しない。また，学級数についても，人口に基づいて算出している。

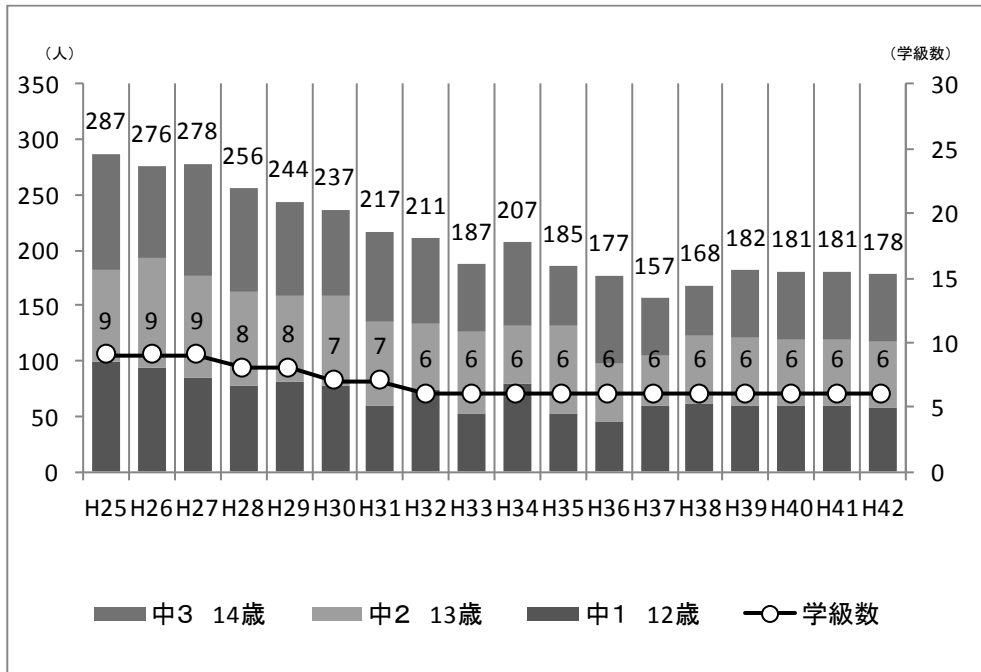
注)みらい平地区の暫定学区は考慮していない。

注)学級数は，1学級40人で計算している。

イ 伊奈東中学校区

生徒数は全体的に減少傾向となっており、平成42年では178人（6学級）と推測される。

◆生徒数の推計



■伊奈東中学校区

	中1 12歳	中2 13歳	中3 14歳	合計	学級数
2013.4.1(実績)	100	83	104	287	9
2014.4.1(H26)	93	100	83	276	9
2015.4.1(H27)	84	93	101	278	9
2016.4.1(H28)	78	85	93	256	8
2017.4.1(H29)	81	78	85	244	8
2018.4.1(H30)	77	81	79	237	7
2019.4.1(H31)	59	77	81	217	7
2020.4.1(H32)	74	60	77	211	6
2021.4.1(H33)	53	74	60	187	6
2022.4.1(H34)	79	53	75	207	6
2023.4.1(H35)	52	80	53	185	6
2024.4.1(H36)	45	52	80	177	6
2025.4.1(H37)	60	45	52	157	6
2026.4.1(H38)	61	61	46	168	6
2027.4.1(H39)	60	61	61	182	6
2028.4.1(H40)	59	60	62	181	6
2029.4.1(H41)	59	60	62	181	6
2030.4.1(H42)	58	59	61	178	6

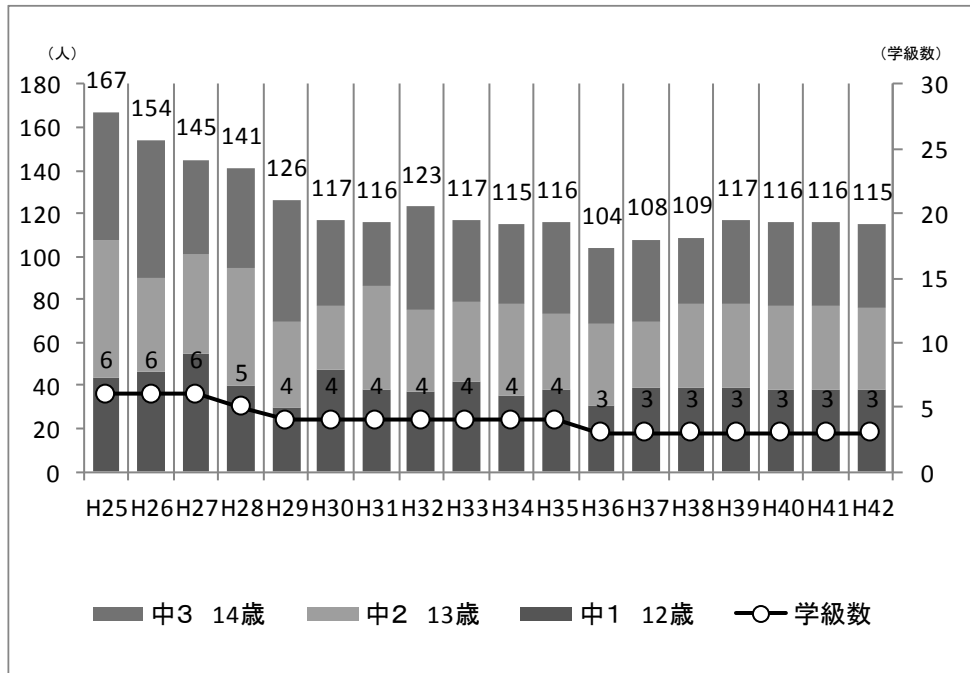
注)2013.4.1(実績)は、該当中学校区の12歳～14歳の人口となるため、中学校通学生徒数とは一致しない。また、学級数についても、人口に基づいて算出している。

注)学級数は、1学級40人で計算している。

ウ 谷和原中学校区

生徒数は全体的に減少傾向となっており，平成 42 年では 115 人（3 学級）と推測される。

◆生徒数の推計



■谷和原中学校区

	中 1	中 2	中 3	合計	学級数
	12 歳	13 歳	14 歳		
2013. 4. 1(実績)	44	64	59	167	6
2014. 4. 1(H26)	46	44	64	154	6
2015. 4. 1(H27)	55	46	44	145	6
2016. 4. 1(H28)	40	55	46	141	5
2017. 4. 1(H29)	30	40	56	126	4
2018. 4. 1(H30)	47	30	40	117	4
2019. 4. 1(H31)	38	48	30	116	4
2020. 4. 1(H32)	37	38	48	123	4
2021. 4. 1(H33)	42	37	38	117	4
2022. 4. 1(H34)	35	43	37	115	4
2023. 4. 1(H35)	38	35	43	116	4
2024. 4. 1(H36)	31	38	35	104	3
2025. 4. 1(H37)	39	31	38	108	3
2026. 4. 1(H38)	39	39	31	109	3
2027. 4. 1(H39)	39	39	39	117	3
2028. 4. 1(H40)	38	39	39	116	3
2029. 4. 1(H41)	38	39	39	116	3
2030. 4. 1(H42)	38	38	39	115	3

注)2013.4.1(実績)は、該当中学校区の12歳～14歳の人口となるため、中学校通学生徒数とは一致しない。また、学級数についても、人口に基づいて算出している。

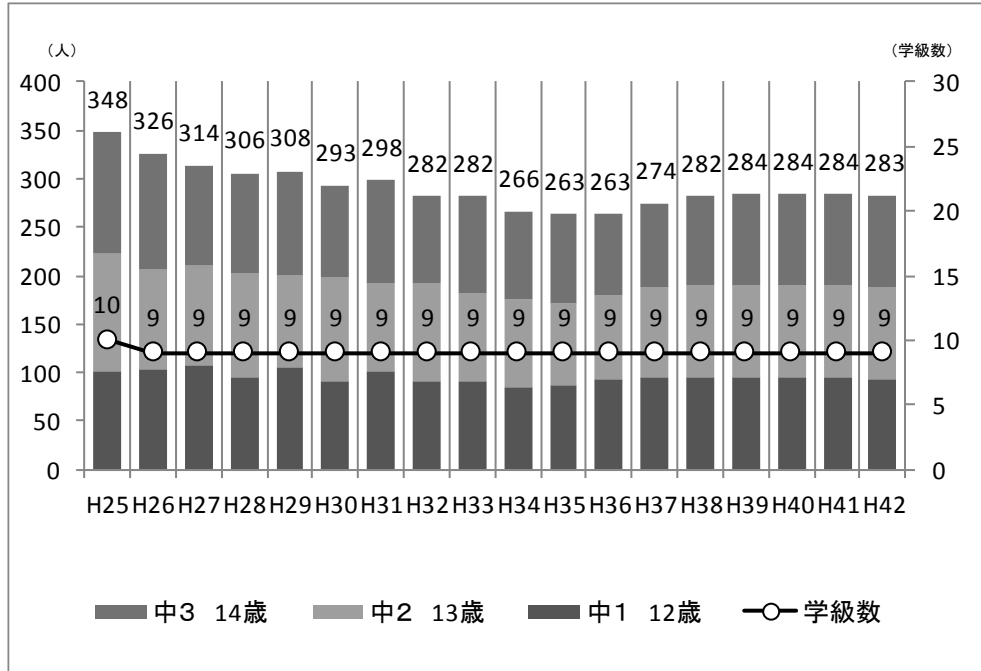
注)みらい平地区の暫定学区は考慮していない。

注)学級数は、1学級40人で計算している。

エ 小絹中学校区

生徒数は、平成 35 年までは減少し 263 人（9 学級）となるものの、その後は増加し平成 42 年では 283 人（9 学級）と推測される。

◆生徒数の推計



■小絹中学校区

	中1	中2	中3	合計	学級数
	12歳	13歳	14歳		
2013.4.1(実績)	102	120	126	348	10
2014.4.1(H26)	104	102	120	326	9
2015.4.1(H27)	107	104	103	314	9
2016.4.1(H28)	95	107	104	306	9
2017.4.1(H29)	106	95	107	308	9
2018.4.1(H30)	91	106	96	293	9
2019.4.1(H31)	101	91	106	298	9
2020.4.1(H32)	90	101	91	282	9
2021.4.1(H33)	91	90	101	282	9
2022.4.1(H34)	84	91	91	266	9
2023.4.1(H35)	87	84	92	263	9
2024.4.1(H36)	92	87	84	263	9
2025.4.1(H37)	95	92	87	274	9
2026.4.1(H38)	95	95	92	282	9
2027.4.1(H39)	94	95	95	284	9
2028.4.1(H40)	94	95	95	284	9
2029.4.1(H41)	94	95	95	284	9
2030.4.1(H42)	93	95	95	283	9

注)2013.4.1(実績)は、該当中学校区の12歳～14歳の人口となるため、中学校通学生徒数とは一致しない。また、学級数についても、人口に基づいて算出している。

注)学級数は、1学級40人で計算している。

2) みらい平地区の将来人口・児童数の推計

【推計に使用したデータ】

- ・つくばみらい市丘陵部地区別1歳階級別人口（平成19年6月1日現在）
- ・つくばみらい市丘陵部地区別1歳階級別人口（平成20年4月1日現在～平成25年4月1日現在）
- ・平成22年 都市計画基礎調査（つくばみらい市）

【推計の方法】

みらい平地区の総人口の推計

- ①住居系用地における、充足した場合の人口密度を設定し、町丁目別に将来人口を設定（人口密度の実績値をブロック毎に精査し、将来の住居系用地の密度を、計画住宅用地121人/ha、共同住宅用地202人/ha、一般住宅用地111人/ha、計画建設用地121人/haとして設定）
- ②住居系面積のビルドアップ実績から、宅地面積の将来推移を算定し、町丁目別の総人口を年次別に算出。
※県有地のスケジュールを踏まえ、平成42年度に計画人口16,000人となるよう設定

転入住民の年齢別人口の推計

- ①1歳以上の年齢別人口の算出
 $(t\text{年の年齢別人口(転入住民)}) = (t\text{年のみらい平地区総人口}) - (t-1\text{年のみらい平地区総人口}) \times (\text{年齢別転入人口構成比})$
- ②0歳人口の算出
 $(t\text{年の0歳人口}) = \text{該当地区の} t\text{年の} 16\text{歳} \sim 49\text{歳女性人口} \times \text{該当地区の婦人子ども比}$
※該当地区の婦人子ども比＝該当地区の16歳～49歳女性人口に対する0歳人口の比率実績から設定

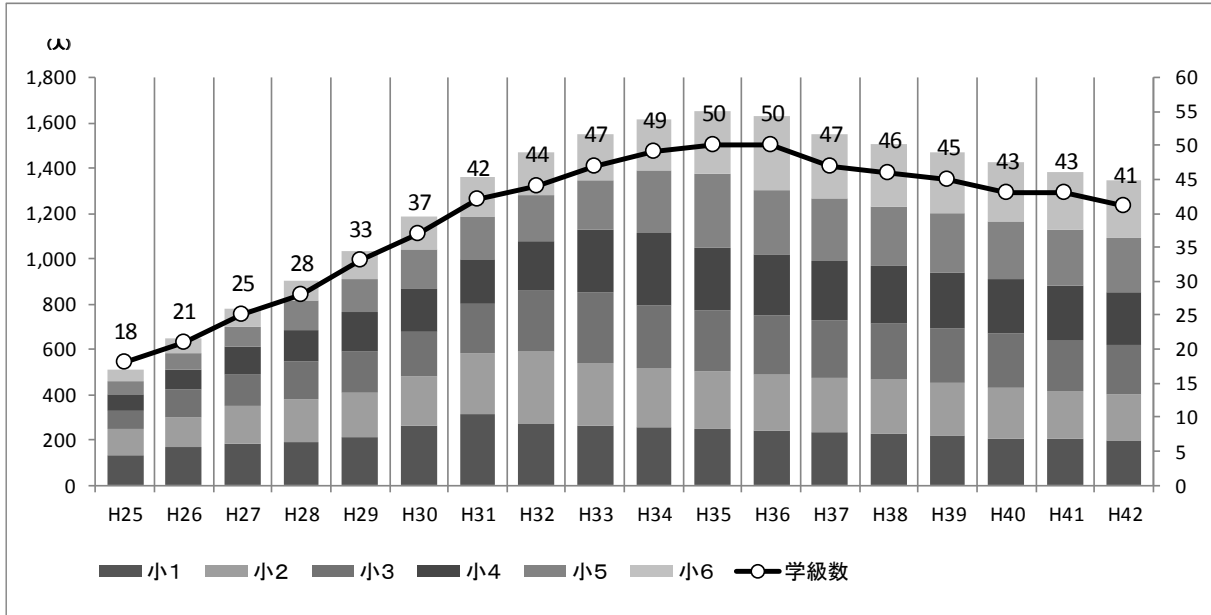
既存住民の年齢別人口の推計

- ①陽光台及び紫峰ヶ丘のうち充足率の高い地区の年齢別人口の算出
 $(t\text{年の} N\text{歳人口(既存住民)}) = (t-1\text{年の} N-1\text{歳人口}) \times (\text{コーホート変化率})$
※コーホート変化率＝つくばみらい市全体の過去のコーホート変化率の動向から推定
- ②上記以外地区年齢別人口の算出
 $(t\text{年の} N\text{歳人口(既存住民)}) = (t-1\text{年の} N-1\text{歳人口})$

①みらい平地区の児童数の推計

児童数は、平成 35 年でピークとなるものの、その後は減少し、平成 42 年では 1,344 人（41 学級）と推測される。

◆児童数の推計



■みらい平地区の児童数の推計

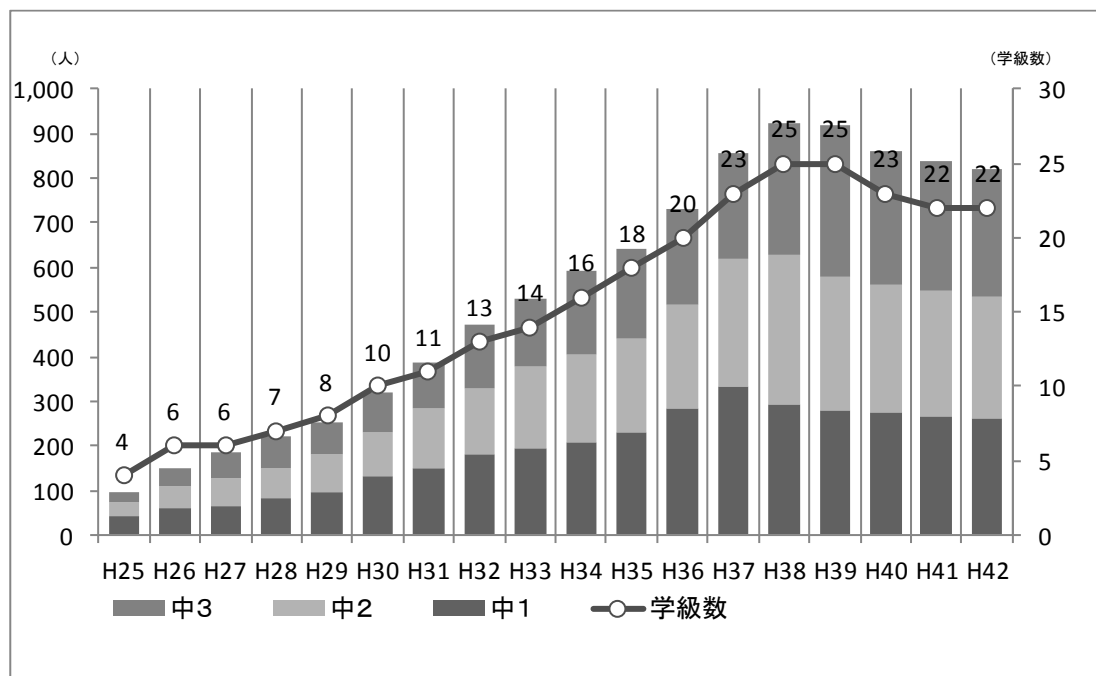
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	学級数	複式学級数
	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳			
2013. 4. 1(実績)	131	118	82	71	54	52	508	18	0
2014. 4. 1(H26)	164	136	122	86	76	59	643	21	0
2015. 4. 1(H27)	180	167	138	125	89	79	778	25	0
2016. 4. 1(H28)	192	182	169	140	127	92	902	28	0
2017. 4. 1(H29)	214	195	184	171	143	130	1,037	33	0
2018. 4. 1(H30)	266	216	196	186	173	145	1,182	37	0
2019. 4. 1(H31)	312	268	218	198	188	176	1,360	42	0
2020. 4. 1(H32)	273	315	270	220	201	191	1,470	44	0
2021. 4. 1(H33)	261	275	317	272	223	204	1,552	47	0
2022. 4. 1(H34)	253	264	278	320	275	226	1,616	49	0
2023. 4. 1(H35)	246	256	267	280	324	279	1,652	50	0
2024. 4. 1(H36)	240	249	259	270	284	328	1,630	50	0
2025. 4. 1(H37)	234	243	252	262	273	287	1,551	47	0
2026. 4. 1(H38)	227	237	246	255	265	277	1,507	46	0
2027. 4. 1(H39)	221	231	240	249	259	269	1,469	45	0
2028. 4. 1(H40)	207	224	234	243	253	263	1,424	43	0
2029. 4. 1(H41)	202	211	228	238	247	257	1,383	43	0
2030. 4. 1(H42)	197	206	215	232	242	252	1,344	41	0

注)学級数は、1学級 35人で計算している。

②みらい平地区の生徒数の推計

生徒数は、平成 38・39 年の 922 人（25 学級）をピークとして、その後は減少し、平成 42 年では 823 人（22 学級）と推測される。

◆生徒数の推計（1年ごと）



■みらい平地区の生徒数の推計

	中1	中2	中3	合計	学級数
	12歳	13歳	14歳		
2013. 4. 1 (実績)	44	31	22	97	4
2014. 4. 1 (H26)	59	52	41	152	6
2015. 4. 1 (H27)	64	64	58	186	6
2016. 4. 1 (H28)	82	68	69	219	7
2017. 4. 1 (H29)	95	86	72	253	8
2018. 4. 1 (H30)	133	99	90	322	10
2019. 4. 1 (H31)	148	136	103	387	11
2020. 4. 1 (H32)	178	151	140	469	13
2021. 4. 1 (H33)	194	182	155	531	14
2022. 4. 1 (H34)	207	198	187	592	16
2023. 4. 1 (H35)	229	211	202	642	18
2024. 4. 1 (H36)	283	234	216	733	20
2025. 4. 1 (H37)	332	287	239	858	23
2026. 4. 1 (H38)	292	338	292	922	25
2027. 4. 1 (H39)	281	297	344	922	25
2028. 4. 1 (H40)	274	286	302	862	23
2029. 4. 1 (H41)	268	279	292	839	22
2030. 4. 1 (H42)	263	274	286	823	22

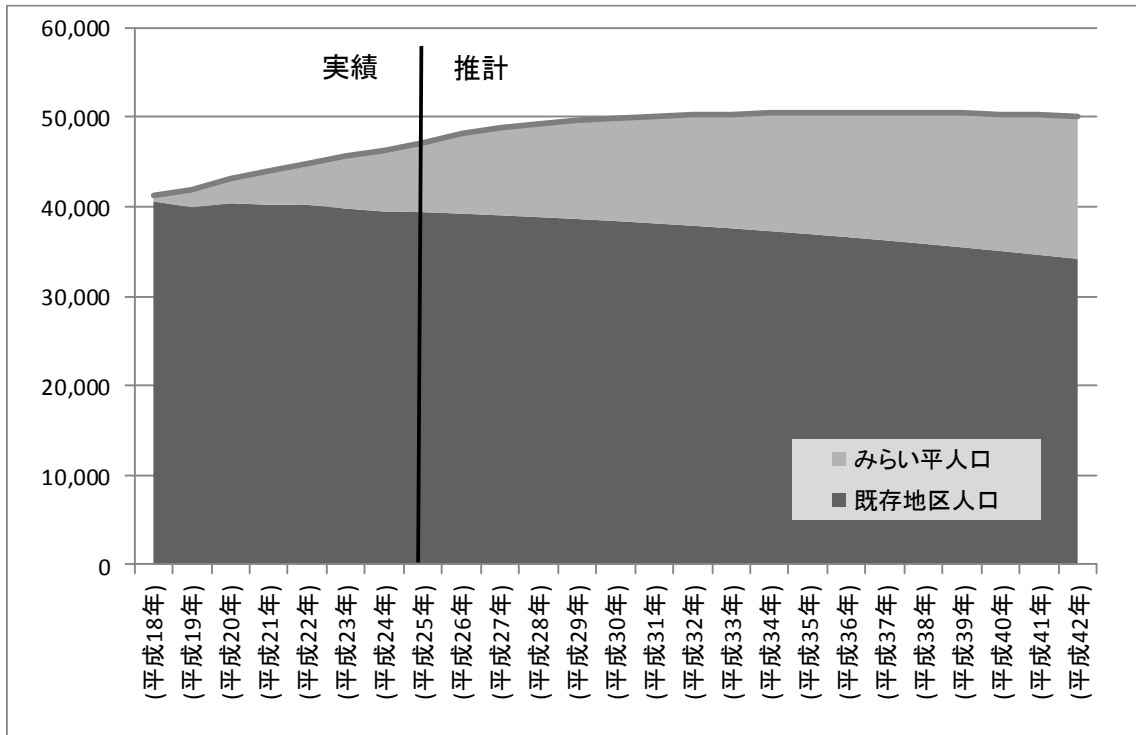
注)学級数は、1学級 40 人で計算している。

【資料編】

①つくばみらい市全体人口の推計結果

つくばみらい市全体の人口として、みらい平地区及び既存地区を推計した結果を合計した結果は以下のとおりである。

■つくばみらい市全体人口の推計結果グラフ



	2006.4.1 (平成18年) (住基)	2007.4.1 (平成19年) (住基)	2008.4.1 (平成20年) (住基)	2009.4.1 (平成21年) (住基)	2010.4.1 (平成22年) (住基)	2011.4.1 (平成23年) (住基)	2012.4.1 (平成24年) (住基)	2013.4.1 (平成25年) (住基)	2014.4.1 (平成26年) (推計)	2015.4.1 (平成27年) (推計)	2016.4.1 (平成28年) (推計)	2017.4.1 (平成29年) (推計)	2018.4.1 (平成30年) (推計)
既存地区人口	40,578	40,452	40,376	40,209	40,202	39,784	39,455	39,388	39,218	39,027	38,829	38,620	38,386
増減(t年)	—	-126	-76	-167	-7	-418	-329	-67	-170	-190	-198	-210	-233
みらい平人口	660	1,349	2,724	3,706	4,687	5,827	6,846	7,808	9,059	9,817	10,445	10,977	11,451
増減(t年)	—	689	1,375	982	981	1,140	1,019	962	1,251	758	628	532	474
市全体人口	41,238	41,801	43,100	43,915	44,889	45,611	46,301	47,196	48,277	48,844	49,274	49,597	49,838
増減(t年)	—	563	1,299	815	974	722	690	895	1,648	997	752	564	430

	2019.4.1 (平成31年) (推計)	2020.4.1 (平成32年) (推計)	2021.4.1 (平成33年) (推計)	2022.4.1 (平成34年) (推計)	2023.4.1 (平成35年) (推計)	2024.4.1 (平成36年) (推計)	2025.4.1 (平成37年) (推計)	2026.4.1 (平成38年) (推計)	2027.4.1 (平成39年) (推計)	2028.4.1 (平成40年) (推計)	2029.4.1 (平成41年) (推計)	2030.4.1 (平成42年) (推計)
既存地区人口	38,132	37,867	37,581	37,268	36,944	36,600	36,239	35,852	35,451	35,037	34,606	34,165
増減(t年)	-254	-265	-287	-313	-324	-343	-361	-387	-402	-413	-432	-441
みらい平人口	11,895	12,334	12,739	13,146	13,538	13,914	14,272	14,616	14,954	15,290	15,627	16,013
増減(t年)	443	439	405	407	393	376	358	344	337	337	337	386
市全体人口	50,027	50,201	50,320	50,413	50,482	50,514	50,511	50,468	50,404	50,328	50,233	50,178
増減(t年)	363	175	119	93	69	32	-3	-43	-64	-76	-95	-55

※平成18年のみらい平人口は平成18年4月13日現在となる。

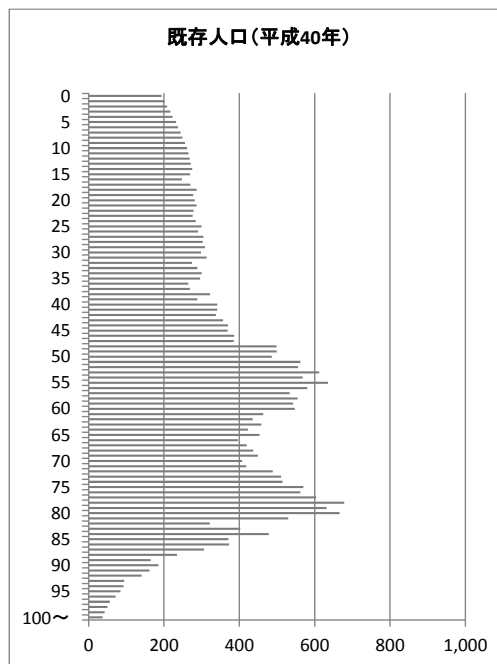
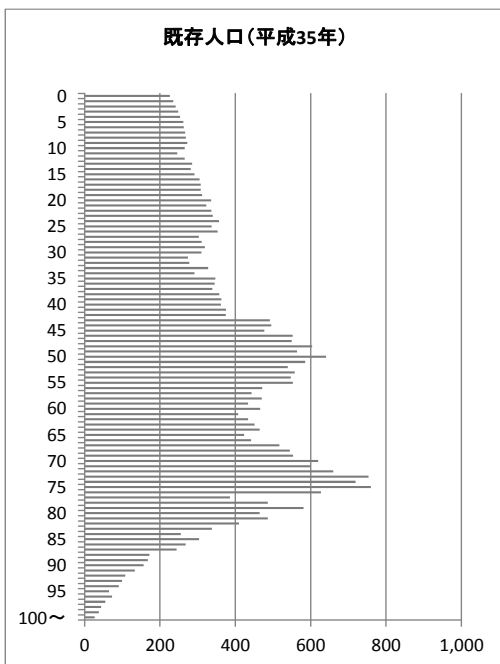
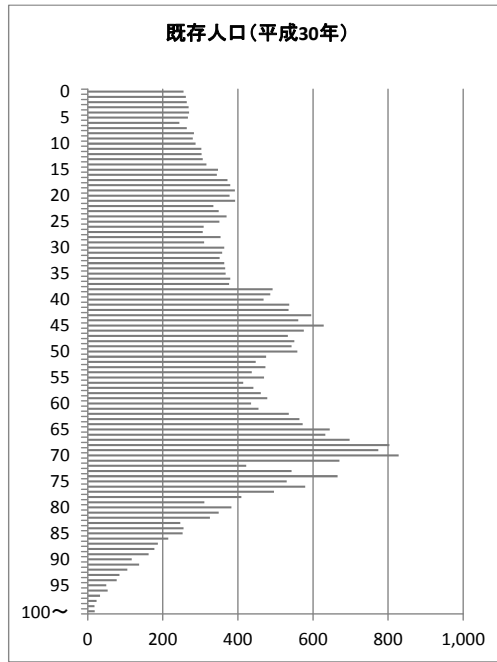
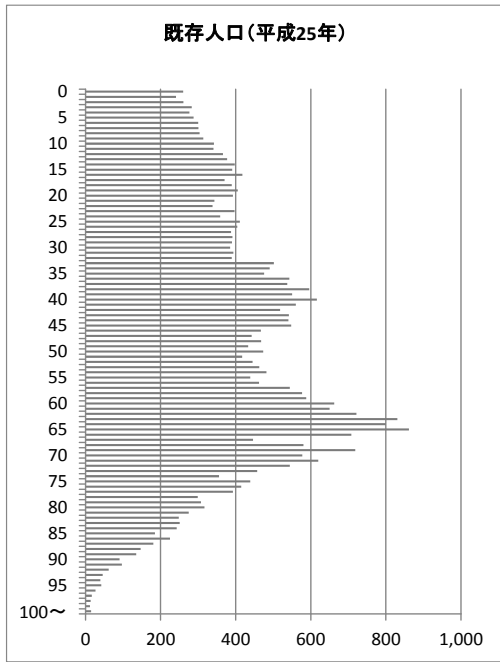
②みらい平地区を除いた既存地区の将来人口の推計結果

みらい平地区を含まない地区に関して、町丁目別の人口を計算し、集計した結果は以下のとおりである。

	2013.4.1 (実績)	2014.4.1	2015.4.1	2016.4.1	2017.4.1	2018.4.1	2019.4.1	2020.4.1	2021.4.1
	(平成25年)	(平成26年)	(平成27年)	(平成28年)	(平成29年)	(平成30年)	(平成31年)	(平成32年)	(平成33年)
総数	39,388	39,218	39,027	38,829	38,620	38,386	38,132	37,867	37,581
0～4	1,322	1,315	1,302	1,305	1,324	1,319	1,303	1,283	1,260
5～9	1,507	1,473	1,452	1,415	1,359	1,337	1,331	1,316	1,319
10～14	1,824	1,744	1,673	1,610	1,571	1,516	1,482	1,461	1,423
15～19	1,974	1,961	1,951	1,952	1,878	1,835	1,753	1,682	1,619
20～24	1,831	1,844	1,795	1,789	1,838	1,824	1,811	1,801	1,801
25～29	1,985	1,898	1,859	1,776	1,683	1,630	1,641	1,599	1,594
30～34	2,161	2,034	1,898	1,859	1,824	1,803	1,725	1,690	1,616
35～39	2,702	2,638	2,535	2,373	2,210	2,103	1,978	1,844	1,807
40～44	2,777	2,796	2,850	2,867	2,844	2,695	2,632	2,528	2,368
45～49	2,359	2,468	2,550	2,640	2,749	2,830	2,851	2,905	2,922
50～54	2,281	2,236	2,246	2,249	2,307	2,391	2,502	2,586	2,677
55～59	2,611	2,501	2,385	2,281	2,233	2,264	2,220	2,229	2,232
60～64	3,665	3,434	3,167	2,981	2,785	2,561	2,453	2,341	2,241
65～69	3,314	3,373	3,596	3,843	3,765	3,551	3,328	3,069	2,888
70～74	2,555	2,874	2,955	2,825	2,881	3,129	3,189	3,403	3,628
75～79	1,853	1,853	1,962	2,070	2,233	2,325	2,611	2,684	2,561
80～84	1,334	1,348	1,343	1,425	1,496	1,559	1,553	1,646	1,739
85～	1,335	1,428	1,508	1,570	1,638	1,714	1,770	1,800	1,886

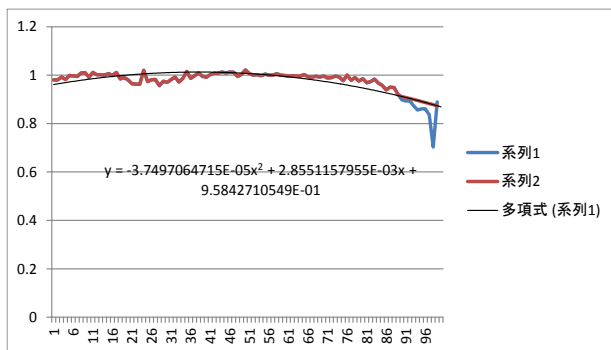
	2022.4.1	2023.4.1	2024.4.1	2025.4.1	2026.4.1	2027.4.1	2028.4.1	2029.4.1	2030.4.1
	(平成34年)	(平成35年)	(平成36年)	(平成37年)	(平成38年)	(平成39年)	(平成40年)	(平成41年)	(平成42年)
総数	37,268	36,944	36,600	36,239	35,852	35,451	35,037	34,606	34,165
0～4	1,235	1,205	1,175	1,144	1,111	1,077	1,044	1,014	986
5～9	1,338	1,334	1,317	1,297	1,274	1,248	1,218	1,187	1,156
10～14	1,367	1,345	1,338	1,324	1,326	1,346	1,341	1,325	1,304
15～19	1,580	1,525	1,491	1,469	1,431	1,375	1,352	1,345	1,332
20～24	1,732	1,693	1,617	1,551	1,493	1,458	1,408	1,375	1,356
25～29	1,636	1,624	1,614	1,605	1,603	1,542	1,506	1,439	1,381
30～34	1,532	1,482	1,491	1,452	1,448	1,487	1,475	1,465	1,457
35～39	1,773	1,752	1,677	1,643	1,571	1,490	1,440	1,449	1,410
40～44	2,205	2,099	1,975	1,839	1,802	1,768	1,747	1,673	1,638
45～49	2,898	2,747	2,682	2,576	2,413	2,247	2,138	2,012	1,875
50～54	2,787	2,870	2,891	2,946	2,962	2,938	2,784	2,719	2,612
55～59	2,288	2,371	2,480	2,565	2,655	2,763	2,847	2,868	2,922
60～64	2,193	2,224	2,181	2,189	2,191	2,246	2,328	2,434	2,518
65～69	2,698	2,481	2,376	2,268	2,172	2,126	2,156	2,115	2,122
70～74	3,551	3,352	3,141	2,898	2,727	2,545	2,340	2,242	2,141
75～79	2,612	2,841	2,908	3,106	3,302	3,225	3,045	2,853	2,634
80～84	1,878	1,954	2,196	2,252	2,145	2,199	2,399	2,456	2,624
85～	1,964	2,046	2,053	2,117	2,226	2,370	2,469	2,635	2,697

■人口ピラミッドの推移

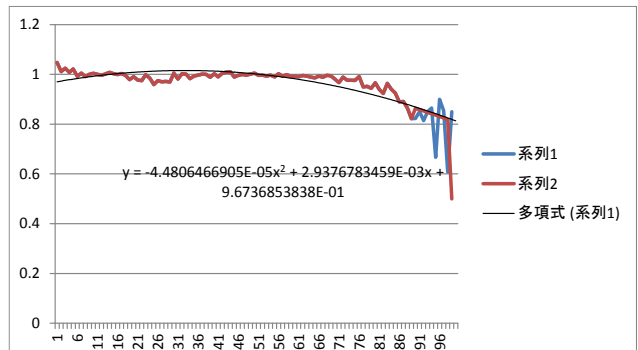


■既存地区の人口推計に用いたコーホート変化率のグラフ

男性



女性



③みらい平地区全体人口の推計結果

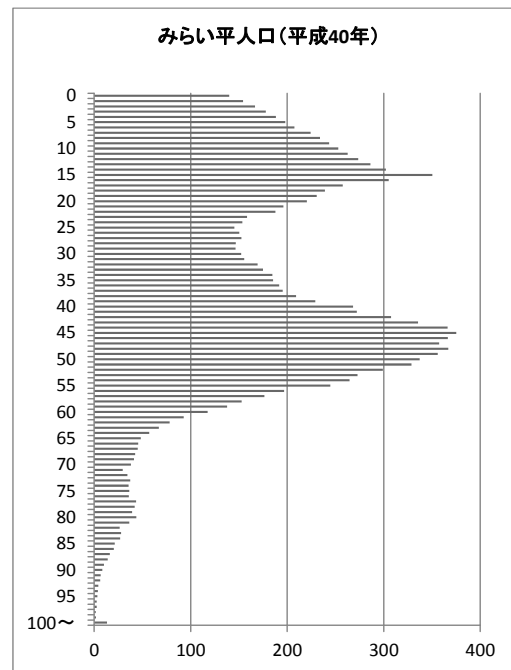
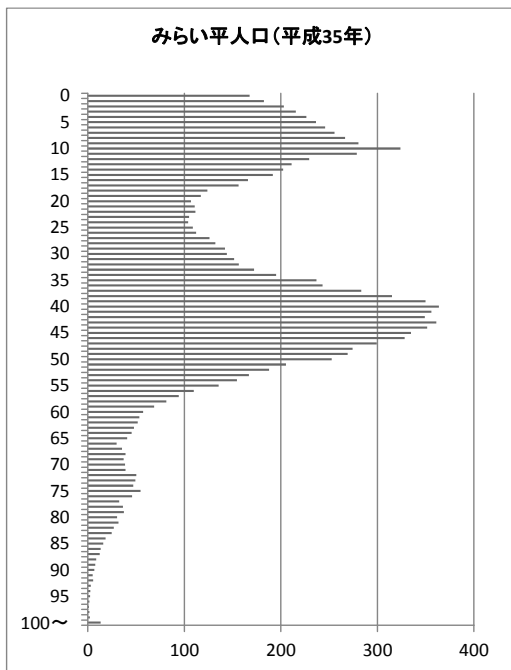
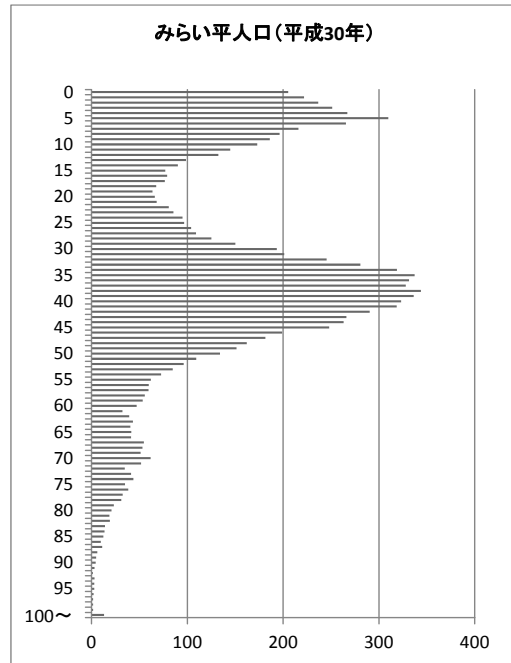
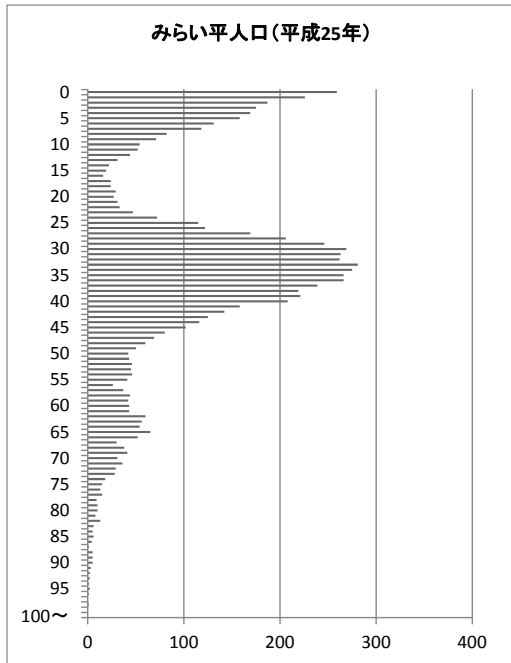
実績人口を踏まえ、町丁目別にみらい平地区全体人口を推計し、町丁目別に年齢別人口を計算した結果は以下のとおりである。

表一みらい平地区全体人口の推計結果

	2013.4.1 (実績)	2014.4.1	2015.4.1	2016.4.1	2017.4.1	2018.4.1	2019.4.1	2020.4.1	2021.4.1
	(平成25年)	(平成26年)	(平成27年)	(平成28年)	(平成29年)	(平成30年)	(平成31年)	(平成32年)	(平成33年)
総数	7,808	9,059	9,817	10,445	10,977	11,451	11,895	12,334	12,739
0～4	1,016	1,150	1,230	1,275	1,256	1,182	1,141	1,105	1,071
5～9	560	686	800	896	1,027	1,174	1,266	1,336	1,375
10～14	203	287	354	438	526	639	750	861	958
15～19	112	180	225	270	320	364	418	474	553
20～24	210	282	323	361	379	395	406	426	457
25～29	858	820	741	670	630	585	578	586	603
30～34	1,350	1,456	1,457	1,426	1,340	1,240	1,115	1,006	918
35～39	1,211	1,385	1,514	1,590	1,633	1,677	1,689	1,658	1,613
40～44	749	947	1,092	1,230	1,371	1,462	1,550	1,645	1,702
45～49	361	496	602	709	815	942	1,064	1,176	1,293
50～54	222	269	312	359	417	497	582	665	756
55～59	190	216	230	251	277	290	307	335	371
60～64	256	250	237	216	201	202	209	228	229
65～69	226	248	263	283	267	242	226	212	194
70～74	142	180	194	196	208	233	237	245	258
75～79	62	87	112	128	148	160	176	182	180
80～84	42	59	67	74	81	86	93	105	113
85～	38	61	65	74	78	82	86	89	95

	2022.4.1	2023.4.1	2024.4.1	2025.4.1	2026.4.1	2027.4.1	2028.4.1	2029.4.1	2030.4.1
	(平成34年)	(平成35年)	(平成36年)	(平成37年)	(平成38年)	(平成39年)	(平成40年)	(平成41年)	(平成42年)
総数	13,146	13,538	13,914	14,272	14,616	14,954	15,290	15,627	16,013
0～4	1,033	995	958	920	884	855	827	800	770
5～9	1,357	1,285	1,247	1,214	1,182	1,144	1,107	1,071	1,037
10～14	1,092	1,246	1,344	1,419	1,463	1,449	1,378	1,343	1,316
15～19	640	755	868	982	1,082	1,222	1,383	1,488	1,574
20～24	499	538	589	642	718	802	916	1,032	1,155
25～29	610	621	628	643	668	706	742	792	853
30～34	869	820	810	813	825	828	837	842	865
35～39	1,526	1,429	1,307	1,201	1,112	1,061	1,011	1,003	1,014
40～44	1,740	1,781	1,795	1,768	1,725	1,641	1,550	1,434	1,340
45～49	1,420	1,506	1,593	1,685	1,742	1,780	1,822	1,840	1,824
50～54	851	967	1,081	1,187	1,297	1,418	1,503	1,590	1,686
55～59	420	489	565	638	720	804	908	1,012	1,110
60～64	247	256	270	291	319	357	413	473	534
65～69	182	182	188	192	202	216	223	233	251
70～74	245	225	212	200	185	175	175	180	185
75～79	189	207	209	215	224	213	197	188	180
80～84	125	132	142	145	144	149	161	163	168
85～	99	104	109	116	124	132	137	145	151

■人口ピラミッドの推移

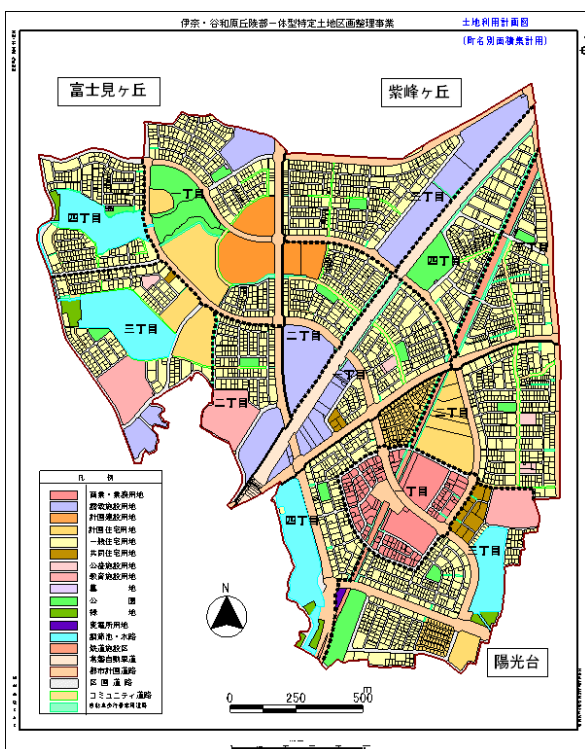


■みらい平地区全体人口の推計に用いた仮定データ

○町丁目別の人口推移の想定

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績																	
【陽光台1丁目】	447	836	1,070	1,366	1,539	1,561	1,614	1,808	1,849	1,874	1,889	1,897	1,903	1,906	1,907	1,909	1,909	1,910	1,910	1,910	1,910	1,910	1,910	1,910
【陽光台2丁目】	193	332	605	742	936	1,007	1,130	1,191	1,247	1,300	1,352	1,405	1,460	1,516	1,572	1,626	1,676	1,721	1,762	1,797	1,828	1,856	1,881	1,900
【陽光台3丁目】	419	625	787	974	1,072	1,155	1,215	1,251	1,286	1,320	1,354	1,389	1,425	1,461	1,498	1,535	1,571	1,606	1,640	1,674	1,706	1,738	1,770	1,800
【陽光台4丁目】	388	479	539	633	690	714	729	750	770	790	808	826	843	860	875	890	904	917	930	941	952	962	971	980
【紫峰ヶ丘1丁目】	66	88	282	394	454	502	550	684	746	791	824	846	861	871	878	882	885	887	888	889	889	889	890	890
【紫峰ヶ丘2丁目】	0	0	0	33	166	319	419	440	460	481	503	526	550	576	603	632	660	690	719	748	778	808	839	870
【紫峰ヶ丘3丁目】	0	0	0	49	303	610	738	1,026	1,165	1,234	1,266	1,280	1,286	1,288	1,289	1,290	1,290	1,290	1,290	1,290	1,290	1,290	1,290	1,290
【紫峰ヶ丘4丁目】	168	165	172	204	226	287	336	354	391	428	464	499	532	563	591	616	638	658	675	690	703	714	723	770
【紫峰ヶ丘5丁目】	175	194	250	259	308	377	404	454	501	546	588	627	663	695	723	748	769	787	801	814	824	833	840	870
【富士見ヶ丘1丁目】	0	0	0	32	81	171	281	342	399	457	522	600	693	801	922	1,049	1,179	1,307	1,433	1,557	1,681	1,810	1,942	2,070
【富士見ヶ丘2丁目】	2	1	1	1	48	120	163	275	371	441	481	502	512	516	518	519	520	520	520	520	520	520	520	520
【富士見ヶ丘3丁目】	0	0	0	0	0	13	93	130	167	206	249	298	353	414	482	555	631	708	787	868	951	1,038	1,129	1,220
【富士見ヶ丘4丁目】	7	4	0	0	4	10	136	341	453	564	663	743	800	840	866	883	893	900	904	906	908	909	909	910

○土地利用計画図における住居系用地に関する設定密度



計画住宅用地=121 人/ha

共同住宅用地=202 人/ha

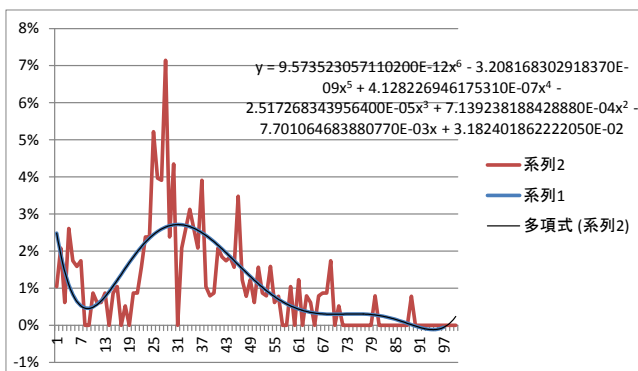
一般住宅用地=111 人/ha

計画建設用地=121 人/ha ※計画住宅用地と同じとした。

○年齢別転入人口構成比

充足率の高い陽光台2丁目, 3丁目, 紫峰ヶ丘1丁目の転入者について転入者合計人口に対する年齢別割合を算出し, その回帰式に基づき, 下記の曲線式を設定した。

男性



女性

